



KOSMOS

ユーザーガイド



P005799-008, Rev A

2024年9月

* Android は、Google LLC の商標です。

* Apple は、Cisco の「iOS」商標のライセンスを取得しています。

© 2015 ~ 2024 EchoNous, Inc.、または関連会社。無断転載禁止。

第 1 章	はじめに 1
	このリリースでの変更点 1
	パッケージ内容 1
	対象ユーザー 2
	用途/適応 2
	禁忌 4
	全般的な警告と注意 4
	ユーザーガイド 5
	本書で使用する記号 6
	ユーザーガイドの表記規則 6
	EchoNous カスタマーサポート 8
第 2 章	KOSMOS の概要 9
	Kosmos とは 9
	Kosmos の臨床用途 11
	トレーニング 12
	Kosmos の分類 12
	患者環境 13
第 3 章	Kosmos の使用 15
	Kosmos ハードウェア 15
	Kosmos Bridge 15
	Kosmos Torso、Kosmos Torso-One と Kosmos Lexsa 17
	Kosmos 電源 18
	Kosmos ECG 患者ケーブル* 18
	Kosmos デジタル-アナログコンバータ* 19
	Kosmos プローブの接続 20
	Kosmos 電源の接続 21
	Kosmos Bridge の電源のオン/オフ 22
	Kosmos Bridge の電源を入れる 22

Kosmos Bridgeの電源を切る	22
Kosmos Bridgeハンドルコントロールの使用方法	22
プローブの切り替え	23
ハンドルコントロールをオンにする	24
ハンドルコントロールを使用する際の人間工学上の考慮事項	26
基本操作	28
ホーム画面：Kosmos Torso とKosmos Torso-One	28
ホーム画面：Kosmos Lexsa	28
学習	29
オンスクリーンキーボード	29
各種波形について	30
ECG とDA*	30
ECG	30
設定	31
イメージング環境設定	31
ECG 信号とデジタル聴診信号の設定	32
言語、日付、時刻の設定	33
サウンドの調整	33
明るさの設定	34
画面ミラーリング(Miracast)	34
バージョン情報	35
管理者	35
レポート設定	46
ワイヤレスネットワーク	47
機能	47
接続仕様	47

第4章	ECG 信号とデジタル聴診信号の統合	49
	概要	49
	ECG	49
	DA	50

ECG 信号とデジタル聴診信号を超音波とともに使用する ことのメリット	50
Kosmos ECG ケーブルの使用	51
両耳用ヘッドセットの接続	53
ECG 信号とデジタル聴診信号の表示	54
信号のスクロール	54
ECG 信号インジケータ	54
画像のフリーズ中、または動画の取得中における ECG 信号とデジタル聴診信号の保存	55
ECG の波形とデジタル聴診の波形のアーカイブ化とエ クスポート	55

第 5 章 検査の実施 57

概要	57
主な検査ワークフロー	58
検査ワークフロー	59
標準ワークフロー	59
クイックワークフロー	60
Kosmos AI アシスト EF ワークフロー	61
検査の管理	62
検査の開始	62
検査の検索	62
検査の削除	62
検査の完了	63
患者データの管理	63
新しい患者の追加	63
MWL を使用した患者情報へのアクセス	64
患者の検索	64
他の患者への変更	64
患者記録の編集	65
2 つの患者記録の統合	65
患者記録の削除	66
器官のプリセット	66

イメージングモードと機能	67
Bモード (2D)	67
Mモード	68
カラードプラ	68
パルス波ドプラ	71
組織ドプライメージング	73
連続波ドプラ	73
画像モードのコントロール	76
Kosmos AI アシスト EF ワークフローおよび Kosmos Trio の使用	77
Kosmos Trio : 自動ラベリング、自動グレード評価、自動 ガイダンス	77
Kosmos AI アシスト EF ワークフローを使用した駆出率の計 算	83
ED/ES フレームおよびLV 輪郭のレビュー/調整	85
正確な EF 計算に最適な A4C および A2C 動画を取得するた めの推奨事項	88
Kosmos AI アシスト EF ワークフローにおけるエラー条件お よびシステム通知	89
画像および動画の取得	90
検査の完了	90
オートキャプチャ	90
スマートキャプチャ	91
Kosmos 心測定	92
Kosmos AI FAST	94
Kosmos AI を使用した FAST 検査	94
Us2.ai と Kosmos	96
はじめに	96

第 6 章 検査のレビュー 99

検査レビューの開始	99
画像および動画への注釈付け	99
画像の編集画面に移動	99
注釈ツール	100

	キャリパーツールを使用した測定	101
	注釈の削除	101
	画像および動画の管理	102
	画像および動画のフィルタリング	102
	画像および動画の選択	102
	画像および動画の削除	103
	レポートのレビューと編集	103
	レポートを開く	103
	レポートの編集	104
	画像と動画の USB ドライブへのエクスポート	105
	検査レビューの完了	106
	検査を PACS サーバーにアーカイブ	107
	検査の削除	108
第 7 章	Kosmos プローブ	109
	Kosmos プローブ シース	109
	超音波透過ジェル	110
	Kosmos プローブ の保管	110
	日常の保管	110
	輸送用の保管	110
	トランスデューサーエレメントのチェック	111
第 8 章	安全性	113
	電気安全性	113
	参考資料	113
	ラベルの記号	113
	連絡先情報	119
	生物学的安全性	121
	ALARA 教育プログラム	121
	Kosmos Torso と Kosmos Torso-One の音響出力一覧表	124
	Kosmos Lexsa の最大音響出力の概要	132

測定精度	139
コントロールの効果	140
関連資料	140
トランスデューサーの表面温度上昇	141
ECG 補足情報	141
人間工学	142
電磁両立性	143
電磁放射線	144
電磁環境耐性	145
分離距離	147
証明書とコンプライアンス	148
意図的なラジエーター	148
クラスB 装置	148
カナダ産業省のステートメント	149
規格	150
HIPAA	150
DICOM	150

第9章 Kosmos のメンテナンス 151

洗淨と消毒	151
全般的な注意事項	151
Kosmos Bridge	152
Kosmos プローブ	153
AR (自動再処理) のガイドライン	158
Kosmos ECG ケーブル	158
両互用ヘッドセット	161
再使用と廃棄	161
トラブルシューティング	162
予防措置のための検査、メンテナンス、校正	162
Kosmos Bridge ハンドルコントロール	162

第10章 仕様 163

システム仕様	163
--------	-----

	動作環境条件および保管環境条件	164
	動作、充電、輸送、保管の条件範囲	164
	動作モード	164
	電源（充電器）	164
	内蔵電池	165
第 11 章	IT ネットワーク	167
	ワイヤレスネットワーク	167
	機能	167
	接続仕様	167
	装置接続用ネットワーク	168
	接続仕様	168
	ハードウェア仕様	168
	ソフトウェア仕様	168
	セキュリティ	168
	IT ネットワーク障害回復手段	169
第 12 章	用語集	171



以下余白

はじめに

このリリースでの変更点

Kosmos バージョン 8.0 の新機能と変更点は次のとおりです。

- Lexsa のパルス波ドプラ
- Lexsa のカラーパワードプラ
- 自動VTIトレース
- Mモードの心臓検査の計算 (Torso-One 用)
- EFワークフローの改善
- 進行中のアーカイブ

	本ユーザーガイドの電子版は、Web サイト echonous.com/product/resources をご覧ください。
	市場によりご利用いただける機能が異なる場合があります。お住まいの地域の在庫状況については、お近くの EchoNous 販売代理店に確認してください。

パッケージ内容

Kosmos のパッケージには、以下の内容が含まれています。

- Kosmos システム (Kosmos Bridge と Kosmos Torso、または Kosmos Torso-One または Kosmos Lexsa で構成されます)
- Kosmos 電源
- Kosmos ECGケーブル (Kosmos Torso のみ)
- Kosmos デジタル-アナログコンバータ (Kosmos Torso のみ)
- Kosmos プラットフォームクイックスタートガイド


- 化学的適合性
- Kosmos ウェルカムレター
- USB フラッシュドライブ（以下の内容が収録されています）
 - Kosmos ユーザーガイド
 - Kosmos AI Station 2 ユーザーガイド

対象ユーザー

Kosmos は、本装置を実務に使用する国、州、その他の地方自治体の法律で正式に認められた、訓練を受けた有資格の医療従事者が使用することが想定されています。ユーザーとしては、専門医、プライマリケア医、医療従事者、臨床検査技師、医療技術者、看護師、ナースプラクティショナー、フィジシャンアシスタント、医学生などが含まれますが（肩書/地理的な場所に基づく）、これらに限られるわけではありません。

ユーザーは、医師の監督の下で作業する場合もあれば、そうでない場合もあります。

用途 / 適応

 診断可能な画質を担保するため、患者の画像を取得する作業は、必ず訓練を受けた有資格の医療従事者が行う必要があります。

Kosmos は、訓練を受けた有資格の医療従事者が、同期化した超音波画像、心電図（ECG）リズム、デジタル聴診（DA）の音と波形を取得、処理、表示、測定、保存することで、以下の臨床用途の臨床評価を行う際に使用することが想定されています。

超音波イメージング機能に関して言えば、Kosmos は以下の臨床用途や操作モードで使用される汎用診断超音波画像診断装置です。

Kosmos の臨床用途と操作モード

臨床用途：

- **Torso/Torso-One**：心臓、胸部 / 肺、腹部
- **Lexsa**：肺、血管 / 末梢血管、筋骨格、神経、および介入ガイダンス（針 / カテーテル留置、排液、神経ブロックなど）

操作モード：Bモード、Mモード、カラードプラ、カラーパワードプラ、パルス波（PW）ドプラ、組織ドプライメージング（TDI）、連続波（CW）ドプラ、B+MとB+CDの併用モード、およびハーモニックイメージング

Kosmos は、臨床診断と医学教育において、成人患者および小児患者を対象として使用することが想定されています。

本装置は、非侵襲性で、再利用可能であり、患者一人ずつに対して使用することが想定されています。



表 1-1. 操作モードと購入可能な機能

モード	Torso	Torso-One	Lexsa	購入可能な機能
Bモード	X	X	X	
Mモード	X	X	X	
カラードプラ	X	X	X	
ハーモニックイメージング	X	X		
AI アシスト EF ワークフロー	X	X		
Kosmos Trio	X	X		
CW ドプラ	X	X		
PW ドプラ	X	X	X	X
組織ドプラ（TDI）	X	X		
カラーパワードプラ			X	
AI FAST	X	X		X
Us2.ai	X	X		X








禁忌







Kosmos は、経皮的走査と経胸壁心エコー検査専用設計されています。

眼科領域への Kosmos を適応することを意図して設計されていません。眼球へ音響ビームを向けて使用しないこと。

	創傷の付近をスキャンする際は、患部を損傷したり損傷を広げたりすることがないように注意してください。
	米国連邦法により、本装置の販売は、医師による場合か、医師の指示に基づく場合のみに制限されています。



全般的な警告と注意

	画質と診断はシステムユーザーの責任となります。
	Kosmos を磁気共鳴装置 (MRI 装置) と併用しないこと。MRI 検査室に持ち込まないでください。
	Kosmos は、高濃度酸素環境で使用しないでください。
	感電のリスクを避けるため、Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa のレンズや Kosmos ECG 患者ケーブル以外の Kosmos の部分は、患者に触れないようにしてください。
	感電や負傷のリスクを避けるため、いかなる理由でも、Kosmos Bridge、Kosmos Torso、Kosmos Torso-One や Kosmos Lexsa の筐体を開けないでください。内部の調整と部品交換 (電池など) は、必ず有資格の Kosmos 技術者が行う必要があります。
	感電と発火のリスクを避けるため、電源、AC 電源コード、ケーブル、プラグを定期的に点検して、損傷がないことを確認してください。
	Kosmos システム (Kosmos ECG 患者ケーブルを含む) は、耐除細動型ではありません。オペレーターや近くにいる人が怪我をしないように、高電圧の除細動パルスをかける前には、必ず、Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa と Kosmos ECG ケーブル/リード線を患者から取り外してください。

	を介入処置に使用するには、超音波イメージングを穿刺 / カテーテルガイダンスに使用するトレーニングに加えて、該当する介入手順のトレーニングを受けておく必要があります。超音波検査における既知の制限事項が原因で、針 / カテーテルの可視化ができなかったり、針を音響アーチファクトと区別できなかったりする場合があります。適切なトレーニングを受けずに介入治療を行うと、重篤な傷害や合併症をもたらすおそれがあります。
	創傷の近くや包帯上をスキャンする場合には気を付けて行い、細心の注意を払ってください。
	Kosmos を体腔内イメージングに使用しないでください。
	Kosmos では、Bluetooth ワイヤレス通信技術が使用されています。
	電源コードを人が行き来する場所に配置しないでください。
	いかなる臨床ケア、および医療教育の現場においても承認された EchoNous の電源（部品番号 P005974）のみを使用してください。


ユーザーガイド

本書は、ユーザーが Kosmos を安全かつ効果的に操作できるようにサポートすることを目的としています。Kosmos を使い始める前に、必ず本書に目を通し、本書に記載されているすべての警告と注意を厳守してください。また、**安全性**の章に記載されている情報にも十分注意を払ってください。




	EUのみ：本装置に関連して重大なインシデントが発生した場合、製造元、およびユーザーおよび / または患者が所在する加盟国の管轄当局に報告する必要があります。
	すべてのソフトウェアバージョンが本ガイドに記載の全機能を搭載しているわけではありません。お使いの機器に搭載されているソフトウェアバージョンをご参照ください。

本書およびあらゆる電子形式のドキュメント（およびそこに含まれる情報）は、EchoNous の専有情報および機密情報であり、本書の全部または一部を、EchoNous 法務部の書面による事前の承諾を得ることなく複製、複写、転載、修正、他者への開示、頒布を行うことを禁じます。本書または電子形式の

ドキュメントは、お客様が使用することを想定したものであり、EchoNousの購入時に使用権がお客様に与えられます。本書または電子形式のドキュメントを権限のない人物が使用することは、固く禁止されています。本書は、EchoNousのWebサイトからも入手可能です。ご請求に応じて、紙媒体で提供させていただくことも可能です。

	米国連邦法により、本装置の販売は、医師による場合か、医師の指示に基づく場合のみに制限されています。
---	---

本書で使用する記号

	警告	警告では、負傷や死亡を防ぐための予防措置について説明します。
	注意	注意では、機器の損傷を防ぐための予防措置について説明します。
	注記	注記では、補足情報を提供します。

ユーザーガイドの表記規則

本書では、以下の表記規則が適用されます。

- 番号やアルファベットが付いた手順は、特定の順序で実行する必要があります。
- 箇条書き項目は、特定の順序がないリストです。
- Kosmos のタッチスクリーンに表示されるアイコンとボタンは、太字で示されます。例：[**SCAN**]（スキャン）。
- 用語：
 - **タップ**は、タッチスクリーンを指で軽く触れる操作を示します。
 - **ダブルタップ**は、タッチスクリーンを指ですばやく2回連続して軽く触れる操作を示します。
 - **ドラッグ**は、指をタッチスクリーンに触れたまま動かす操作を示します。
 - **スワイプ**は、タッチスクリーン上で指を素早く動かす操作を示します。
 - **ピンチ**は、タッチスクリーンを2本の指でつまんだり、つまんだ指を広げたりするような操作を示します。

- **チェック**は、チェックボックスをタップして、対応する機能を有効にする操作を示します。
- **クリア**は、チェックボックスをタップして、対応する機能を無効にする操作を示します。
- **選択**は、メニューリストから1つのメニュー項目をタップする操作を指します。
- 本書内の他のセクションへのリンク (**イメージングモードと機能**を参照、など) は、色付きの太字で示されます。

EchoNous カスタマーサポート

カスタマーサポートのお問い合わせ先：

電話：844-854-0800

FAX：425-242-5553

電子メール：info@echonous.com

Web サイト：www.echonous.com

KOSMOS の概要

Kosmos とは

Kosmos は、EchoNous システムソフトウェアを実行する Kosmos Bridge が搭載されており、Kosmos プロープとケーブルで接続されます。

Kosmos システムには次のプロープを利用可能です：

- Kosmos Torso :
 - 超音波、ECG、デジタル聴診を 1 つのプロープに組み合わせたフェーズドアレイトランスデューサ。
 - Kosmos Torso を接続すると、Kosmos は 3 リードシングルチャンネルの ECG 信号とデジタル聴診 (DA) 信号も提供します。
 - ポータブル超音波イメージングを提供し、非侵襲的に心臓、胸部/肺、腹部イメージングをサポートします。
- Kosmos Torso-One :
 - 肋間腔に配置されるように、小型化され、簡素化されたフォームファクターを備えたフェーズドアレイ超音波単独プロープ。
 - ポータブル超音波イメージングを提供し、非侵襲的に心臓、胸部/肺、腹部イメージングをサポートします。
- Kosmos Lexsa :
 - リニアアレイ超音波プロープ。
 - ポータブル超音波イメージングを可能にし、肺、血管/末梢血管、筋骨格など非侵襲的な介入ガイダンスをサポートします (針/カテーテル留置、液体ドレナージ、神経ブロックを含みます)。

Kosmos は、パルスエコー超音波を使用して、リアルタイムで超音波画像を生成します。このプロセスでは、高周波音響パルスがプロープから人体に転送され、その戻り信号が検出され、返されたエコーがアナログ処理およびデジタル処理されることで、身体部位 (B モードおよび M モード) と血

流（カラードプラ、カラーパワードプラ、組織ドプラインメージング、パルス波ドプラ、連続波ドプラ）のリアルタイム画像が生成されます。各 Kosmos プローブに適用されるモードの詳細については、Kosmos の操作モードと機能を参照してください。

Kosmos Bridge は、EchoNous が設計開発して事前構成し、提供するタブレットです。Kosmos Bridgeには電源が付属しています。ディスプレイを Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa に接続すると、1つの医用電気システムとして構成されます。

Kosmos には、オプションのワイヤレス接続が用意されているため、リモート保管が可能です。また、Kosmos Bridgeはバッテリー駆動です。

Kosmos には、AI アシスト EF ワークフロー、Trio、AI FAST ツールも搭載されています。

Kosmos AI アシスト EF ワークフローにより、左心室 (LV) 駆出率 (EF) の計算を行うまでのガイドを受けることができます。Kosmos はガイド付きのワークフローを用い、必要なクリップを記録します。その後、AI が記録されたクリップを使用して、患者の性別・年齢に応じた EF、1回拍出量 (SV) および心拍出量 (CO) の初期算出値が提供され、その結果は必要に応じてレビュー、調整することが可能です。




より具体的には、Kosmos AI は、拡張終期 (ED) および収縮終期 (ES) のフレームの識別に基づいて、対応する LV 輪郭とともに、EF の初期計算を提供します。この ED/ES のフレームおよび LV 輪郭は、(必要なら) 後で調整するか、そのまま受け入れ可能です。

これらのフレームのレビュー中に、分析に基づき調整をしていただくことが可能となる一方、Kosmos は、その調整を受け、EF および 1 回拍出量 (SV) を計算します。

自動ラベリング、自動採点、自動ガイダンスの Kosmos **Trio アルゴリズム** は、A4C、A2C、PLAX ビューの取得を支援します。Kosmos Trio は、主要な心臓構造にリアルタイムで注釈を付け、ACEP ベースの 5 点尺度に基づいて画像を採点し、A4C、A2C または PLAX 画像を最適化するためのプローブの動かし方に関するガイドを提供することで、ビューの取得を支援します。

Kosmos AI FAST は、主要な解剖学的構造をリアルタイムで識別し、ラベル付けすることで、FAST 検査をガイドします。

Kosmos Trio は FDA の承認をまだ取得していません。

	EU では、Kosmos Trio は教育目的でのみ使用されます。
	EU では、Kosmos AI FAST は教育目的でのみ使用されます。
	<ul style="list-style-type: none">• CO は、Kosmos Torso の接続時に ECG でのみ取得可能であり、SV に心拍数 (HR) を乗じて算出されます。• SV は、拡張末期左室容積から収縮末期左室容積を引くことで算出します。

Kosmos を使用した EF ワークフローの計算詳細については、[Kosmos AI アシスト EF ワークフロー](#)および[Kosmos Trio の使用](#)を参照してください。

Kosmos の臨床用途

Kosmos は、人体に対する非侵襲的イメージングを目的としたものであり、プローブによる以下の用途が想定されています。

Torso/Torso-One :

- 心臓
- 胸部/肺
- 腹部

Lexsa :

- 肺
- 血管/末梢血管
- MSK
- 神経

トレーニング

Kosmos は、適切な専門資格を有する臨床医によって使用されることが想定されています。

ユーザーは、全般的な ALARA 教育プログラム (ISBN 1-932962-30-1、『*Medical Ultrasound Safety (医療用超音波の安全性)*』)、またはカナダ保健省の Web サイトで入手できる『*Guidelines for the Safe Use of Diagnostic Ultrasound (診断用超音波の安全な使用のためのガイドライン)*』に必ず目を通してください。この ALARA 教育プログラムでは、適格なユーザーが診断検査を行う際に超音波の曝露を「合理的に可能な限り低く」保つための、診断用超音波に関する指針が概説されています。

超音波イメージング機能を使用するユーザーは、上記に加えて、超音波に関する適切なトレーニングを受けている必要があります。トレーニングに関する詳細については、EchoNous または地域の専門機関にお問い合わせください。

Kosmos の分類

- Kosmos は、AC 電源が使用可能な場所で稼働できる内蔵電池を備えています。
- Kosmos の電撃に対する保護の形式による分類は、クラス II 機器。
- Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa の装着部の分類は、BF 装着部です。適用部品は以下のとおりです。
 - プローブのレンズ (前面)
 - Kosmos ECG ケーブルと接続された ECG 電極
- Kosmos Bridge は IP22 です。
- Kosmos Torso、Kosmos Torso-One と Kosmos Lexsa は IPx7 です。

患者環境

Kosmos は、医療機関での使用が想定されています。電池式になっており、患者環境での使用が想定されています。Kosmos を EchoNous 指定の電源に接続している場合にはスキャンを実施できます。EchoNous 指定の電源のみを使用してください。その他の電源を使用すると、スキャンが無効になります (Kosmos の充電は継続されます)。

-- セクション終了 --

以下余白

Kosmosの使用

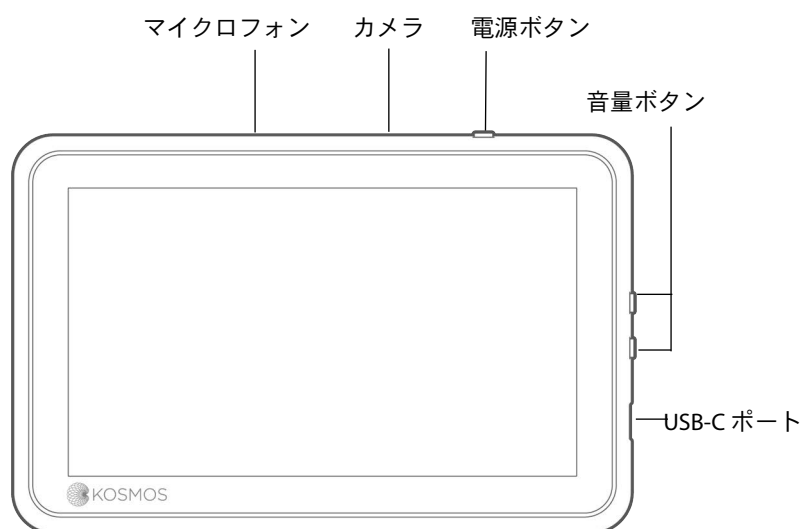
Kosmos ハードウェア

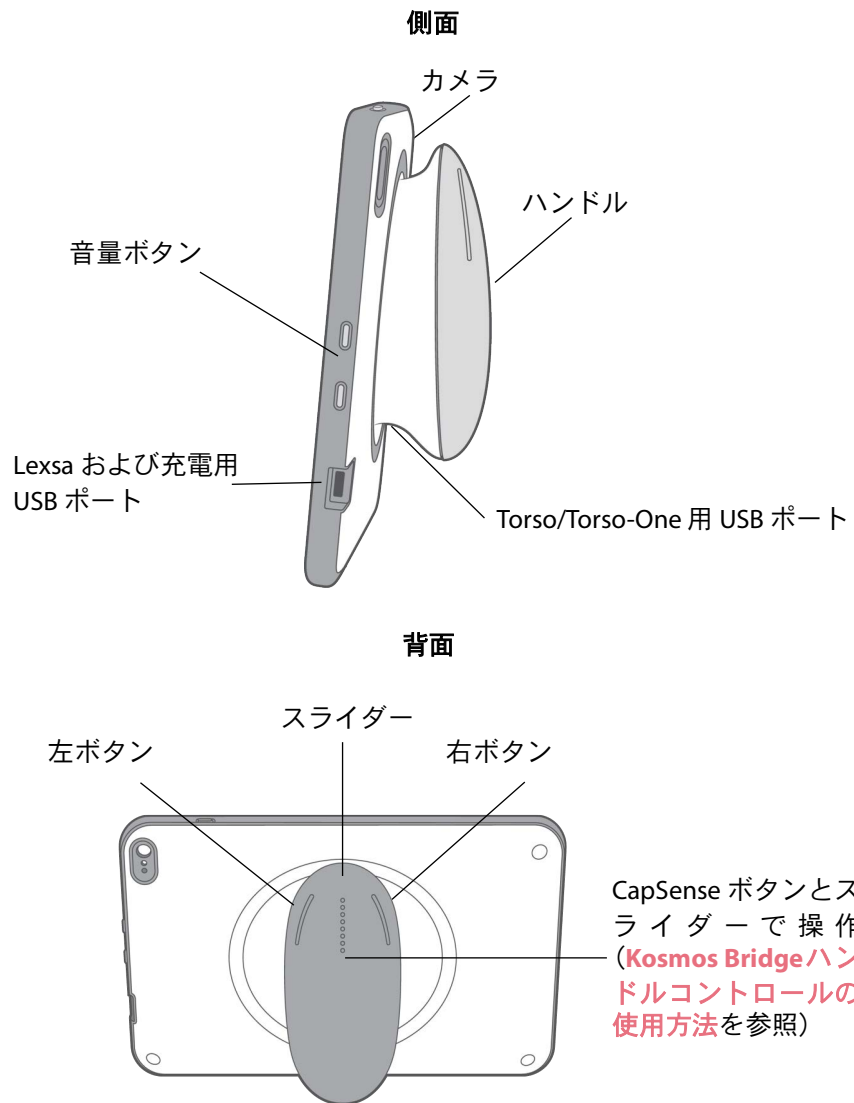


EchoNous が推奨するアクセサリのみを使用してください。
EchoNous が推奨していない USB アクセサリを Kosmos Bridge に接続しないでください。これを行うと、感電したり、装置の安全性が損なわれたりする可能性があります。EchoNous が提供または推奨するアクセサリの一覧については、EchoNous または最寄りの販売代理店にお問い合わせください。

以下の図に、Kosmos Bridge および Kosmos プローブのボタンと各部を示します。

Kosmos Bridge

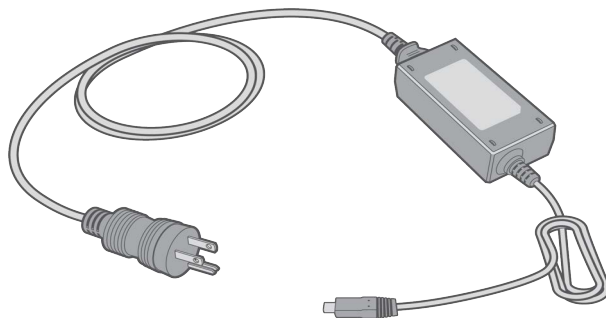




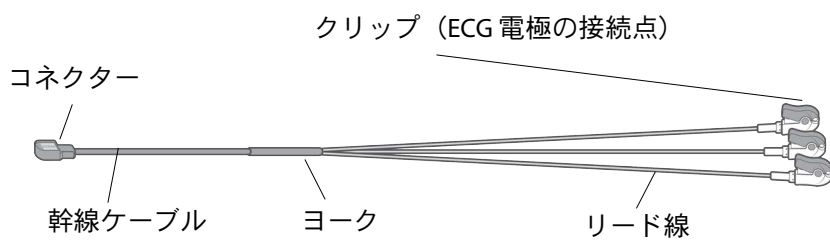
Kosmos Torso、Kosmos Torso-One と Kosmos Lexsa



Kosmos 電源

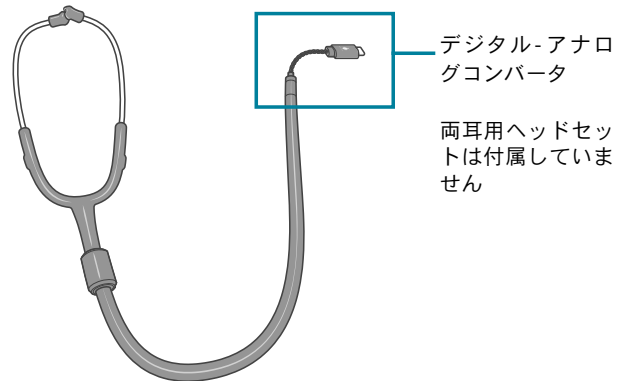


Kosmos ECG 患者ケーブル *



*Torsoにのみ適用可能

Kosmos デジタル - アナログコンバータ *



*Torsoにのみ適用可能

■	着脱式 USB デジタル-アナログコンバータは、新たにご購入された Torso プロープに付属しています。両耳用ヘッドセットは付属していません
⚠	ヘッドセットの要件に適合しないヘッドセットを使用すると、デジタル聴診信号を聞くときの音質が劣化する可能性があります。

両耳用ヘッドセットの要件

EchoNous が推奨するヘッドセットの要件：

- 周波数応答：20Hz～20KHz
- ステレオオス型 3.5mm ジャックコネクタ
- アクティブノイズキャンセリング推奨

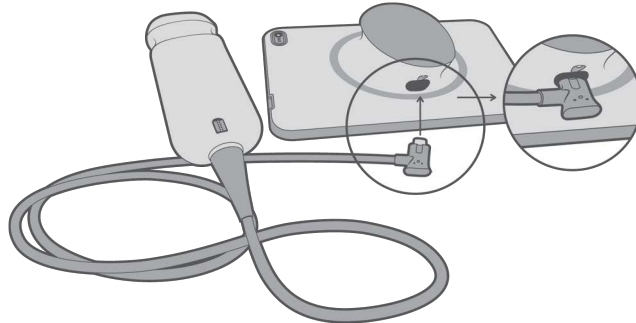
■	EchoNous では、最適なパフォーマンスを得るために、密閉型の有線ヘッドフォンを使用することを推奨しています。Bluetooth ヘッドフォンを使用すると音声が遅延することがあります。
---	--

Kosmos プローブの接続

⚠	各使用前に Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa を点検して、ひび、割れ、尖った箇所などの損傷がないことを確認してください。損傷が見つかった場合は、プローブの使用を中止し、EchoNous 販売代理店までご連絡ください。
⚠	EchoNous が推奨するアクセサリのみを使用してください。Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa を Kosmos Bridge 以外の装置に接続しないでください。
⚠	Kosmos Torso または Kosmos Torso-One を側面の USB ポートに接続しようとししないでください。
⚠	Lexsa でスキャンしている時は、すでに接続されている AC 電源は切らないでください。

Kosmos Torso か Kosmos Torso-One を Kosmos Bridge に接続：

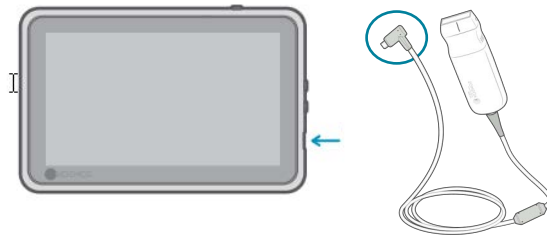
- ★ Kosmos Torso か Kosmos Torso-One のコネクタを Kosmos Bridge のハンドルの下側にあるスロットに差し込みます。



📌	Lexsa を接続する場合は、Torso または Torso-One で撮像する Lexsa プローブを取り外してください。
---	--

Kosmos Lexsa を Kosmos Bridge に接続するには、次の手順を実行します：

- ★ Kosmos Lexsa コネクタのプラグを Kosmos Bridge 側面の USB ポートに差し込みます。



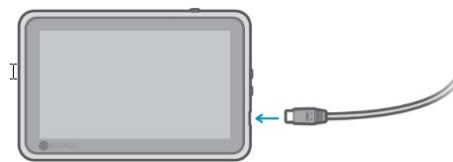
Kosmos 電源の接続

Kosmos Bridgeには、充電式電池が内蔵されています。装置付属の電源を使用してKosmos Bridgeを充電してください。

	主電源コードを極端に折り曲げたり、ねじったりしないでください。
	Kosmos には、必ず EchoNous 提供の電源を使用してください。EchoNous が認定していない電源を使用した場合、Kosmos Bridgeの充電は正常に行われますが、スキャン機能が無効になります。

Kosmos Bridgeを電源に接続するには、次の手順を実行します。

1. Kosmos の電源を Kosmos Bridge の側面にある USB スロットに接続します。
2. もう一方の端をコンセントに差し込みます。




Kosmos Bridge の電源のオン / オフ

Kosmos Bridge の電源を入れる

Kosmos Bridge の電源を入れるには、次の手順を実行します。

1. **【電源】** ボタンを押します。
2. プローブを接続します。ホーム画面で適切なプローブを選択します。
3. 任意の臓器にタップし、スキャンを開始します。

	<ul style="list-style-type: none">• セキュリティ保護のために管理者が PIN を設定している場合は、プロンプトが表示されたときに PIN を入力します。ただし、直ちにスキャンを開始する必要がある場合は、【EMERGENCY】 (緊急事態) をタップします。• スキャン後に患者データを保存するには、PIN を入力して装置にログオンします。これにより、検査結果を保存できるようになります。
---	---

Kosmos Bridge の電源を切る

Kosmos Bridge の電源を切るには、次の手順を実行します。

1. **電源** ボタンを押します。
2. 次のいずれかを実行します。
 - プロンプトが表示されたら **【OK】** をタップします。
 - Kosmos の電源が自動的に切れるまで数秒間待ちます。

Kosmos Bridge ハンドルコントロールの使用 方法

Kosmos Bridge ハンドルには、CapSense 技術を使用した 2 つのボタンと 1 つのスライダーが装備されています。これらのボタンはハンドルの突起であり、スキャン中に容易に見つけることができます。ボタンは可動式ではありませんが、Bridge のタブレット型ディスプレイ前面のタッチスクリーンと同様に、軽いタッチで容易に操作できます。

ハンドルコントロールは、シングルタップ、ダブルタップ、および上下のスライドジェスチャに応答します。これらのコントロールを有効にすると、患者をスキャンしながら、次のような主要なイメージング機能を制御できます。

- 画像のフリーズ/フリーズ解除
- 画像の保存
- 動画の保存
- ゲインの調整
- 深度の調整



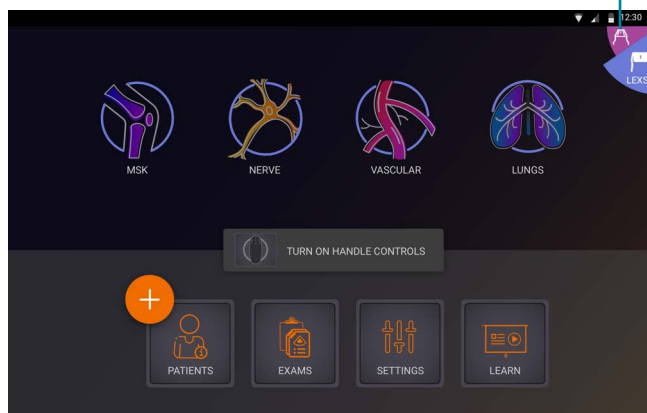
ハンドルコントロールは、ライブイメージング中および画像がフリーズしている間のみ機能します。

ハンドルコントロールに問題がある場合(1つまたは複数のボタンが機能しないなど)は、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

プローブの切り替え

複数のプローブがKosmos Bridgeに接続されている場合は、ホーム画面右上のアイコンをタップすることで、簡単にプローブを切り替えることができます。選択したプローブは、他のプローブアイコンよりも大きく表示されます。

タップしてプローブを選択



ハンドルコントロールをオンにする

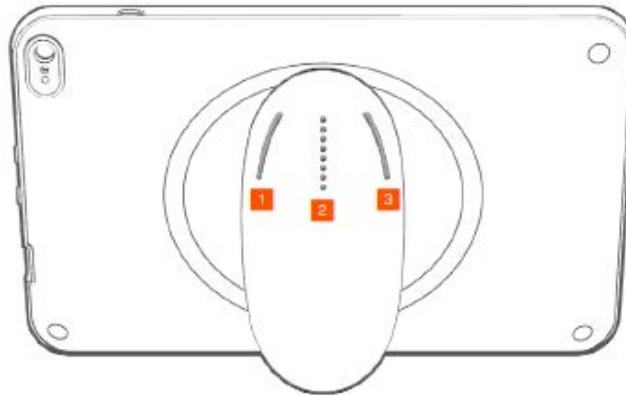
デフォルトでは、Kosmos Bridgeハンドルコントロールはオフになっています。ハンドルコントロールは、イメージング中にのみ使用可能であり、ハンドルによって操作することができます（Bモード、Mモード、B+Cモード、EFワークフロー）。

ハンドルコントロールをオンにするには、以下の操作を行います。

- ★ ホーム画面で、**[TURN ON HANDLE CONTROLS]**（ハンドルコントロールをオンにする）をタップし、**[On]**（オン）をタップします。



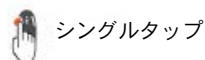
Bモードイメージングからのハンドルコントロールマッピングを表示するには、ハンドルアイコンをタップします。



1 左ボタン

2 スライダー

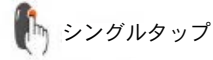
3 右ボタン



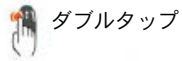
シングルタップ



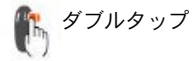
上/下スライド



シングルタップ



ダブルタップ

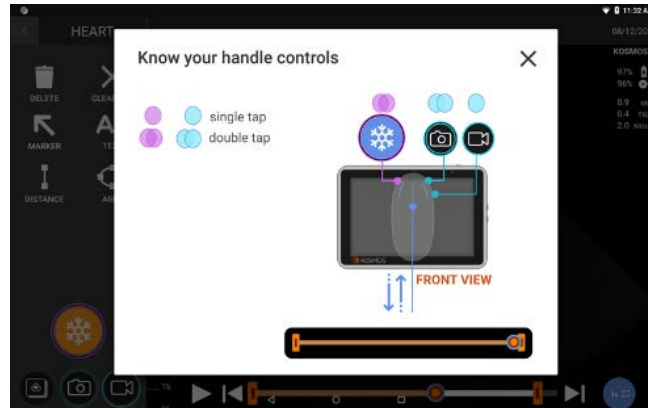


ダブルタップ

ハンドルで操作できる画像機能は、青緑色と紫色の境界線で示されます。

単一の境界線はシングルタップを意味し、二重の境界線はダブルタップを意味します。

Bモードイメージングでは、左ボタンをシングルタップして、[Depth]（深度）と [Gain]（ゲイン）のどちらかを選択します。選択したコントロールは紫色の境界線で示されます。上下にスライドして、選択したコントロールを調整できます。



同様に、シネレビュー画面では、ハンドルコントロールを使用して、フリーズ/フリーズ解除、画像の保存、動画の保存を行うことができます。スライダーを使用して、シネフェンス間でシネノブを移動します。

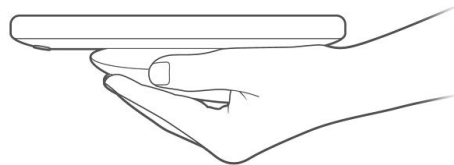
ハンドルコントロールを使用する際の人間工学上の考慮事項



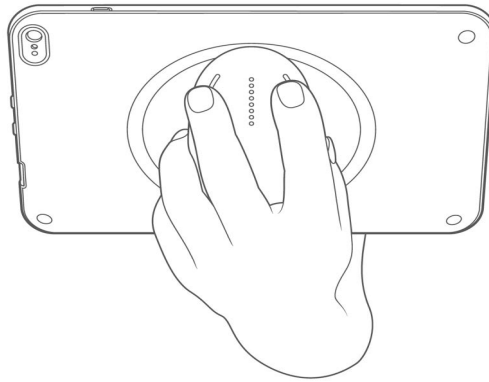
ハンドルコントロール使用時に不快感や痛みがある場合は、グリップをより快適でニュートラルな位置に調整して、負担を最小限に抑えてください。また、代わりに画面上のコントロールを使用することもできます。長期的な緊張は、反復性負荷損傷につながる可能性があります。

Kosmos Bridge を持つ際に、反復性負荷損傷のリスクを最小限に抑えるには、以下を行います。

- 手首を曲げずに、リラックスした位置で Kosmos Bridge を保持します。

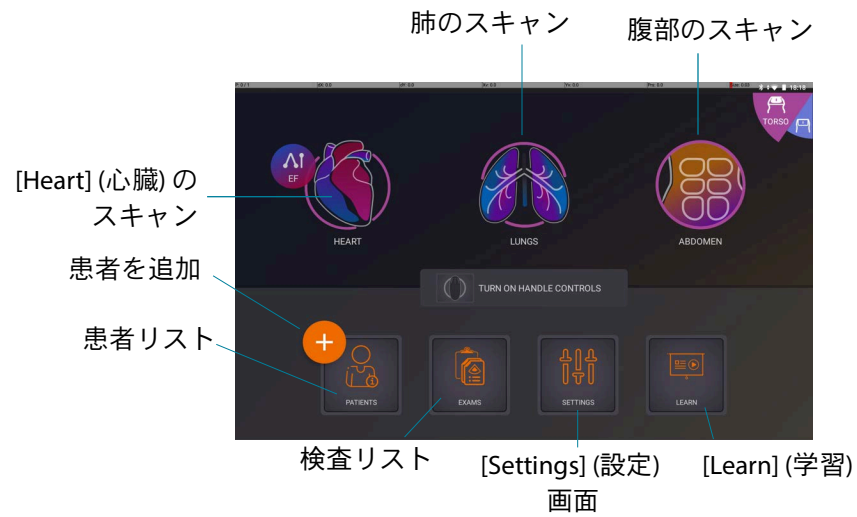


- 人差し指と中指で 3 つのコントロールに簡単にアクセスできるようにします。

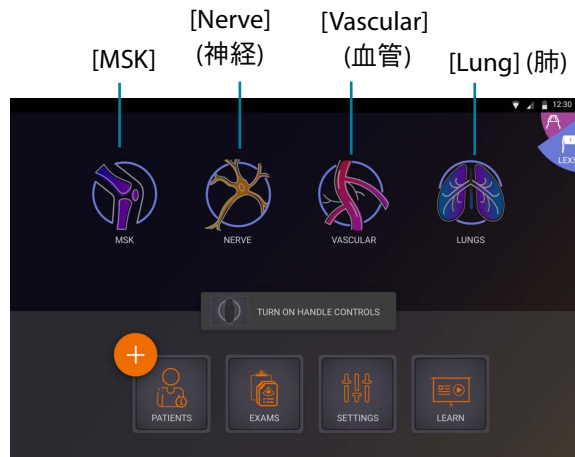


基本操作

ホーム画面：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One



ホーム画面：Kosmos Lexsa



学習

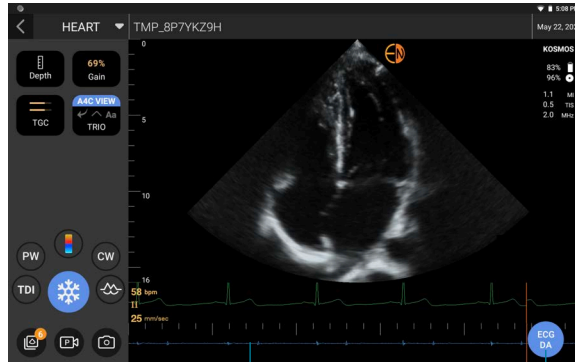
ハウツービデオおよびクイックガイドにアクセスするには、**[Learn]** (学習) をタップします。

オンスクリーンキーボード

Kosmos で患者フォームの記入や設定を行う際に、編集したいテキストフィールドをタップすることでテキストを入力できます。オンスクリーンキーボードが表示されます。

各種波形について

ECG と DA*



デジタル聴診の音声、デジタル聴診波形の表示と同期して再生されます。Kosmos Bridgeのハードウェアボタンで音量を調整できます（ミュートも可能）

ECG/DA ボタンをタップしてゲインとリードを調整します。

*ECG 波形と DA 波形は、Kosmos Torso の接続時にのみ表示されます。

ECG

ECG ゲインは ECG 波形の振幅を示しています。ECG ゲインを増減させることで、ECG 波形の振幅を変更します。

ECG 速度は表示する波形の数を決定します。適切なスイープ速度を選択します（ECG および DA の両方で共有されます）。スイープ速度が低ければより多くの波形が表示される一方、スイープ速度が高ければ少ない波形が表示されますが、個々の波形は極めて詳細になります。



設定

いったんシステム設定を行えば、Kosmos Bridgeにログオンし直しても設定内容は維持されます。

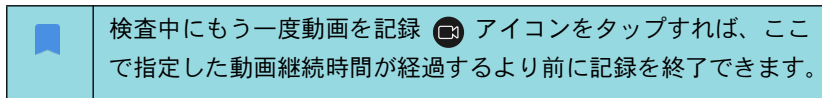
イメージング環境設定

[Imaging Preferences] (イメージング環境設定) 画面では、Kosmos Bridgeのイメージング画面に表示される情報をカスタマイズできます。

イメージング環境

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Imaging Preferences]** (イメージング環境設定) をタップします。
3. [Imaging] (イメージング) 画面の上部にあるバーに特定の情報が表示されるようにするには、**[Customize information]** (カスタマイズ情報) で以下のいずれかのオプションをタップします。
 - **[Name of facility]** (施設の名称) — イメージング画面の上部にあるバーに、検査を行う施設の名称が表示されます。
 - **[Patient name]** (患者名) — イメージング画面の上部にあるバーに、患者名が表示されます。
 - **[Patient ID]** (患者 ID) — イメージング画面の上部にあるバーに、患者 ID が表示されます。
4. Kosmos での動画の記録方法を設定するには、**[Record clip]** (動画を記録) で以下のいずれかのオプションをタップします。
 - **[Retrospective]** (後ろ向き) — [動画]  アイコンをタップすると、シネバッファー内のフレームがキャプチャされます。Kosmos では、指定した秒数のシネバッファーフレームがキャプチャされます。
 - **[Prospective]** (前向き) — [動画を記録]  アイコンをタップした時点以降のフレームがキャプチャされます。Kosmos では、指定した秒数のフレームがキャプチャされます。

5. 動画の記録時間を設定するには、**[Clip duration]**（動画継続時間）エリアから時間を選択します。



6. MモードとBモードで分割される横画面を調整するには、**[M-mode layout]**（Mモードのレイアウト）で以下のいずれかのオプションを選択します。
 - **1:2**—このオプションをタップすると、Mモードの領域がBモードの領域の2倍になるように画面が分割されます。
 - **1:1**—このオプションをタップすると、Mモードの領域とBモードの領域が同じになるように画面が分割されます。
7. **[Thermal index display]**（サーマルインデックス表示）エリアで、以下のオプションを選択します。
 - **[TIS]** —軟組織におけるサーマルインデックス。
 - **[TIB]** —焦点付近の骨におけるサーマルインデックス。
8. **[Cardiac imaging orientation]**（心臓画像の向き）のプリセットを選択します。
 - **[Left]**（左向き）または **[Right]**（右向き）を選択します。
9. PWモードとCWモードの場合は、次のいずれかを選択します。
 - 同期された焦点/ゲートおよびカラーボックス
 - 切り離された焦点/ゲートおよびカラーボックス

ECG 信号とデジタル聴診信号の設定

Kosmos Bridgeへの Kosmos Torso の接続時には、超音波は常に DA、ECG、または DA と ECG で構成されます。

超音波信号、ECG 信号、デジタル聴診信号で分割される横画面を設定するには、次の手順を実行します。

1. Kosmos Torso プローブを Bridge に接続します。
2. ホーム画面で **[SETTINGS]**（設定）をタップします。
3. **[ECG & DA Signals]**（ECG 信号 & デジタル聴診信号）をタップします。

4. 使用したいレイアウトを選択します。

言語、日付、時刻の設定

日付と時刻の自動設定を有効にしても、タイムゾーンが自動的に選択されることはありません。タイムゾーンは手動で調整する必要があります。

Kosmos の言語、日付形式、時刻形式、およびタイムゾーンを設定するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Language, Date, and Time]** (言語、日付、時刻) をタップします。
3. **[Language]** (言語) リストで、目的の言語を選択します。
4. **[Date Format]** (日付形式) ドロップダウンリストから選択します。
5. 24 時間形式で時刻を表示したい場合は、スイッチをタップしてオンに切り替えます。
6. 日付と時刻を自動的に設定するには、スイッチをタップしてオン/オフを切り替えます。オフを選択すると、日付と時刻を手動で設定できます。

サウンドの調整

メディアの音量を調整する方法は 2 通りあります。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Sound]** (サウンド) をタップします。
3. スライダーを動かしてメディアの音量を調整します。

または

1. 指を画面上部から下にスライドさせます。
2. ドロップダウンボックスから、スライダーを動かしてメディアの音量を調整します。

通知音量を調整する方法は 2 通りあります。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Sound]** (サウンド) をタップします。
3. スライダーを動かして通知音量を調整します。

4. タッチ音については、トグルスイッチを使用してタッチサウンドのオン/オフを切り替えます。
5. 通知音を変更するには、**[Default notification sound]**（デフォルトの通知音）をタップして、ドロップダウンリストから選択します。

または

1. Bridge の側面にあるボタンを使用して、通知音の音量を調整します。

明るさの設定

ディスプレイ画面の明るさを調整する方法は2通りあります。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Brightness]** (輝度) をタップします。
3. スライダーを動かして明るさレベルを調整します。



または

1. 指を画面上部から下にスライドさせます。
2. ドロップダウンボックスから、スライダーを動かして明るさレベルを調整します。

画面ミラーリング (Miracast)

Bridge の画面は、他の対応機器にキャストすることができます。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Connected Devices]** (接続デバイス) を選択します。
3. **[Cast]** (キャスト) を選択します。

	他の画面にキャストできるように、Wi-Fi の設定は [ON] (オン) にしなければなりません。
	Miracast 機能の使用中は診断ツールとして使用しないでください。画像の品質は、共有先の画面によって異なる場合があります。

バージョン情報

[About] (バージョン情報) セクションでは、シリアル番号、ハードウェアの ID、システムソフトウェアのバージョン、デバイス登録状況、ライセンス機能など、デバイスに関する重要な情報を確認できます。プローブのシリアル番号、ファームウェアのバージョン、UPS のバージョン、ライセンス機能を表示し、トランスデューサーエレメントのチェックを実行するには、プローブを接続する必要があります。さらに、法的情報、規制認証、連絡先情報、およびシステムログも、[About] (バージョン情報) セクションで確認できます。

1. ホーム画面で、[**SETTINGS**] -> [**About**] (設定 -> バージョン情報) の順に選択します。
2. Kosmos を登録していない場合は、[**Register**] (登録) をタップします。これにより、Kosmos デバイスが EchoNous クラウドに接続されます。デバイスがインターネットに接続されていることを確認します。
3. トランスデューサーエレメントのチェックを実行するには、[**Check**] (チェック) をタップします。

管理者

[Admin] (管理者) セクションでは、次の項目を確認できます。


- セキュリティ (管理者とユーザーの PIN)
- 自動電源オフおよびスリープの設定
- Us2.ai の測定 (該当する場合)
- DICOM 設定
- 検査の選択
- エクスポート環境設定
- ソフトウェアアップデート
- Wi-Fi 環境設定、VPN 環境設定
- 初期化
- システムセキュリティ (システム画面ロック、暗号化、認証情報)

管理者の設定は、Kosmos 管理者のみが行うことができます。


セキュリティ

セキュリティをさらに強化するために、管理者 PIN と臨床ユーザー PIN のどちらを設定するかを選択できます。PIN を一切設定しないこともできます。PIN を設定した後に PIN を忘れてしまっても、緊急機能を使用してスキャンすることは可能です（しかし、検査を保存することはできません）。

Kosmos を 1 人のユーザーで使用する場合は、PIN を設定する必要はありません。しかし、複数のユーザーで使用する場合は、管理者 PIN と臨床ユーザー PIN の両方を設定することが推奨されます。管理者 PIN では、すべての Kosmos 画面にアクセスできます。臨床ユーザー PIN では、管理設定画面を除くすべての Kosmos 画面にアクセスできます。

 作成した PIN は記録し、安全な場所に保管しておくことが重要です。PIN を忘れた場合は、EchoNous のカスタマーサポートまでご連絡ください。PIN を変更できるように、1 度だけ使用できる USB スティックをお送りします。

PIN の設定

 機器に保存されている患者データのセキュリティを最大限に高めるため、デバイス PIN と管理者 PIN を有効にすることが重要です。

PIN を設定するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]**（設定）をタップしてから、**[Admin]**（管理者）をタップします。
2. **[Security]**（セキュリティ）をタップします。
3. **[Enable admin PIN]**（管理者 PIN を有効にする）チェックボックスをタップしてオンにします。
4. 6 桁の数字の PIN を入力し、**[OK]** をタップします。

5. PIN をどのように設定するかを選択できます。

オプション	緊急モードでの スキャンが行える ユーザー	患者データの保 存とレビューが 行えるユーザー	管理者設定にア クセスできる ユーザー
[No PIN] (PIN なし)	全員	全員	全員
[Admin PIN only] (管理者 PIN のみ)	全員	全員	管理者 PIN を入 力した管理者
[Admin PIN & Restrict access to Home screen] (管 理者 PIN & ホーム 画面へのアクセス 制限)	全員	管理者 PIN を入 力した管理者	管理者 PIN を入 力した管理者
[Admin PIN & basic PIN] (管理者 PIN & 基本 PIN)	全員	管理者 PIN を入 力した管理者、 ユーザー PIN を 入力したユー ザー	管理者 PIN を入 力した管理者

PIN の変更

PIN を変更するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップしてから、**[Admin]** (管理者) をタップします。
2. **[Security]** (セキュリティ) をタップします。
3. 管理者 PIN を変更するには、**[Change admin PIN]** (管理者 PIN を変更) をタップし、新しい PIN 番号を入力します。
4. ユーザー PIN を変更するには、**[Change user PIN]** (ユーザー PIN を変更) をタップし、新しい PIN 番号を入力します。

PIN の削除

PIN を削除するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップしてから、**[Admin]** (管理者) をタップします。
2. **[Security]** (セキュリティ) をタップします。

3. チェックボックスをタップしてオフにします。

自動電源オフと自動スリープ時間間隔の設定

Kosmos では、長時間何も操作が行われないと、電池寿命の節約のため、自動的にスリープモードに切り替わります。

Kosmos がスリープモードに入っている場合は、電源ボタンを軽く押すと稼働状態に戻ります。Kosmos がスリープモードに入っているときには、ディスプレイにアクティビティは示されません。

スリープモードの時間間隔を変更するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** --> **[Auto power of f & sleep]** (設定 --> 自動電源オフ & スリープ) の順にタップします。
2. スリープモードの時間間隔を次から選択します：5 分、10 分、または 30 分。
3. (任意) スリープモードのときにデバイスの電源を自動的にオフにするには、チェックボックスをオンにして、時間間隔を次から選択します：5 分、10 分、または 30 分。
4. (任意) Kosmos Bridge がスリープ状態に入ったときに進行中の検査を自動的に終了するには、チェックボックスをオンにします。

Us2.ai 測定

Kosmos で Us2.ai の Us2.v1 ソフトウェアを使用するには、ライセンスを購入する必要があります。ライセンスのご購入については、お近くの EchoNous 販売代理店にお問い合わせください。

Us2.ai クラウドに接続するか、Us2.ai と Kosmos の併用時の設定を行うには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[Us2.ai Measurements]** (管理者 --> Us2.ai 測定) の順にタップします。
3. Us2.ai クラウドに接続するための認証情報を入力します。
4. 患者情報を匿名化するボックスをオンにします。

5. 画像/クリップを自動送信するには、オンに切り替えます。

DICOM 設定

DICOM 設定からモダリティワークリスト (MWL) および医用画像管理システム (PACS) を管理します。

- 新しいシステムは、プロファイルが設定されていない状態で提供されます。
- PACS プロファイルアーカイブを同時に 2 つ持つことはできません。新しいプロファイルを追加すると、現在のプロファイルは無効になります。

PACS の管理


PACS プロファイルを追加するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[DICOM]** --> **[PACS archive]** (管理者 --> DICOM --> PACS アーカイブ) の順にタップします。
3. **[ADD PROFILE]** (プロファイルを追加) をタップします。

- 新しい PACS-SCP プロファイルを追加しようとしていて、すでにプロファイルが存在する場合、既存のプロファイルは自動的に無効になります。ただし、既存のキュー内にあるジョブとスケジュール済みのアーカイブは、すべて完了させておく必要があります。

4. **[DICOM connection]** (DICOM 接続) エリアで以下の情報を入力します。
 - **[Station AE title]** (ステーションの AE タイトル) - Kosmos のアプリケーションエンティティタイトル。
 - **[Server AE title]** (サーバーの AE タイトル) - アーカイブサーバーのアプリケーションエンティティタイトル。
 - **[Server IP address]** (サーバーの IP アドレス) - アーカイブサーバーの固有識別子。
 - **[Server port number]** (サーバーのポート番号) - アーカイブサーバーのポート番号。

5. 有効なプロファイルで接続が正常に機能することを確認するには、以下のいずれかをタップします。
 - **[PING]** — Kosmos と PACS アーカイブの間のネットワーク接続をテストします。
 - **[Verify]** (検証) — 現在有効になっている PACS アーカイブが使用可能であるかをチェックします。Kosmos Bridge の画面に結果が表示されます。
6. PACS プロファイルリストに表示する一意の名前を **[Profile nickname]** (プロファイルの通称) ボックスに入力します。
7. **[Archival options]** (アーカイブオプション) エリアには、次の3つのオプションがあります。
 - **[Prompt options every time]** (オプションプロンプトを毎回表示) — 初期設定ではオンになっています。[Exam review] (検査レビュー) 画面で **[Archive]** (アーカイブ) ボタンをタップするたびに、さまざまなオプションが記載されたポップアップメニューが表示されます。このオプションをオフにすると、Kosmos にポップアップメニューが表示されなくなります。
 - **[Attach report]** (レポートを添付) - 初期設定ではオフになっています。オンにすると、Kosmos によってアーカイブにレポートが添付されるようになります。
 - **[Attach the DICOM SR report]** (DICOM SR レポートを添付) - デフォルトではオフになっています。オンにすると、Kosmos は DICOM SR レポートをアーカイブに添付します。

 3つのアーカイブオプションは、USB エクスポートオプションでも使用できます。

8. **[Auto archive]** (自動アーカイブ) エリアで、以下のオプションから選択します。
 - **[On/Off]** (オン/オフ) - 自動アーカイブは、初期設定ではオフになっています。つまり、すべてのコントロール (オン/オフスイッチ以外) が無効になっており、編集は行えません。スイッチをオンにすると、すべてのコントロールが有効になり、編集が行えるようになります。
 - **[Archival frequency]** (アーカイブの頻度)
 - **[In-progress archive]** (進行中のアーカイブ) - 画像は取得時にアーカイブされます。


- **[Completion of exam]** (検査終了) - アーカイブ時刻セクターが無効になります。
 - **[Daily]** (日次) - アーカイブ時刻セクターの時刻セクションのみが有効になります。
 - **[Weekly]** (週次) - すべてのアーカイブ時刻セクターが有効になります。
 - **[Archival time]** (アーカイブ時刻) - 検査をアーカイブする時刻と曜日を選択できます。
9. **[Retry interval (in seconds)]** (再試行の間隔(秒)) エリアで、**60**、**300**、**600**のいずれかを選択します。
 10. **[Maximum retries]** (最大再試行回数) 領域で、1、2または3を選択します。
 11. 失敗したジョブが自動的に再試行されるようにするには、スイッチを**[On]** (オン) に設定したままにします。自動的に再試行されないようにするには、スイッチをスライドさせて**[Of f]** (オフ) にします。


PACS プロファイルの無効化

プロファイルを有効にしたり無効にしたりするには、**[PACS archive]** (PACS アーカイブ) リストでスイッチをタップして、**[Active]** (アクティブ) と**[Inactive]** (非アクティブ) を切り替えます。


PACS プロファイルの削除

PACS プロファイルを削除するには、次の手順を実行します。

	PACS プロファイルを削除すると、そのプロファイルの設定もすべて削除されます。検査をアーカイブするには、有効な PACS プロファイルがなくてはなりません。
---	---


1. ホーム画面で**[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[DICOM]** --> **[PACS archive]** (管理者 --> DICOM --> PACS アーカイブ) の順にタップします。
3. プロファイルのリストで、削除するプロファイルの左側にある矢印をタップしてスライドさせます。
4. **削除**  アイコンをタップします。

MWL の管理

- | | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> • 新しいシステムは、プロファイルが設定されていない状態で提供されます。 • MWL プロファイルアーカイブを同時に 2 つ持つことはできません。新しいプロファイルを追加すると、現在のプロファイルは無効になります。 |
|---|--|

MWL プロファイルの追加：

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[DICOM]** --> **[MWL]** (管理者 --> DICOM --> MWL) の順にタップします。
3. **[ADD PROFILE]** (プロファイルを追加) をタップします。

- | | |
|---|--|
|  | <p>新しい MWL プロファイルを追加しようとしていて、すでにプロファイルが存在する場合、既存のプロファイルは自動的に無効になります。</p> |
|---|--|

4. **[DICOM connection]** (DICOM 接続) エリアで以下の情報を入力します。
 - **[Station AE title]** (ステーションの AE タイトル) - Kosmos のアプリケーションエンティティタイトル。
 - **[Server AE title]** (サーバーの AE タイトル) - アーカイブサーバーのアプリケーションエンティティタイトル。
 - **[Server IP address]** (サーバーの IP アドレス) - アーカイブサーバーの固有識別子。
 - **[Server port number]** (サーバーのポート番号) - アーカイブサーバーのポート番号。
5. 有効なプロファイルで接続が正常に機能することを確認するには、以下のいずれかをタップします。
 - **[PING]** — Kosmos と MWL サーバーの間のネットワーク接続をテストします。
 - **[Verify]** (検証) — 現在有効になっている MWL サーバーが使用可能かチェックします。
 - Kosmos Bridge の画面に結果が表示されます。
6. MWL プロファイルリストに表示する一意の名前を **[Profile nickname]** (プロファイルの通称) ボックスに入力します。

MWL プロファイルの無効化


プロフィールを有効にしたり無効にしたりするには、[MWL] リストでスイッチをタップして、[Active] (アクティブ) と [Inactive] (非アクティブ) を切り替えます。

MWL プロファイルの削除

MWL プロファイルを削除するには、次の手順を実行します。



MWL プロファイルを削除すると、そのプロフィールの設定もすべて削除されます。

1. ホーム画面で [SETTINGS] (設定) をタップします。
2. [Admin] --> [DICOM] --> [MWL] (管理者 --> DICOM --> MWL) の順にタップします。
3. プロファイルのリストで、削除するプロフィールの左側にある矢印をタップしてスライドさせます。
4. 削除  アイコンをタップします。

検査の選択

機器に保存できる患者数を制限することを選択することもできます。これには患者名のない一時的な患者記録も含まれます。患者数が上限に達すると、機器がスクリーニングを継続するために患者を削除するよう促します。患者を削除すると、その患者に関係するあらゆる関連検査も削除されます。

患者の上限、または患者数の制限

1. ホーム画面で [SETTINGS] (設定) をタップします。
2. [Admin] --> [Exam Preferences] (管理者 --> 検査の選択) の順にタップします。
3. スワイプして [Limit Patient Count] (患者数の制限) を [ON] (オン) にします。
4. 機器上で許容されている患者数を選択します。

自動検査削除選択の有効化

1. ホーム画面で [SETTINGS] (設定) をタップします。

2. **[Admin]** --> **[Exam Preferences]** --> **[Auto Delete]** (管理者 --> 検査の選択 --> 自動削除) の順にタップします。
3. スワイプして、選択肢を**[ON]** (オン) にします。



検査は、アーカイブ保存した後にのみ削除できます。

USB エクスポート

USB エクスポートの環境設定を行うには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[USB export]** (管理者 --> USB エクスポート) の順にタップします。
3. チェックボックスをオンにすると、検査を USB ドライブにエクスポートできます。
4. Kosmos のチェックボックスをオンにすると、エクスポートのオプションプロンプトが毎回表示されます。
5. ファイルタイプを選択します。

ソフトウェアの更新のインストール



ソフトウェアを更新する前に、すべての患者データをバックアップしてください。

ソフトウェアの更新は、手動でチェックすることも可能ですし、新しい更新が入手可能になっているかどうかは Kosmos によって自動的にチェックされるように設定することもできます。更新があった場合には、Kosmos によって自動的にダウンロードおよびインストールされるように設定することも可能です。

ソフトウェアの更新が入手可能になっているかどうかを手動でチェックするには、次の手順を実行します。

1. ネットワークに接続されていることを確認します (「**IT ネットワーク**」を参照)。
2. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。

3. **[Admin]** --> **[Software Updates]** (管理者 --> ソフトウェアアップデート) の順にタップします。
4. **[CHECK FOR UPDATES]** (アップデートをチェック) をタップします。

アップデートをインストールするには、次の手順を実行します。

ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。

5. **[Admin]** --> **[Software Updates]** (管理者 --> ソフトウェアアップデート) の順にタップします。
6. **[UPDATE NOW]** (今すぐアップデート) をタップします。

ネットワークとインターネットの設定の管理

各機能、セキュリティ、回復の詳細については、「**IT ネットワーク**」の章を参照してください。

ネットワークとインターネットの設定を管理するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** (管理者) をタップします。
3. **[Wi-Fi]** をタップします。
4. スイッチを切り替えて、Wi-Fi をオン/オフにします。

VPN


VPN を追加するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[VPN]** (管理者 --> VPN) の順にタップします。
3. プラスアイコンをタップして VPN を追加します。認証情報ストレージを使用するには、ロック画面の PIN またはパスワードを設定する必要があります。

工場出荷時の設定にリセット

Kosmos は工場出荷時の設定に戻すことができますが、これを行うと内部ストレージから次の項目を含むすべてのデータが消去されるのでご注意ください。

- 患者データ
- PACS 設定
- デバイス設定
- その他のユーザーデータ

 データの損失を防ぐために、工場出荷時へのリセットを実行する前に必ずデータを保存してください。

デバイスで工場出荷時へのリセットを実行するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[Factory reset]** (管理者 --> 工場出荷時へのリセット) の順にタップします。
3. **[RESET]** (リセット) をタップします。

システムセキュリティ

デバイスにスクリーンロックを追加するには、次の手順を実行します。


1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Admin]** --> **[System Security]** (管理者 --> システムセキュリティ) の順にタップします。
3. **[Screen lock]** (画面ロック) をタップして、ドロップダウンリストから画面ロックのタイプを選択します。

レポート設定

レポート設定をカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[SETTINGS]** (設定) をタップします。
2. **[Report Settings]** (レポート設定) をタップします。

3. 測定値を心臓レポートに表示する方法をカスタマイズするには、各測定値について次のいずれかを選択します。
 - **[Last]**（最後）に測定した値
 - 平均 **[Avg]**（平均）測定値
 - 最大 **[Max]**（最大）測定値

	レポート設定とは関係なく、検査中に [Last] （最後）、 [Avg] （平均）、 [Max] （最大）を選択できます。
---	--

4. 距離と速度の指標を選択します。

ワイヤレスネットワーク

機能

Kosmos を IT ネットワークに接続すると、以下のことが行えます。

- Kosmos で取得した検査データ（静止画像と動画）を DICOM 通信によって医用画像管理システム（PACS）に保存します。
- ネットワークタイムサービスに問い合わせることで Kosmos の時刻を正確に設定します。

接続仕様

ハードウェア仕様

802.11 a/b/g/n/ac、Bluetooth 4.0 以上。

ソフトウェア仕様

Kosmos は、DICOM 規格により PACS に接続されます。詳細については、EchoNous の Web サイトに掲載されている DICOM 適合性宣言書を参照してください。

-- セクション終わり --

使用制限

本機器は、5,150～5,350 MHz の周波数帯域で操作する際は、屋内での使用に制限されています。この制限は以下の地域に適用されます：AT、BE、BG、CH、CY、CZ、DE、DK、EE、EL、ES、FI、FR、HR、HU、IE、IS、IT、LI、LT、LU、LV、MT、NL、NO、PL、PT、RO、SE、SI、SK、TR、UK。

-- セクション終わり --

ECG 信号とデジタル 聴診信号の統合

概要

Kosmos Bridgeへの Kosmos Torso の接続時、リアルタイムで ECG 信号と DA 信号を超音波と同期化することができます。ECG 信号と DA 信号は、Kosmos Torso でのみ利用可能です。

ECG

心電図検査法は、皮膚の上に置いた電極を使用して、一定期間に渡って心臓の電氣的活動を記録するプロセスです。これらの電極は、各心拍中の脱分極と再分極による心筋の電気生理学的パターンから生じた、皮膚上の小さな電位変化を検出します。この非侵襲性の医療処置によって生成される電圧と時間のグラフが、心電図 (ECG) です。横軸が時間を表し、縦軸が電圧を表します。

Kosmos における ECG の性能に関して言えば、Kosmos の ECG 機能は、単一の ECG リード (リード I、リード II、リード III のいずれでも可) の取得と表示が可能な 3 リード 1 チャンネルの ECG を使用します。

Kosmos の ECG 機能では、Kosmos ECG ケーブルを用います。Kosmos ECG ケーブルは、片方の端が Kosmos Torso と接続され、他方の端は RA/LA/LL の 3 本のリード線を有しています。これらのリード線とそれぞれのクリップが、標準的な RA/LA/LL 構成を使用して患者に接続されます。これにより、どの時点においても、1 本の ECG リード (リード I、リード II、リード III のいずれか) を Kosmos で取得および表示できます。ユーザーは Kosmos Bridge を使用することで、どのリード線を取得および表示するかを選択できます。

ECG は、従来、超音波において心周期のタイミング基準を提供するために使用されてきましたが、同じことをデジタル聴診 (DA) でも行うことができます。Kosmos の ECG は、超音波信号とデジタル聴診信号の両方における

タイミング基準として機能する他、HR 測定とリズム評価において、訓練を受けた有資格の医療従事者が取得および表示した ECG リードを見ることにも使用できます。

DA

聴診は、体内の音を聴いて循環器系や呼吸器系（心音および肺音）および消化器系（腸音）を検査する診察で、通常は聴診器を使用して行います。

心臓の聴診を行う際には、医師は、心拍と一緒に起こる心雑音、ギャロップ、その他の余分な音などの異常音がないかを聴きます。HR にも注意します。肺の音を聴くときには、ゼーゼー、ヒューヒュー、パチパチといった呼吸音が特定されます。消化器系の聴診は、腸音の存在を調べるために行われます。デジタル聴診 (DA) は、聴診のデジタル版です。デジタル聴診には、心音、肺音、腸音のデジタル録音を記録、可視化、保存、分析、共有する機能が含まれます。








デジタル聴診での音の可視化は、取得中にユーザーに対してリアルタイムで表示される波形により実現されます。心音の場合、この波形は心音図とも呼ばれます。

ECG 信号とデジタル聴診信号を超音波とともに使用することのメリット

超音波イメージング、ECG、デジタル聴診はすべて、時間同期された状態で Kosmos Torso に統合されています。超音波の同期化された信号をリアルタイムで表示できるため、ECG およびデジタル聴診は、同じ生理学的事実を異なる視点間で相互参照することができるデータとして提供されます。

- **超音波**では、心臓の動きに関する解剖学的な視点が提供されます。
- **デジタル聴診**では、心臓弁に関する聴覚的および視覚的フィードバックが（心音図波形を通じて）提供されます。
- **ECG**では、心収縮を起こす電気的活性に関する情報が提供されます。

Kosmos ECG ケーブルの使用

	Kosmos ECG ケーブルは、カップリング磁石によって Kosmos Torso に接続されます。Kosmos Torso には小さな永久磁石が入っており、そこに Kosmos ECG ケーブルが接続されます。心臓ペースメーカーまたはその他の植込み型機器を使用している患者には Kosmos を使用しないでください。
	Kosmos ECG ケーブルは、カップリング磁石によって Kosmos Torso に接続されます。Kosmos ECG ケーブルには、装置コネクタ部に小さな永久磁石が入っています。心臓ペースメーカーまたはその他の植込み型機器を使用している患者には Kosmos を使用しないでください。
	Kosmos ECG ケーブルは耐除細動型ではありません。
	Kosmos の ECG 機能の分類は BF 形装着部です。Kosmos の ECG 機能は、心臓と直接接しているリード線のように、患者の心電図モニタリングなどとして使用するものではありません。BF 形装着部用の電極の導電部分および関連コネクタ（中性極を含む）は、接地アースを含む他の導電部と接触しないようにしてください。
	Kosmos は不規則な心拍リズムの場合には HR を正確にレポートしないことがあります。
	Kosmos は診断用の ECG として使用するものではありません。本装置は、すべての HR、心拍リズム、および心電波形の変化を検出または測定するものではありません。
	導電された RF エネルギーは、ECG 波形でのノイズの原因となることがあります。ノイズが ECG 波形で検出されたら、Kosmos を AC 電源から切ってください。

Kosmos ECG ケーブルを使用するには、次の手順を実行します。

1. 選択した ECG 電極（ECG クリップを取り付ける場所）を患者の上に配置します。このとき、電極が互いの反対側に対称的に配置され、カラーコードに一致していることを確認します。

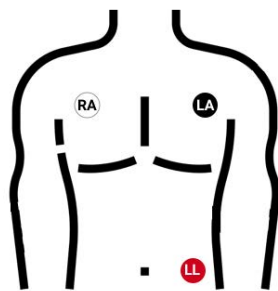
米国推奨 American Heart Association（アメリカ心臓協会）：

- RA：右腕（白いクリップ）
- LA：左腕（黒いクリップ）
- LL：左足（赤いクリップ）

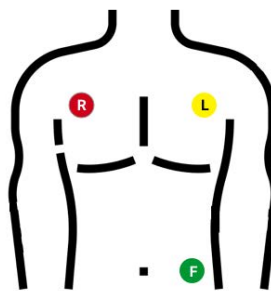
IEC 推奨：

- R：右腕（赤いクリップ）
- L：左腕（黄色いクリップ）
- F：左足（緑色のクリップ）

ECG電極装着ガイド



AHA（アメリカ心臓協会）





IEC（国際電気標準会議）

2. Kosmos ECG ケーブルのコネクター側の端をKosmos Torsoの磁気スロットに差し込みます。



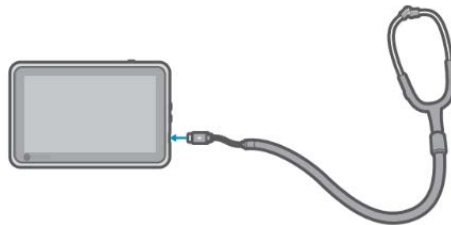
両耳用ヘッドセットの接続

	デジタル聴診信号は Kosmos に組み込まれています。外部マイクログフォン/センサーを取り付ける必要はありません。
	デジタル聴診信号を聴くには、両耳用ヘッドセットを Kosmos Bridge の USB ポートに差し込む必要があります。必要に応じて、デジタル-アナログコンバータを使用します。

デジタル聴診のマイクログフォンと信号処理は、Kosmos に組み込まれています。ユーザーは、各自で両耳用ヘッドセットを用意する必要があります。デジタル-アナログコンバータは EchoNous が提供します。

両耳用ヘッドセットを接続するには：

1. 両耳用ヘッドセットをデジタル-アナログコンバータに接続します。
2. コンバータの USB-C プラグを Bridge 側面の USB-C ポートに差し込みます。



3. ヘッドセットを装着します。
4. Kosmos Bridge で、[ECG/DA Signals] (ECG/DA 信号) タブをタップします。

5. **[DA]** (デジタル聴診) をタップしてオンにします。
6. 画面の上端から下向きに指をスライドさせて、音量コントロールを表示します。
7. 音量を調整します。

ECG 信号とデジタル聴診信号の表示



ECG 信号とデジタル聴診信号は、Bモードとカラーモード以外は使用できません。

1. **[ECG/DA]** タブをタップして、2色信号コントロールを表示します。初期設定では、超音波画像だけが表示されます。
2. ECG 信号を表示するには、**[ECG]** をタップしてオンにします。オフにするには、もう一度タップします。
3. デジタル聴診信号を表示するには、**[DA]** (デジタル聴診) をタップしてオンにします。オフにするには、もう一度タップします。
4. 取得して表示する ECG リードを選択するには、**[Lead]** (リード) をタップします。

信号のスクロール

ECG 信号とデジタル聴診信号は、左から右へとスクロールします。最も新しい信号が左側に現れ、オレンジ色のカーソルで示されます。スクロールが開始すると、カーソルの右側の領域が空になり、2巡目のスクロールからは新しいスクロールが古い信号に重なります。デジタル聴診の音声は、デジタル聴診波形のスクロールと同期化されます。

ECG 信号インジケータ

信号が弱い場合や、画面で読み取れない場合は、以下の点を確認してください。

- Kosmos Torso がしっかり静止している。
- 患者が動いていない。
- リード線と Kosmos Torso の接続が緩んでいない。

画像のフリーズ中、または動画の取得中における ECG 信号とデジタル聴診信号の保存

ECG とデジタル聴診の波形とともに、画像のフリーズや動画の取得を行うことができるため、波形を [Editing] (編集) 画面でレビューできます。[Imaging] (イメージング) 画面に表示される内容がそのまま保存されるため、ライブイメージングモードでいずれかの信号をオフにし、画像や動画を保存した場合は、画面に表示されていた信号だけが保存されます。

保存した検査や動画をレビューする際における、ECG 信号とデジタル聴診信号の表示に関する詳細については、[検査のレビュー](#)を参照してください。

ECG の波形とデジタル聴診の波形のアーカイブ化とエクスポート








検査をアーカイブして PACS サーバーに保存すると、ECG の波形やデジタル聴診の波形が、超音波の画像または動画に組み込まれます。

検査を USB ドライブにエクスポートすると、ECG の波形とデジタル聴診の波形および音声信号が、超音波の画像または動画に反映されます。ただし、ECG またはデジタル聴診を別ファイルとしてアーカイブ化したりエクスポートしたりすることはできません。ECG データとデジタル聴診データは、すべて超音波の画像または動画の一部であり、別々にはアーカイブ化されないためです。

以下余白

検査の実施

概要

	Kosmos Bridgeを穿刺ガイダンスなどの重要な処置に使用する前に、完全に充電されているか、AC電源に接続されていることを確認してください。電池の消耗によって処置が中断されると、患者に害が及ぼす可能性があります。
	特定の状況下では、Kosmos Bridgeの筐体が、患者と接触してよい安全な上限温度（IEC 60601-1）を超える場合があります。システムの手扱いは、オペレーターのみが行うようにしてください。使用中は、Kosmos Bridgeを患者の上に置かないでください。
	Kosmos プローブスキャンヘッドの最大温度は、通常の使用で患者と接触しているとき、41℃より高くなる場合がありますが、43℃に達することはありません。トランスデューサーを小児などの高温に敏感な患者に使用する場合には、特別な予防措置を検討する必要があります。
	感染のリスクを下げるために、針を使う処置を実施する際には、滅菌シースを使用してください。
	患者データの取違いを避けるため、検査を完了させてから新しい患者を検査してください。
	EU では、Kosmos Trio は教育目的でのみ使用されます。
	EU では、Kosmos AI FAST は教育目的でのみ使用されます。

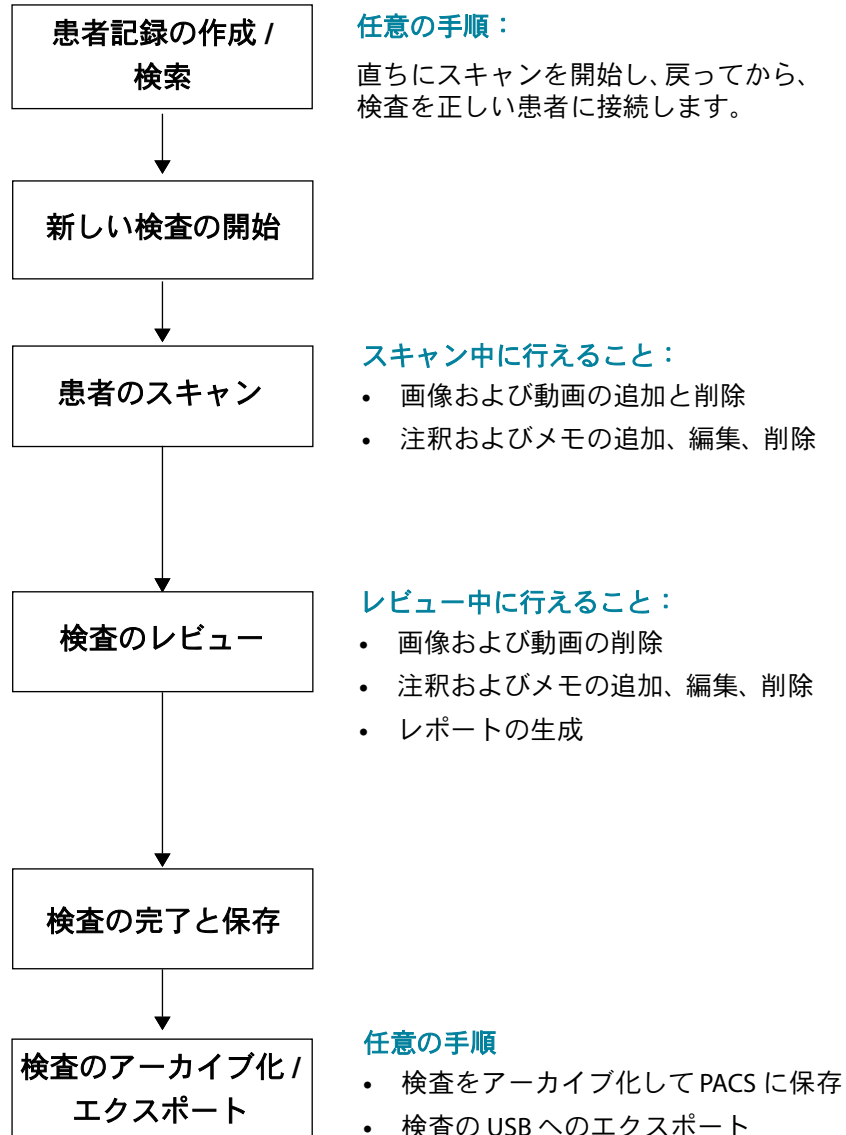
主な検査ワークフロー

Kosmosでは、主に3種類のワークフローがあり、以下のリンクのいずれかをクリックするとそのワークフローに移動できます。

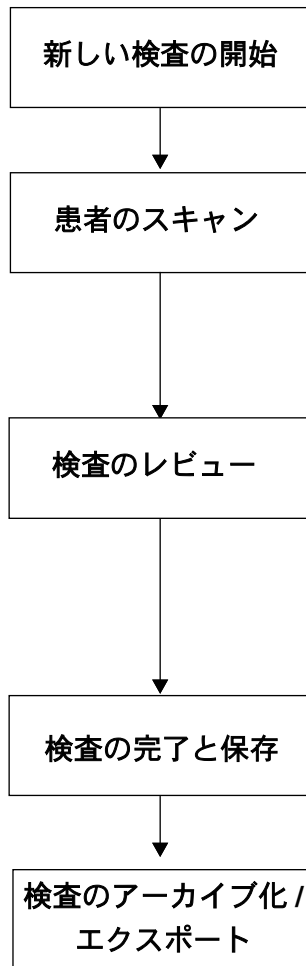
- **標準ワークフロー**は患者を新たに作成するか、既存の患者を検索するかのいずれかで開始します。
- **クイックワークフロー**は患者のスキャンで開始します。
- **Kosmos AI アシスト EF ワークフロー**はAIを使用し、初期EF計算を実施します。

検査ワークフロー

標準ワークフロー



クイックワークフロー



スキャン中に行えること：

- 画像および動画の追加と削除
- 注釈およびメモの追加、編集、削除

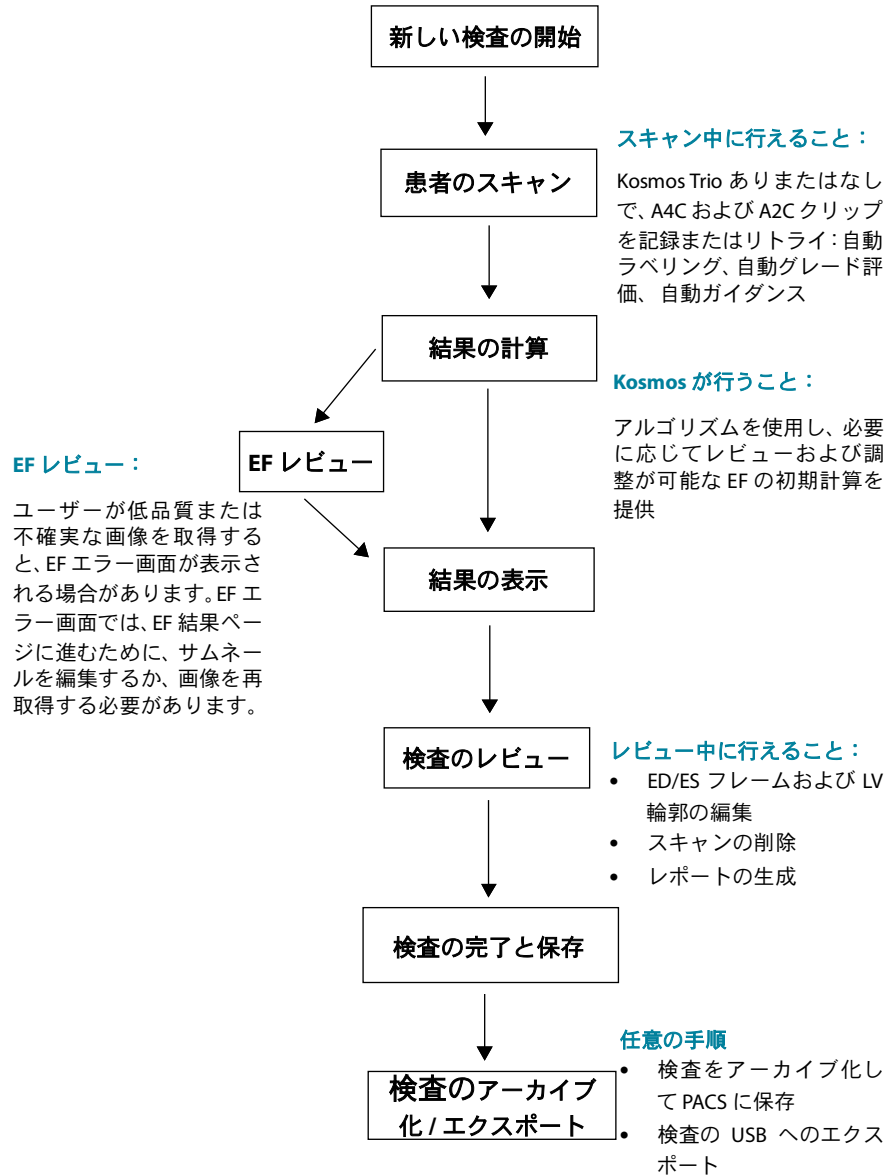
レビュー中に行えること：

- 画像および動画の削除
- 注釈およびメモの追加、編集、削除
- レポートの生成

任意の手順

- 検査をアーカイブ化して PACS に保存
- 検査の USB へのエクスポート


Kosmos AI アシスト EF ワークフロー



検査の管理


検査の開始

検査を開始する方法は複数あります。

- 直ちにスキャンを開始するには、ホーム画面でプリセットをタップしてスキャンを開始します。
検査を保存すると、Kosmos によって自動的に一時的な ID が生成され、その一時的な ID で画像/動画が保存されます。
- ホーム画面で、[PATIENTS] --> [NEW PATIENT] --> [SCAN] (患者 --> 新規患者 --> スキャン) の順に選択します。
 - 追加  アイコンをショートカットとして使用して、新しい患者を追加します。
- 既存の患者の場合は、ホーム画面で [PATIENTS] (患者) を選択し、患者リストから患者を選択して [SCAN] (スキャン) をタップします。
- ホーム画面で、[EXAMS] --> [NEW PATIENT] (検査 --> 新規患者) の順に選択するか、または既存の患者を検索して [SCAN] (スキャン) をタップします。

検査の検索

検査を検索するには、次の手順を実行します。


1. [Exam] (検査) 画面で、検索  アイコンをタップします。
2. 日付、患者名、生年月日、診療記録番号などの検索条件を入力します。
3. 検索結果のリストから、表示したい検査をタップします。リストされた各検査は、以下に例を示すように、実施されたスキャンの数を示しています。




検査の削除

1つまたは複数の検査を削除するには、次の手順を実行します。

1. 検査のリストで、検査の左側にある1つまたは複数の丸をタップします。丸がチェックマークに変わり、選択されたことがわかります。

2. ゴミ箱  アイコンをタップします。
3. プロンプトが表示されたら、**[OK]**をタップします。


すべての空検査（画像/動画がない検査）を削除するには、次の手順を実行します。

1. 検査のリストで、その他のオプション  アイコンをタップします。
2. **[Delete all empty exams]** (空検査をすべて削除) をタップします。
3. プロンプトが表示されたら、**[OK]**をタップします。

検査の完了

複数の患者から保存された画像と動画の取違いを避けるため、検査は必ず完了させてください。


検査を完了させるには、次の手順を実行します。

1. [Imaging]（イメージング）画面で、検査レビュー  アイコンをタップします。
2. **[Complete]** (完了) をタップします。
3. プロンプトが表示されたら、**[OK]**をタップします。

患者データの管理



新しい患者の追加

ホーム画面で新しい患者を追加するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で、**[PATIENTS]**（患者）ボタンの追加  アイコンをタップします。
2. 患者情報を入力してください。
3. オプションで、検査情報を入力できます。
4. 入力し終わったら **[SCAN]** (スキャン) をタップします。


MWL を使用した患者情報へのアクセス

医療情報システムに接続していて、Kosmos に MWL が設定されている場合は、患者情報にアクセスできます。

1. ホーム画面で **[PATIENTS]** (患者) をタップします。
2. **[MWL]** ボタンをタップします。  アイコンをタップすると、リスト全体が表示されます。
3.  アイコンをタップして、特定の患者を検索します。
4. **[SCAN]** (スキャン) をタップすると、スキャンが開始されます。

患者の検索

患者を検索するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[PATIENTS]** (患者) をタップします。
2. 検索  アイコンをタップします。
3. 名前、生年月日、診療記録番号など、探している患者の検索条件を入力します。
4. 検索結果リストから患者を選択し、**[DONE]** (完了) をタップします。

他の患者への変更

すでに検査を開始しているときに、新しい患者への変更や新しい患者の追加を行うには、次の手順を実行します。

1. **[New Exam]** (新規検査) 画面で **[CHANGE]** (変更) をタップします。
2. 次のいずれかを実行します。
 - 新しい患者に変更するには、**[ADD NEW]** (新規追加) をタップし、患者フォームに入力します。
 - 既存の患者を探すには、**[SEARCH HISTORY]** (履歴を検索) をタップし、検索ツールを使用して患者を探し、リストから患者名をタップします。

患者記録の編集

患者記録を編集するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[PATIENTS]** (患者) をタップします。
2. [Patient] (患者) リストから、編集したい患者記録をダブルタップします。
3. 患者情報を入力し、入力し終わったら **[SAVE]** (保存) をタップします。

2つの患者記録の統合

複数の患者を同じ名前で保存しており、実際にそれらが同じ患者の場合は、その患者のすべての検査を1つの患者記録に統合できます。こうすることで、その患者を追跡しやすくなります。



一時的な患者を統合することはできません。

2つの患者を統合するには、以下のフィールドを入力しておいてください。


- [First name] (名)
- [Last name] (姓)
- [DOB] (生年月日)
- [Gender] (性別)

2つの患者記録を統合するには、次の手順を実行します。


1. ホーム画面で **[PATIENTS]** (患者) をタップします。
2. タップして、患者の1つを選択します。
3. [Patient review] (患者のレビュー) 画面で、その他のオプション : アイコンをタップします。
4. **[Merge to patient]** (患者を統合) をタップします。
5. リストで、統合したい他の患者をタップします。
6. **[NEXT]** (次へ) をタップします。
7. その患者に関して維持するフィールドをタップします。
8. **[MERGE]** (統合) をタップしてから、**[OK]** をタップします。

患者記録の削除

検査のない患者記録をすべて削除するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[PATIENTS]** (患者) をタップします。
2. その他のオプション  アイコンをタップします。
3. **[Delete all patients without exams]** (検査のない患者をすべて削除) をタップします。

選択した患者記録を削除するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[PATIENTS]** (患者) をタップします。
2. 患者リストから、1つまたは複数の患者名をタップします。
3. ゴミ箱  アイコンをタップします。

器官のプリセット

Kosmosの各プローブで使用できる器官プリセットの概要を表5-1に示します。

表 5-1. Kosmos プローブ別の器官プリセット

器官	Torso	Torso-One	Lexsa
[Heart] (心臓)	X	X	
肺	X	X	X
[Abdomen] (腹部)	X	X	
血管			X
神経			X
MSK			X

イメージングモードと機能

各 Kosmos プローブに適用可能なイメージングモードと機能の概要については、表 5-2 「Kosmos の操作モードと機能」を参照してください。

表 5-2. Kosmos の操作モードと機能

モード	Torso	Torso-One	Lexsa
B モード	X	X	X
M モード	X	X	X
カラードブラ	X	X	X
ハーモニックイメージング	X	X	
AI アシスト EF ワークフロー	X	X	
Kosmos Trio	X	X	
CW ドブラ	X	X	
PW ドブラ	X	X	X
組織ドブラ (TDI)	X	X	
AI FAST	X	X	
カラーパワードブラ (CPD)			X
Us2.ai	X	X	
心臓検査の計算	X	X	

B モード (2D)

2D/B モードは、このシステムにおける初期設定のイメージングモードです。エコー信号の振幅に基づいて明るさレベルが割り当てられ、エコーが 2 次元で表示されます。


ドブラモードでは、2D/B モードのコントロールは非表示になります。2D/B モードとドブラモードのコントロールを切り替えることができます。


- ★ 2D/B モードのコントロールを表示するには、**[2D]** をタップします。

Mモード

Mモードは、モーションモードとも呼ばれます。このモードでは、時間を追って表示される画像を追跡できます。シングルビームの超音波が伝送され、反射された信号が強度の変化するドットとして表示され、それによって画像全体にラインが生成されます。

Mモードがオンになっている場合は、画面が分割されて、BモードとMモードが表示されます。Mラインやスイープ速度などのMモード固有のコントロールに加えて、Bモードと同様に深度、ゲインも調整できます。

 Lexsa プローブによるスキャン中は、Mモードは肺プリセットでのみ利用可能です。

- ★ [M-mode] (Mモード)を開始するには、Mモード  アイコンをタップします。

Mライン

- ★ Mラインを移動させるには、指を使ってMモードに変更し、Mラインを目的の場所までドラッグします。

スイープ速度


スイープ速度を変更することで、個々のモーションを切り離すことができます。

- ★ Mモードのスイープ速度を変更するには、**[Speed]** (速度) をタップして、25、50、75 または 100 mm/秒を選択します。

カラードプラ

カラーモードを使用すると、血流の存在、速度、方向を幅広い範囲の血流状態で可視化することができます。

Kosmos の使用中に、システムによるカラーの取得に干渉することなく、カラードプラのオン/オフを切り替えることができます。

- ★ カラードブラのオン/オフを切り替えるには、カラー  アイコンをタップします。

カラーボックス

カラーボックスは、イメージング中に移動したりサイズ変更したりできます。ボックスの縦および横の最大サイズは、組織、深度、その他の設定に応じて制限される場合があります。

- カラーボックスを移動するには、カラーボックスを別の場所へとドラッグします。
- カラーボックスのサイズを変更するには、カラーボックスのいずれかのコーナーを移動させて、高くしたり広くしたりします。

スケール

スケールでは、パルスの繰り返し周波数を変更します。これによって、カラーマップの上端と下端で示される範囲での速度スケールが決定されず。

- ★ スケールを変更するには、**[Scale]** (スケール) をタップします。

カラーゲイン

カラーゲインはカラー信号のリターンを増幅します。

- ★ カラー信号を調整するには、**[Color Gain]** (カラーゲイン) をタップします

感度

低、中、高の範囲を最適化するために、3つの感度範囲が選択できるようになっています。

- ★ 感度を変更するには、**[Sensitivity]** (感度) をタップして、オプションを選択します。

ウォールフィルター

ウォールフィルターのレベルを上げるほど、低周波信号がブロックされやすくなります。

- ★ ウォールフィルターを変更するには、**[Wall filter]**(ウォールフィルター)をタップし、適切な低周波信号を設定します。

操作

操作を使用すると、カラー ROI のステアリング角度を変更できます。5つの角度から選択できます。

- ★ 希望の角度を選択するには、**[Steer]** (操作) をタップします。

動脈

[Artery] (動脈) では、動脈/静脈を選択できます。[Artery] (動脈) の流れには動脈を選択し、[Vein] (静脈) の流れには静脈を選択する必要があります。

- ★ 動脈/静脈を選択するには、**[Artery]** (動脈) をタップします。



[Steer] (操作) と [Artery] (動脈) は、Lexsa カラーモードでのみ利用可能です。

カラーマップ

心臓カラーマップを変更するには、次の手順を実行します。


1. 画面の右側で、カラーマップの横にある **:** アイコンをタップします。
2. お好みのカラーマップを選択します。
3. カラーマップを反転させるには、チェックボックスをオンにし、**[OK]** をタップして変更内容を保存します。

パルス波ドプラ

パルス波ドプラ (PW) モードでは、距離ゲーティングと呼ばれるプロセスで超音波の短いパルス波を用いて、トランスデューサーから、特定深度の小さな領域からの信号分析を容易にします。

- ★ PW ドプラを開始するには、**PW** モードアイコンをタップします。

デュプレックス画面

 PW モードは、腹部と心臓のプリセットでのみ利用可能です。

- ★ デュプレックス画面の **[Update]** (更新) ボタンをタップします。フリーズしたBモード画像が上部に表示され、ライブドプラトレースが下部に表示されます。

ゲート位置とドブラライン

- ★ ドットサークルを移動させながら**[Gate location]** (ゲート位置) と **[Doppler line]** (ドブラライン) を調整します。腹部プリセットでは、ゲートをタップして角度調整線を表示させ、設定することができます。カラーモードがオンの場合、サークルを移動させるとカラーボックスも移動します。このサークルとカラーボックスの連動は、**[SETTINGS]** --> **[Imaging preferences]** (設定 --> イメージング環境設定) で切り離すことができます。

ベースライン

- ★ ドプラトレースで**[Baseline]** (ベースライン) をタップして上下に移動させます。

ライブディスプレイ

- ★ **[Live display]** (ライブディスプレイ) をタップし、PWライブモードとBライブモードを切り替えます。Bライブモードでは、ドプラトレースはフリーズしています。

ウォールフィルター

[Wall filter] (ウォールフィルター) は、低周波信号からのエコーを除去するのに役立ちます。

- ★ アイコンをタップし、フィルターの強度を選択します：Low (低)、Medium (中)、High (高)。

反転

- ★ ドブラのスペクトルを反転させるには、[Invert] (反転) ボタンをタップします。

スケール

スケールにより速度スケールを変更します。

- ★ スケールを変更するには、[Scale] (スケール) をタップします。

ドブラゲイン

ゲインにより、ドブラスペクトルの明るさ／強度を制御します。

- ★ ドブラゲインを調整するには、[Gain] (ゲイン) をタップします。

オーディオゲイン

オーディオゲインにより、音量の強さを制御します。

- ★ オーディオゲインを調整するには、[Audio gain] (オーディオゲイン) をタップします。

スイープ速度

4つのスイープ速度を選択できます。

- ★ スイープ速度を変更するには、[Speed] (速度) をタップして、25、50、75または100 mm/秒を選択します。

動画と画像を保存します

- ★ [Freeze] (フリーズ) をタップし、画像や動画をレビューするか、直接保存します。音声も動画に保存されます。

組織ドプライメージング

組織ドプライメージング (TDI) モードでは、ドプラを使用して心周期全体の心筋運動速度を測定します。

TDI モードは、腹部と心臓のプリセットでのみ利用可能です。

- ★ TDI モードを開始するには、**[TDI モード]** アイコンをタップします。

連続波ドプラ

連続波ドプラ (CW) モードでは、超音波の連続送受信により血流速度を測定します。

CW の長期間使用により、自動フリーズが有効になり、プローブが温度管理されます。自動フリーズの前には毎回 60 秒のタイマーが表示されます。

CW モードは、[abdomen] (腹部) と心臓のプリセットでのみ利用可能です。

- ★ CW ドプラを開始するには、**CW** モードアイコンをタップします。

デュプレックス画面

- ★ デュプレックス画面の **[Update]** (更新) ボタンをタップします。フリーズしたBモード画像が上部に表示され、ライブドプラトレースが下部に表示されます。

焦点とドブラライン

- ★ ドットサークルを移動させて**[Focal point]**（焦点）と**[Doppler line]**（ドブラライン）を調整します。[abdomen]（腹部）プリセットでは、焦点をタップして角度調整線を確認し、設定することができます。カラーモードがオンの場合、サークルを移動させるとカラーボックスも移動します。このサークルとカラーボックスの連動は、**[SETTINGS]** --> **[Imaging preferences]**（設定 --> イメージング環境設定）で切り離すことができます。

ベースライン

- ★ ドブラトレースで**[Baseline]**（ベースライン）をタップして上下に移動させます。

ライブディスプレイ

- ★ **[Live display]**（ライブディスプレイ）をタップし、CWライブモードとBライブモードを切り替えます。Bライブモードでは、ドブラトレースはフリーズしています。

ウォールフィルター

[Wall filt@]（ウォールフィルター）は、低周波信号からのエコーを除去するのに役立ちます。

- ★ アイコンをタップし、フィルターの強度を選択します：Low（低）、Medium（中）、High（高）。

反転

- ★ ドブラのスペクトルを反転させるには、**[Invert]**（反転）ボタンをタップします。

スケール

スケールにより速度スケールを変更します。

- ★ スケールを変更するには、**[Scale]** (スケール) をタップします。

ドブラゲイン

ゲインにより、ドプラスペクトルの明るさ／強度を制御します。

- ★ ドブラゲインを調整するには、**[Gain]** (ゲイン) をタップします。

オーディオゲイン

オーディオゲインにより、音量の強さを制御します。

- ★ オーディオゲインを調整するには、**[Audio gain]** (オーディオゲイン) をタップします。

スweep速度

4つのスweep速度を選択できます。

- ★ スweep速度を変更するには、**[Speed]** (速度) をタップして、25、50、75 または 100 mm/秒を選択します。

動画と画像を保存します

- ★ **[Freeze]** (フリーズ) をタップし、画像や動画をレビューするか、直接保存します。音声も動画に保存されます。

画像モードのコントロール

画像の反転

画像を反転できるのは、心臓をスキャンしているときのみです。

- ★ 画像を反転させるには、方向マーカをダブルタップします。

深度とゲインの調整

深度を調整するには、次の手順を実行します。

- ★ 表示される深度を増減するには、**[Depth]**（深度）をタップし、上下にスワイプして1回の動作で深度を調整します。


ゲインを調整するには、次の手順を実行します。

- カラーモードとBモードでゲインを調整するには、**[Gain]**（ゲイン）をタップし、上下にスワイプして1回の動作でゲインを調整します。
- 近距離と遠距離のゲインを調整するには、**TGC**をタップし、スライダを左右に動かします。スライダを調整すると、ゲイン値は自動的に更新されます。

ズームインとズームアウト

- スキャン中に、2本の指で画像領域をつまんだり広げたりします。
- 初期設定の画像サイズに戻すには、拡大鏡をタップします。
- 拡大鏡の近くにズーム率が表示され、サイド画像領域に沿ってオレンジ色の深度スケールが表示されます。
- ズーム中にフリーズできます（そして、フリーズ状態のままズームアウトしたりズームインしたりできます）。

画像のフリーズ

- ★ 画像をフリーズするには、フリーズ  アイコンをタップします。画面の左側に**注釈ツール**が自動的に表示されます。

Kosmos AI アシスト EF ワークフローおよび Kosmos Trio の使用

Kosmos Trio：自動ラベリング、自動グレード評価、自動ガイダンス

Kosmos Trio：自動ラベリング、自動グレード評価、自動ガイダンスは、次の方法で A4C、A2C および PLAX ビューをリアルタイムで取得するのに役立ちます。

- 重要な心臓構造への注釈付け。
- ACEP ベースの 5 点尺度に基づく画像の採点。
- A4C、A2C または PLAX 画像を最適化するためにプローブを移動する方法についての指示を提供。
- 自動ラベリング、自動グレード評価、または自動ガイダンス機能のいずれかまたは 3 つすべてを有効にするには、[Trio] ボタンをタップして、有効にするツールを選択します。





	PLAX ビューは B モードでのみ利用可能です。
	EU では、Kosmos Trio は教育目的でのみ使用されます。
	Kosmos は FDA 承認医療機器ですが、Kosmos Trio は、まだ FDA の承認審査をクリアしていません。
	心臓自動ラベリングツールの診断結果を過信しないでください。自動ラベルは、心臓の解剖学的構造をトレーニングし、すばやく方向付けるのに役立ちます。注釈が正しいかどうかは、ご自身の判断に従ってください。

図 1. Kosmos Trio : 自動ラベリング、自動グレード評価、自動ガイダンス

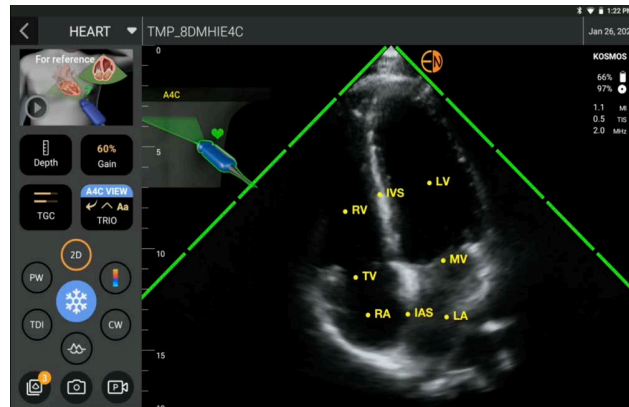


図 1 は、3つのアルゴリズムすべてがアクティブ化された Kosmos Trio の例を示しています。

まず、僧帽弁と三尖弁に加えて4つの心腔を含む重要な心臓構造が、自動ラベリングツールによって提供されます。

心臓をスキャンしている間 (Kosmos AI アシスト EF ワークフローでのスキャンを含む)、表示されるラベルはスキャン中にのみ表示されます。画像または動画を保存すると、ラベルは表示されなくなります。

この機能は、胸骨傍/心尖部の心臓ビューおよび心尖部の肋骨下四腔ビューにおける主要な心臓構造のリアルタイムの自動注釈とラベリングを提供します。重要な心臓構造には、心室、弁、大血管、乳頭筋、中隔、および心室流入/流出路が含まれます。

各イメージング画面で使用可能な解剖学的構造のリストについては、表 5-3 を参照してください。

表 5-3. 心臓イメージング画面の解剖学的構造

イメージング画面 (心臓)	解剖学的構造 *
A2C	LA、LV、MV
A3C	AO、AV、LA、LV、LVOT、MV
A4C	IAS、IVS、LA、LV、MV、RA、RV、TV
A5C	AO、AV、IAS、IVS、LA、LV、LVOT、MV、RA、RV、TV
PLAX	AO、AV、IVS、LA、LV、LVOT、MV、RV
RVOT	IVS、LV、MPA、PV、RVOT
RVIT	IVC、IVS、LV、RA、RV、TV
PSAX-AV	AV、LA、MPA、PV、RA、RVOT、TV
PSAX-MV	IVS、LV、MV、RV
PSAX-PM	AL-PAP、IVS、LV、PM-PAP、RV
PSAX-AP	IVS、LV、RV
4C 肋骨下	IAS、IVS、LA、肝臓、LV、MV、RA、RV、TV
IVC 肋骨下	IVC、肝臓
胸骨上	大動脈弓、DA

* **AL-PAP** = 前外側乳頭筋

AO = 大動脈

AV = 大動脈弁

IAS = 心房中隔

IVC = 下大静脈

IVS = 心室中隔

LA = 左心房

LV = 左心室

LVOT = 左室流出路

MPA = 主肺動脈

MV = 僧帽弁

PM-PAP = 後内側乳頭筋

PV = 肺動脈弁
RA = 右心房
RV = 左心室
RVOT = 右室流出路
TV = 三尖弁

次に、セクターの両側にある4つの緑色のバーは、自動グレード評価ツールの出力を表し、ACEP ベースの5点尺度での最大画質5のうち4の画質を示します。ACEP ベースの尺度によれば、1と2の画質は診断に適していませんが、3、4、および5の画質は診断に適しています。

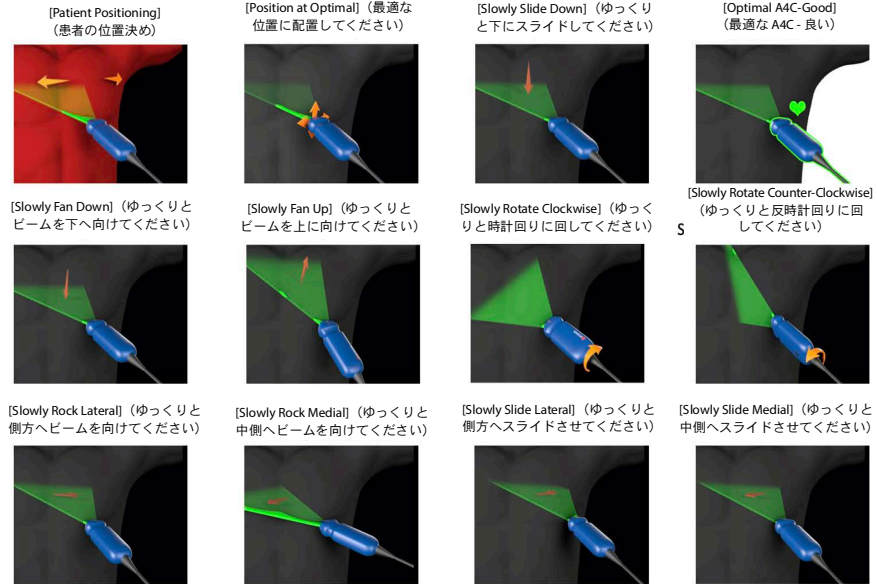
第3に、**図1**は、患者の胴体のコンテキストにおけるプローブとA4C、A2CおよびPLAXビューを最適化するためのプローブの動きのグラフィックを用いた自動ガイダンスを示しています。

A4CおよびA2C取得中に自動ガイダンスアルゴリズムによって提供されるプローブの動きと対応するアドバイスを示す写真を**図2**に示します。**図3**は、PLAXビュー取得専用の追加の写真と対応するアドバイスを示しています。

図2と**図3**のすべての写真は、プローブの動きをよりよく伝えるために、アニメーション形式でKosmos Bridgeに表示されます。

図 2. A4C および A2C 取得中のプローブの動きと対応するアドバイスが表示されている写真

自動ガイダンス A4C



自動ガイダンス A2C

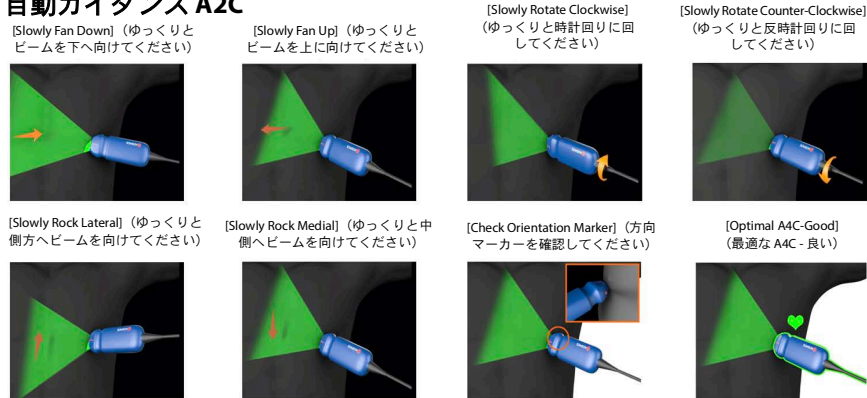
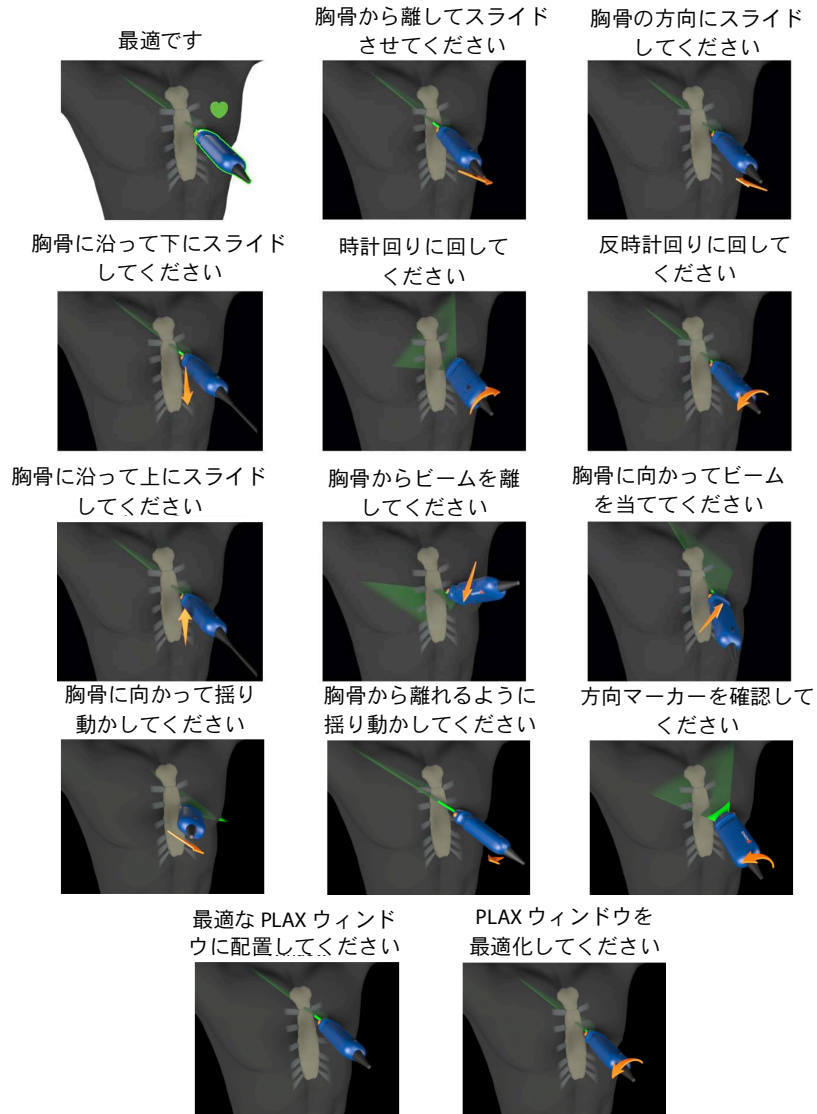


図 3. プローブの動きと PLAX ビュー取得専用の対応するアドバイスが表示されている写真

自動ガイダンス PLAX



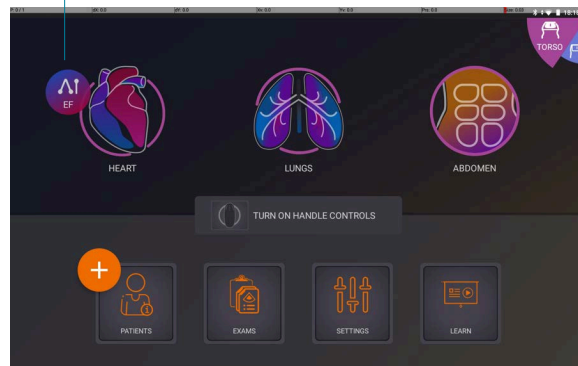
Kosmos AI アシスト EF ワークフローを使用した駆出率の計算



Kosmos AI アシスト EF ワークフローにより、データ取得のステップを通じて、American Society of Echocardiography（米国心エコー図学会）（ASE）が推薦するディスクのモディファイド Simpson 法（Lang 2005、2015）に基づいた、アルゴリズムベースの初期 EF 計算に至るガイドが受けられます。初期の LV 輪郭は、機械学習で訓練された、専門家注釈付き LV 輪郭（Ronneberger 2015）を使用して生成されます。その後、初期のアルゴリズム結果（ED/ES フレームおよび対応する LV 輪郭を含む）をレビューし、さらに必要に応じて調整していただくことが可能です。



EF を計算するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で AI アイコンをタップします。

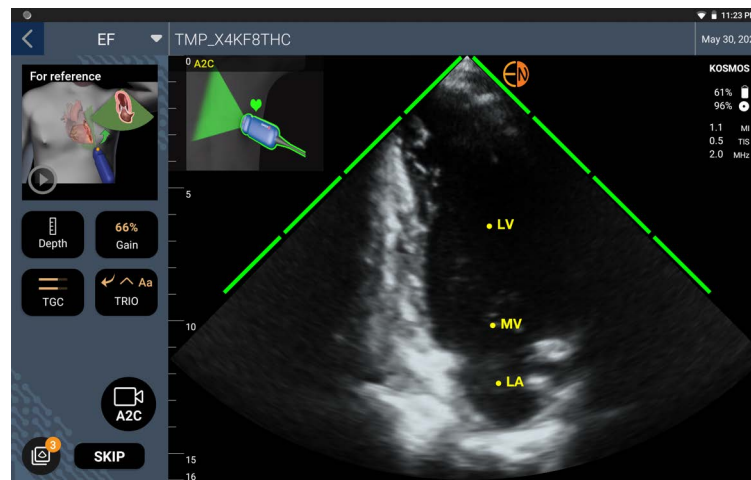
タップして自動化 EF ワークフローを開始します




	<p>[Heart]（心臓）AI アイコンをタップすると、Kosmos が、この EF スキャンを含む新しい検査を作成します。</p>
	<p>EF 計算のみを診断基準とはしないでください。可能な限り、EF 計算は他の臨床情報と併せて用いるようにしてください。</p>

	EU では、Kosmos Trio は教育目的でのみ使用されます。
	EU では、Kosmos AI FAST は教育目的でのみ使用されます。

2. 患者の良好な A4C ビューが得られた後に、**[A4C]** をタップして動画を取得します。自動ラベリング、自動グレード評価、自動ガイダンスの 3 つのツールのいずれかまたはすべてを有効にするには、**[Trio]** ボタンをタップして、目的のツールを有効にします。患者の良好な A4C ビューが得られた後に、**[A4C]** をタップして動画を取得します。



3. 記録された動画に満足しない場合には、**[Try again]** (再試行) をタップし、新しい動画を取得するか、または **[Accept]** (同意する) をタップし先に進みます (4 秒後、Kosmos は自動的に動画を受け入れます)。
4. **[SKIP]** (スキップ) をタップして、A4C の結果を見るか、または A2C 取得を続行します。

	より正確な計算のためには、A4C および A2C 動画の両方を取得されることをお勧めします。
---	--

5. 画像を取得すると、アルゴリズムが動画の品質と不確実性を評価します。EF エラー画面が表示される場合があります。結果に進むには、EF エラー画面でサムネールを編集するか、画像を再取得する必要があります。

6. 患者の良好な A2C ビューが得られた後に、**[A2C]** をタップして動画を取得します。
7. 記録された動画に満足しない場合には、**[Try again]** (再試行) をタップし、新しい動画を取得するか、または **[Accept]** (同意する) をタップし、A4C/A2C (2 断面) 結果を見ます (4 秒後、Kosmos は自動的に動画を承認します)。

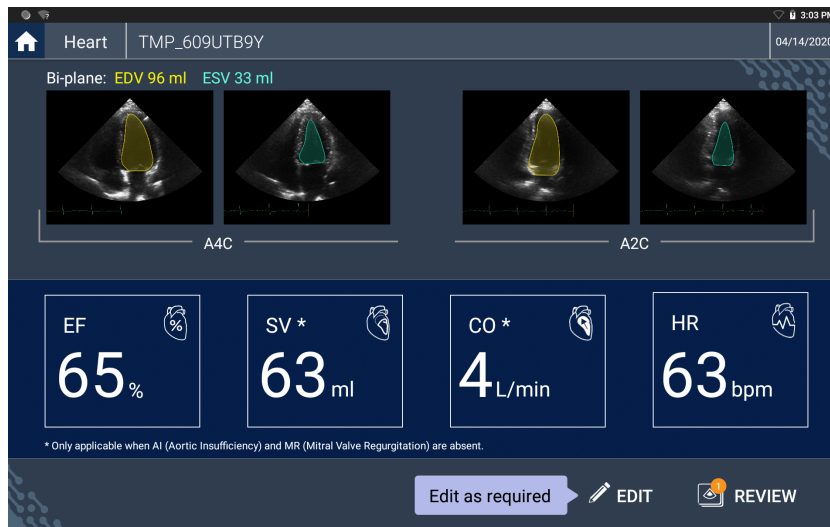
A4C および A2C クリップが記録および承認されると、本システムにより、ED および ES フレームが選択され、LV 輪郭が描かれ、さらにディスクの修正 Simpson 法 (本計算では 20 ディスクを用いる) を使用した 2 断面 EF が計算されます。CO 値と HR 値を取得するには、Kosmos Torso をプローブとして使用し、ECG を接続しなければなりません。

ED/ES フレームおよび LV 輪郭のレビュー / 調整

ED/ES フレームおよび LV 輪郭用のアルゴリズムベースの初期計算をレビューする際、結果を保存する前に、フレームのみ、LV 輪郭のみ、または両方を調整することが可能です。一切変更をしない場合は、初期計算が最終結果となります。

ED/ES フレームを調整するには、次の手順を実行します。

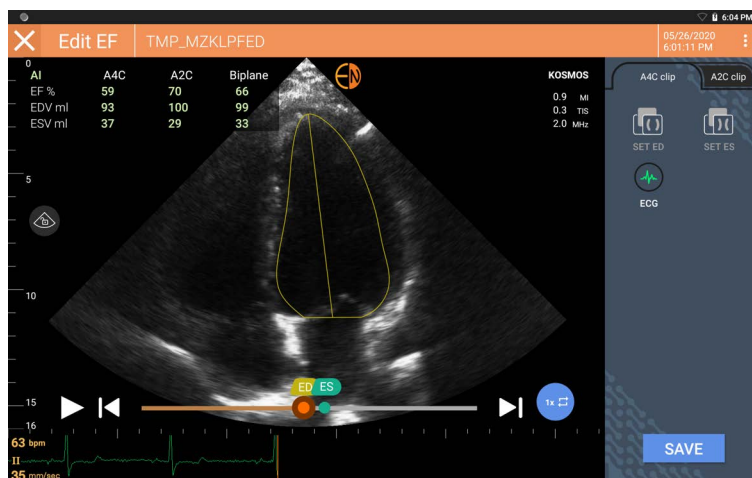
1. [Results] (結果) 画面で、[Edit] (編集) またはサムネイル画像の1つをタップします。さらに [REVIEW] (レビュー) をタップして以前に取得したスキャンをレビューすることも可能です。



*CO と HR は、Kosmos Torso でのみ利用可能です。

2. いずれの動画を編集したいかに応じて、[A4C clip] (A4C 動画) または [A2C clip] (A2C 動画) タブをタップします。

- 異なる ED または ES フレームを設定するには、所望の位置になるようにオレンジ色の [Seek] (シーク) ボタンを動かし、さらに **[SET ED]** (ED を設定) または **[SET ES]** (ES を設定) をタップします。



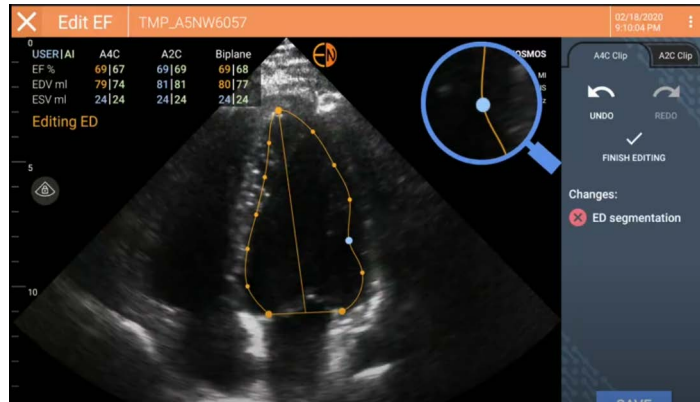
- 当初の AI 計算に戻るには、その他のオプション : アイコンをタップした後、**[Reset]** (リセット) をタップします。
- 必要に応じ、その他の動画 (A4C または A2C) を変更し、**[SAVE]** (保存) をタップします。

LV 輪郭を調整するには、次の手順を実行します。

📌	LV 輪郭を編集する間、手袋を装着している場合は、手袋がご自身の指先/爪に対してぴったりであることを確認してください。
📌	指にジェルを塗布していると、タッチ画面を効率的に使う妨げとなることがあります。タッチ画面は必ず定期的に拭き取るようにしてください。

- [Results] (結果) 画面で、4つの画像のうちの1つをタップして、所望の画像にします。どの画像にしたいか特定しない場合、Kosmos は A4C フレームをデフォルトとします。
- いずれの動画を調整したいかに応じて、**[A4C clip]** (A4C 動画) または **[A2C clip]** (A2C 動画) タブをタップします。
- [A4C clip]** (A4C 動画) または **[A2C clip]** (A2C 動画) タブをタップして、ED または ES フレームを選択します。

4. LV 輪郭をタップします。LV 輪郭は調整可能となり、その色はオレンジ色に変わります。



5. 1つかそれ以上のコントロールポイントを選択し移動させます。
 - 輪郭を変更させるにつれ、計算値が更新されることにご注目ください。
6. 編集が終わったら、**[Finish editing]** (編集終了) をタップします。
7. 必要に応じ、さらに変更を加えます。
8. **[SAVE]** (保存) をタップします。

正確な EF 計算に最適な A4C および A2C 動画を取得するための推奨事項

EchoNOS は次の事項を推奨します。

- 患者は左横向きの体勢で横たわるべきです (患者の左側面がスキャンテーブルに触れている状態)。A4C 動画については、すべての4つの心室 (左心室、左心房、右心室、および右心房) が超音波画像内に捉えられていることを確認してください。
- A2C 動画については、左心室と左心房の両方が超音波画像内に捉えられていることを確認してください。

- LVの心膜内境界が、可能な限り最良のコントラストで明瞭に目視できることを確認します。[Gain] (ゲイン) 設定を使用して、LV 心膜内境界の明瞭な鮮明度を達成します。
- 深度を調整して、心房が超音波画像の下側付近にあるものの、まだ目視できる状態にします。
- LVの先端が切り取られることは避けてください。
- LVを縮小することは避けてください。
- A4C 動画については、心室内隔壁 (左右心室間の壁) が垂直であることを確認してください (上の A4C 参照画像をご覧ください)。
- A4C 動画の場合、鏡像的ビューの取得になるのを避けるため、Kosmos Torso か Kosmos Torso-One 上のオレンジマーカーがスキャンテーブルを指していることを確認してください。
- いったん適切な A4C のビューが得られたら、プローブを時計回りに 90 度回転させ、A2C ビューを見つけます。
- 動画を記録する間、患者に息を止めるよう依頼します。
- ED/ES フレームおよび LV 輪郭の正確さのため、結果のレビューを確実にし、Kosmos 編集ツールを使って、必要なら調整を行います。

Kosmos AI アシスト EF ワークフローにおけるエラー条件およびシステム通知

- 結果として生じた EF スキャン (初期および/または編集あり) が、0% から 100% の範囲外にある場合は、レポート内に EF 結果を保存できなくなるか、またはスキャンをエクスポート/アーカイブできなくなります。


有効な EF を生成するには、ED/ES フレームおよび対応する LV 輪郭を初めに編集しておく必要があります。その後、結果を保存し、さらにスキャンをエクスポート/アーカイブできるようになります。

- Kosmos は、以下の条件に 1 つでも合致している場合には、結果を編集するか、または再度スキャンするように指示します。
 - $ESV > 400\text{ml}$
 - $EDV > 500\text{ml}$


- A4C と A2C の EF 差が 30% を超える

画像および動画の取得


画像を取得するには、次の手順を実行します。

- ★ [Imaging] (イメージング) 画面で、画像を保存  アイコンをタップします。

動画を取得するには、次の手順を実行します。

- ★ [Imaging] (イメージング) 画面で、動画を保存  アイコンをタップします。

検査の完了

1. [Imaging] (イメージング) 画面で、検査レビュー  アイコンをタップします。
2. **[COMPLETE]** (完了) をタップします。

[Exam review] (検査レビュー) 画面で、**[COMPLETE]** (完了) をタップしなかった場合は、以下のタイミングで Kosmos によって検査が自動的に完了されます。

- ユーザーが新しい検査を開始したとき
- ユーザーが進行中の検査をアーカイブ化したとき
- 数分後
- ユーザーが Kosmos Bridge の電源を切ったとき



オートキャプチャ

Kosmos の [Auto-Capture] (オートキャプチャ) 機能は、画像品質が 4 以上の場合、A4C、A2C、および PLAX ビューの 3 秒間の動画を自動的にキャプチャします。ビデオが正常にキャプチャされると、装置でピープ音が鳴ります。また、Kosmos は、ビューを取得すると、同じビューの複数の動画を記録しないように、[Auto Capture] (オートキャプチャ) をオフにします。

オートキャプチャの条件を満たしていない場合は、Kosmos の [Smart Capture] (スマートキャプチャ) 機能を試してください。

[Auto-Capture] (オートキャプチャ) を有効にするには、次の手順を実行します。

- ★ Trio ボタンをタップし、トグルスイッチを使用して [Auto Capture] (オートキャプチャ) 機能を有効にします。



	Kosmos システムの記録中は、画質のグレード評価を 4 または 5 に 2 秒間維持する必要があります。
	スキャンを開始する前に、[Auto-Capture] (オートキャプチャ) をオンにする必要があります。

スマートキャプチャ

画像品質のために [Auto-Capture] (オートキャプチャ) がトリガーされない場合、Kosmos の [Smart Capture] (スマートキャプチャ) 機能は低品質の動画を取り込みます。低画質の画像 (画質 3 以上の 3 秒のうち 2 秒) を保存できる場合は、[Smart Capture] (スマートキャプチャ) ボタンが緑色に変わります。

[Smart Capture] (スマートキャプチャ) を有効にするには、次の手順を実行します。

- ★ [Smart Capture] (スマートキャプチャ) ボタンを手動でタップして動画を録画します

	[Smart Capture] (スマートキャプチャ) は、スマートキャプチャの要件が満たされている場合にのみ動画を記録します。
	[Smart Capture] (スマートキャプチャ) 要件：動画の 3 秒のうち 2 秒は画質が 3 以上である必要があります。

Kosmos 心測定



Kosmos 心測定のみを診断基準とはしないでください。可能な限り、Kosmos 心測定は他の臨床情報と併せて用いるようにしてください。

Kosmos 心臓計算パッケージには、心臓の構造と機能を評価するためのツールが用意されています。Kosmos 心測定は、Bモード、ドプラ、Mモードで利用可能です。[Exam Review] (検査レビュー) 中は、心臓検査の計算および注釈ツールを使用して心測定を行うことができます。

モード別の心測定のリストについては、表 5-4 モード別の心測定を参照してください。

ドプラシネを確認しながら、以下を行うことができます。

1. ドプラ測定の実行。


- VTI-VTI をタップすると、[Auto] (自動) または [Manual] (手動) VTI トレースを選択できます。
 - [Auto] (自動) を選択した場合は、トレースしたい信号をタップすると、装置は自動的に信号をトレースします。
 - [Manual] (手動) を選択すると、指で信号を手動でトレースするよう求められます。
 - VTI トレースを編集する場合は、コントロールポイントを移動します。
 - 別のピークを選択したい場合は、ピークをダブルタップします。



PW および CW トレースでは、僧帽弁 VTI に自動トレースは利用できないことに注意してください。自動トレースは、注釈または LVOT VTI (PW) および AV VTI (CW) でのみ利用可能です。

- PHT とデルタ速度 - キャリパーの 2 つの端点をドプラスペクトル上の適切な位置に移動します。
- 速度と PG - カーソルを目的の位置に移動します。
- 画像/動画 1 枚につき、PHT、速度、VTI をそれぞれ 3 回測定できます、
 - 2D シネループに配置できるフレームは 3 つだけです。

- 一度に実行できる VTI 測定は 3 回までです。

 4 回目の測定を実施しようとする、測定が一杯であることを示す通知がレポートに表示されます。レポート内の測定を削除して、新しい測定のための領域を作成できます。



- 注釈を追加する：
 - テキスト
 - マーカー
- ベースライン移動。
- ドプラスペクトラムの反転。
- レポートアイコン  をタップして測定を表示。
 - レポートを表示している場合、最後に取得した測定値がデフォルトの測定値になりますが、[Last] (最後) をクリックすると、平均値が計算されるか、各測定の最大値が表示されます。

表 5-4. モード別の心測定

2D 測定	
PLAX	RVIDd、IVSd、LVIDd、LVPWd、LVIDS、LA diam、LVOTd
右心	右室基部、右室中央、右室長
僧帽弁	MV 輪径
大動脈弁	輪、洞、ST 接合、上行 AO、縮流部、LVOT 直径
IVC	IVC 最小、IVC 最大、RAP
ドブラ測定	
PW	右心：PV AcT (加速時間) 僧帽弁：MV VTI (PW)、E 波速度、減速時間、A 波速度 大動脈：LVOT VTI (PW) ジヤストロジー：E 波速度 (PW)、A 波速度、減速時間 (PW) 大動脈弁：LVOT VTI (PW)

CW	右心：TR (CW)、PAEDP (CW)、PR (CW) 僧帽弁：MV VTI (CW)、圧力半時間 (CW) 大動脈弁：AV VTI (CW)、ピーク AV 速度、圧力半時間 (CW) ジヤストロジー：TR (CW)
TDI	右心：TV 輪 僧帽弁：e'点 (m/s)、a'点 (m/s) ジヤストロジー：e'点 (m/s)、a'点 (m/s)
M モード測定	
M モード	EPSS、TAPSE、MAPSE、IVC 最小、IVC 最大、HR、RAP
PLAX	RVIDd、IVSd、LVIDd、LVPWd、LVIDS、LA diam、AO

Kosmos AI FAST

	診断目的で AI FAST ツールだけに依存しないでください。Kosmos AI FAST は、腹部の解剖学的構造についての簡単なオリエンテーションを提供してユーザーを支援いたします。ユーザーは自分の判断で、注釈が正しいことを確認する必要があります。
---	---

Kosmos AI を使用した FAST 検査

Kosmos AI FAST は、FAST 検査の解剖学的ラベリングとビューの識別をリアルタイムで自動化します。スキャン中に表示されるラベルは、スキャン中にもみ表示されます。画像や動画を保存した後は、ラベルは表示されません。



各 FAST 検査イメージングビューの解剖学的構造のリストについては、表 5-5 を参照してください。

表 5-5. FAST 検査イメージングビューの解剖学的構造

FAST ビュー	解剖学的構造
RUQ	肝臓、右腎、横隔膜、胆嚢、IVC 潜在的な液腔：肝腎腔、胸膜腔
LUQ	脾臓、左腎、横隔膜 潜在的な液腔：脾腎腔、胸膜腔
SUP	膀胱 潜在的な液腔：直腸膀胱腔（男性）、直腸子宮腔（女性）
SUB	心臓、横隔膜、肝臓 潜在的な液腔：心膜
AS	肝臓、横断大動脈、横断 IVC
IVC	肝臓、矢状 IVC
大動脈	肝臓、矢状大動脈
A4C A2C PLAX	[Heart]（心臓） 潜在的な液腔：心膜
PSAX	[Heart]（心臓）
SUB2	肝臓、心臓、IVC、大動脈 潜在的な液腔：心膜

Kosmos AI FAST を有効にするには、次の手順を実行します。

- ★ [Abdominal]（腹部）プリセットで、**[AI]** をタップします。

	Torso/Torso-one プローブでスキャンする場合、Kosmos AI FAST 機能は [Abdomen]（腹部）プリセットでのみ利用可能です。
	EU では、Kosmos AI FAST は教育目的でのみ使用されます。

Us2.ai と Kosmos

Us2.ai の Us2.v1 ソフトウェアと Kosmos を統合することで、自動化された心測定の 2D およびドプラモダリティ画像を認識して分析し、心疾患の診断、予測、予後を自動化する自動臨床ワークフローが提供されます。

はじめに




Us2.ai の Us2.v1 ソフトウェアの使用ライセンスは、施設での購入向けに提供しています。

1. Kosmos とともに Us2.v1 を使用するライセンスを購入するには、EchoNous 販売代理店にお問い合わせください。
2. ライセンスを取得したユーザーには Bridge を Us2.ai クラウドに接続するためのログイン資格情報が提供されます。

Kosmos Bridge で Kosmos と Us2.ai の Us2.v1 ソフトウェアを使用するには、次の手順を実行します。

1. 資格情報を使用して Bridge から Us2.ai にログインします。
2. プローブを接続し、プリセットを選択してスキャンを開始します。
 - Torso/Torso-One プローブを Bridge ハンドルの下のポートに差し込みます。
 - Lexsa を Bridge 側面の USB-C ポートに差し込みます。
3. 検査が完了したら、[Exam Review] (検査のレビュー) で [US2] アイコンをタップして、Us2.ai クラウドに画像と動画を送信します。
4. レポートアイコンをタップして、心測定を表示します。

Us2.ai の Us2.v1 ソフトウェアは、独立した医療機器として登録されており、お住まいの地域では使用できない場合があります。Us2.ai の詳細については、EchoNous 販売代理店にお問い合わせください。

	『Kosmos & Us2.ai's Quick Start Guide』の電子版は、EchoNous の Web サイト (echonous.com/product/resources) から入手できます。
	Us2.ai はサードパーティが提供する製品です。EchoNous は、Us2.ai サービスに対する明示的/黙示的保証を否認します。EchoNous は、目的に沿ったサードパーティサービスの適合性について一切表明していないことを顧客に認めています。Us2.ai のサービスは Us2.ai の利用規約、保証、免責条項に準拠します。詳細については、 http://us2.ai/terms-conditions/ を参照してください。
	インストールされている Us2.ai が所有するすべてのソフトウェアには、Us2.ai エンドユーザー使用許諾契約（以下、「Us2.ai EULA」）およびこれに組み込まれる諸契約の条件が適用されます。Us2.ai ソフトウェアに関する質問や請求は、Us2.ai EULA に従って提出する必要があります。


以下余白

検査のレビュー

検査を完了させた場合には画像を追加できませんが、検査をアーカイブ化する前であれば、保存した注釈の追加、編集、削除を行えます。

いったんアーカイブ化処理が開始されると、その検査には編集を加えられなくなります。

検査レビューの開始

- 検査中にレビューを開始するには、検査レビュー  アイコンをタップします。
- 完了した検査のレビューを開始するには、以下のいずれかの操作を行います。
 - ホーム画面で [EXAMS] (検査) をタップし、レビューしたい検査をタップします。
 - 患者リストで患者を探し、レビューしたい検査をタップします。

画像および動画への注釈付け

注釈の追加は、検査中、画像がフリーズしているとき、または検査が完了した後に行えます。注釈はすべて、画像または動画のオーバーレイとして保存されます。






アーカイブ化処理された画像や動画には、注釈を追加できません。



画像の編集画面に移動

[Edit Image] (画像の編集) 画面または [Edit Clips] (動画の編集) 画面に移動するには、次の手順を実行します。


患者をスキャンしている間に、次の手順を実行します。

1. フリーズ  アイコンをタップします。
2. 注釈を追加します。
3. 画像を保存  アイコンまたは動画を保存  アイコンをタップします。


患者をスキャンした後に、次の手順を実行します。

1. 検査レビュー  アイコンをタップします。
2. 注釈を付ける画像/動画をタップします。
3. 編集  アイコンをタップします。

ホーム画面から、次の手順を実行します。

1. **[Exam]** (検査) をタップします。
2. 編集する検査行をタップします。
3. 注釈を付ける動画をタップします。
4. 編集  アイコンをタップします。


[Patient] (患者) 画面から、次の手順を実行します。

1. リストで患者をタップします。
2. 検査をタップします。
3. 注釈を付ける画像/動画をタップします。
4. 編集  アイコンをタップします。

注釈ツール

注釈を使用すると、ユーザーはフリーズ中や検査レビュー中に画像にマークやラベルを付けることができます。また、レポートに保存されない全般的な測定を実行することもできます。注釈は、個々の画像および動画に追加できます。

クリックまたはシネに注釈（テキスト、測定値、矢印、領域）を追加すると、その注釈は全フレームを通して維持されます。

保存した画像や動画でオーバーレイを隠す  アイコンをタップすることで、作成した注釈のオーバーレイを非表示にすることもできます。

キャリパーツールを使用した測定

画像/動画ごとに最大2つのキャリパーを追加できます。

キャリパーが選択されていないときに、キャリパーにおける2つの終点のうちの1つをドラッグし始めると、キャリパーが選択され、キャリパーをドラッグしている場所に基づいてキャリパーのサイズが変わります。

測定値を配置するには、次の手順を実行します。

1. [Edit image] (画像の編集) 画面または [Edit clip] (動画の編集) 画面で、[DISTANCE] (距離) をタップします。画像または動画の中央にキャリパーが現れます。
2. タップしてキャリパーを選択します。



キャリパーの距離は、画面の左上にある凡例に表示されます。キャリパーが複数ある場合は、それぞれ異なる色で表示されます。

3. キャリパーのサイズを変更するには、いずれかの終点をタップしてドラッグします。
4. キャリパーを移動するには、キャリパーにおける2つの終点以外のどこかをタップします。
5. キャリパーを消去するには、キャリパーの外側にある空いている場所をタップします。

ズームインとズームアウト

2本の指で画像領域をつまんだり広げたりします。「標準」に戻すには、虫眼鏡をタップします。また、虫眼鏡の近くにズーム率が表示され、端に沿ってオレンジ色の深度スケールが表示されます。拡大している際には画像をフリーズ (フリーズ状態のときは拡大/縮小が可能) することができます。

注釈の削除

- ★ 1つの注釈を削除するには、注釈をタップして選択してから [DELETE] (削除) をタップします。

- ★ 作成したすべての注釈を削除するには、**[CLEAR ALL]**(すべて消去)をタップします。

画像および動画の管理

画像および動画のフィルタリング

検査をレビューする際、サムネールリストには、スキャンの種類（肺、心臓、腹部）に関係なく、すべての画像と動画が表示されます。

画像とクリックは、以下の方法でフィルタリングできます。

- サムネールリストをドラッグおよびプルダウンすると、フィルターオプションが現れます。
- サムネールリストの上端にあるフィルターアイコンをタップすると、フィルターオプションが現れます。
- タイトルバーのその他のオプション：アイコンをタップしてから、**[Filter images and clips]**（画像と動画をフィルター）をタップします。フィルターオプションが表示されているときは、**[Filter images and clips]**（画像と動画をフィルター）の横に青色のチェックアイコンが表示されます。

フィルターを選択すると、タグの付いている画像/動画だけがサムネールリストに表示されるようになります。画像/動画にタグを付けるには、サムネールリストで各画像/動画の下にある星のアイコンをタップします。星が黄色に変わります。


選択したフィルターを解除するには、その他のオプション：アイコンをタップしてから、もう一度**[Filter images and clips]**（画像と動画をフィルター）をタップしてフィルターを削除します。

画像および動画の選択

画像および動画を選択するには、次の手順を実行します。


1. その他のオプション：アイコンをタップしてから、**[Select images and clips]**（画像と動画を選択）をタップします。

2. 任意の画像および動画を選択します。サムネールの右上隅に、グレーのチェックマークが表示されます。
3. 必要に応じて、サムネール上のチェックマークをタップします。チェックマークが赤色になり、選択されている画像と動画の数を示す数字付きの円が表示されます。赤色のチェックマークを解除するには、もう一度チェックマークをタップします。


選択を解除するには、その他のオプション  アイコンをタップし、**[Select images/clips]** (画像と動画を選択) をタップします。

画像および動画の削除

選択されている画像および動画を削除するには、次の手順を実行します。

1. その他のオプション  アイコンをタップしてから、**[Select images/clips]** (画像と動画の選択) をタップします。
2. 削除する画像および動画を選択します。
3. **[DELETE]** (削除) をタップし、プロンプトが表示されたら **[OK]** をタップします。

レポートのレビューと編集

 レポートは、まだ DICOM ファイル内にカプセル化されていません。このレビューステップで見ることができるのは、画像と動画だけです。

検査レポートでは、患者と検査の情報、テキストメモ、音声メモ、撮影された写真、画像、動画をレビューできます。

レポートを開く

レポートを開くには、**[REPORT]** (レポート) をタップします。

レポートの編集


レポートを開くと、各セクションがレビューできるように展開されます。矢印ボタンをタップすれば、各セクションを折りたたむことができます。もう一度矢印ボタンをタップすれば、そのセクションが再び展開されます。

レポートの各セクションは、患者情報を除いて編集可能です。患者情報は読み取り専用で、変更できません。

検査情報の編集

検査情報セクションには、スキャンの前に入力した検査関連情報が表示されます。

検査情報を編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集  アイコンをタップします。
2. そのセクションに必要な修正を加えます。

テキストメモの追加

各スキャンに表示されるテキストメモを追加できます。

テキストメモを追加するには、次の手順を実行します。

1. テキストメモを追加アイコンをタップします。1つ前のテキストメモの下に、テキストボックス、日付、時刻のラベルが表示されます。
2. キーボードを使用して、メモを入力します。
3. **[DONE]** (終了) をタップします。

テキストメモの編集

テキストメモを編集するには、次の手順を実行します。

1. 既存のテキストメモをタップします。既存のメモが入ったテキストボックスとキーボードが表示されます。
2. キーボードを使用して、テキストメモを編集します。
3. **[DONE]** (終了) をタップします。

テキストメモの削除

テキストメモを削除するには、次の手順を実行します。

1. 既存のテキストメモを長押しします。[Delete] (削除) ボタンが表示されます。
2. **[DELETE]** (削除) をタップし、プロンプトが表示されたら **[OK]** をタップします。

画像と動画の USB ドライブへのエクスポート

画像と動画をエクスポートするには、マイクロ USB またはアダプターを使用します。

1 つの検査または複数の検査による画像と動画をエクスポート可能です。




患者データを USB ドライブにエクスポートするには、患者データを保護するための適切な措置を講じてください。





1 つの検査による画像と動画を USB ドライブにエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[EXAMS]** (検査) をタップします。
2. いずれかの行をタップして検査を選択します。
3. エクスポートしたい各サムネールの下方面にあるブックマークアイコンをタップします。(これはオプションのステップで、すべての画像と動画ではなく一部の画像と動画をエクスポートしたい場合にのみ有効です。)
4. USB-c アダプターを使って、USB ドライブに接続します。
5. **[EXPORT]** (エクスポート) をタップします。ダイアログボックスが現れます。
6. ファイルタイプを選択し、すべての画像と動画をエクスポートしたいか、またはタグ付けした画像と動画のみをエクスポートしたいかを選択します。
7. **[OK]** をタップすると、USB ドライブへのエクスポートが開始されます。

複数の検査による画像と動画を USB ドライブにエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面で **[EXAMS]** (検査) をタップします。
2. エクスポートしたい各検査の隣にある丸をタップします。
3. USB-c アダプターを使って、USB ドライブに接続します。
4. 画面の一番上にあるエクスポート  アイコンをタップします。ダイアログボックスが現れます。
5. ファイルタイプを選択し、すべての画像と動画をエクスポートしたいか、またはタグ付けした画像と動画のみをエクスポートしたいかを選択します。
6. **[OK]** をタップすると、USB ドライブへのエクスポートが開始されます。

以下の表に示すのは、エクスポートアイコンの凡例です。

	検査はエクスポート待ちです。
	エクスポートが進行中です。
	エクスポートが完了しました。
	エクスポートに失敗しました。

検査レビューの完了

検査を完了させるには、次の手順を実行します。

1. **[COMPLETE]** (完了) をタップします。
2. プロンプトが表示されたら **[OK]** をタップします。





検査を PACS サーバーにアーカイブ

完了した検査は、アーカイブ化して PACS サーバーに保存できます。いったんアーカイブ化した検査は、編集できません。

PACS サーバーのセットアップの詳細については、**PACS の管理** を参照してください。


各 EF スキャンに対して、複数の画像/動画がアーカイブ化され、エクスポートされます。

以下の表に示すのは、アーカイブ化アイコンの凡例です。

- | | |
|---|----------------|
|  | 検査はアーカイブ化待ちです。 |
|  | アーカイブ化が進行中です。 |
|  | アーカイブ化が完了しました。 |
|  | アーカイブ化に失敗しました。 |

検査のアーカイブ化は、[Exam list] (検査リスト) 画面と [Exam review] (検査レビュー) 画面のいずれかで行えます。

[Exam list] (検査リスト) 画面で検査をアーカイブ化するには、次の手順を実行します。



1. [Exam List] (検査リスト) 画面で、アーカイブ化したい完了済みの検査をタップして選択します。
2. アーカイブ  アイコンをタップします。完了した検査が、初期設定のアーカイブオプションに従ってアーカイブ化されます。詳細については、**PACS の管理** を参照してください。

[Exam review] (検査レビュー) 画面で検査をアーカイブ化するには、次の手順を実行します。


1. [Exam review] (検査レビュー) 画面で **[ARCHIVE]** (アーカイブ) をタップします。
2. [Archive exam to PACS server] (検査を PACS サーバーにアーカイブ) 画面で、アーカイブ化する画像と動画を選択し、レポートを含めるかどうかを指定します。
3. **[OK]** をタップし、プロンプトが表示されたらもう一度 **[OK]** をタップします。

検査の削除

[Exam list] (検査リスト) から検査を削除するには、次の手順を実行します。







1. 削除する検査の左隣にあるアイコンをタップします。アイコンがチェックマーク  に変わります。
2. ゴミ箱  アイコンをタップします。
3. プロンプトが表示されたら **[OK]** をタップします。

レビュー中に検査を削除するには、次の手順を実行します。



1. その他のオプション  アイコンをタップします。
2. **[Delete the exam]** (検査を削除) をタップします。
3. プロンプトが表示されたら **[OK]** をタップします。

Kosmos プローブシース

体液接触の可能性のある箇所では、使用されているプローブ（Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、またはKosmos Lexsa）を CIVCO の適切な滅菌シースで覆ってください。これにより無菌状態が促進され、洗浄の必要性が最小限に抑えられます。

	ラテックスアレルギーの患者もいることに注意してください。一部の市販のKosmosプローブには、ラテックスが含まれています。
	二次汚染を防ぐために、損傷皮膚と接触する臨床使用には、滅菌トランスデューサーシースと滅菌カップリングジェルを使用してください。
	天然ゴムラテックスとタルクを含有するシースには、一部の人に対してアレルギー反応を引き起こす可能性のあるものもあります。
	Kosmos プローブに血液やその他の体液がはねたりかかったりする可能性のある場合は、臨床用に市販認可されたシースを使用してください。
	二次汚染を防ぐために、市販認可された滅菌シースと滅菌カップリングジェルを使用してください。処置を実施する準備が整うまでは、シースもカップリングジェルも使用しないでください。使用後は、使い捨てシースを取り外して廃棄し、EchoNous 推奨の高水準消毒剤を使用して、Kosmosプローブを洗浄および消毒してください。
	Kosmosプローブをシースに挿入した後、シースに穴や裂け目がないか点検してください。


超音波透過ジェル

	超音波ジェルには、一部の人に対してアレルギー反応を引き起こす可能性のあるものもあります。
	二次汚染を防ぐために、使い捨てのジェルパックを使用してください。

EchoNous では、以下の製品を推奨しています。

- Aquasonic 100 超音波ジェル、Parker
- Aquasonic Clear 超音波ジェル、Parker
- SCAN 超音波ジェル、Parker

Kosmos プローブの保管

	二次汚染や、防護されていない人員の生体物質への曝露を防ぐために、汚染されたKosmosプローブの持ち運びには、ISO バイオハザードラベルの付いた容器を使用してください。
---	---

Kosmos の電池交換は EchoNous の施設でのみ行えますが、出荷/保管のための参考情報として、電池はリチウムイオン 3.6V、6.4Ah です。

日常の保管

Kosmos は、医療施設内における通常の周囲環境条件で使用および保管されるものと想定されています。また、装置と一緒にお届けした梱包は、長期保管にも使用可能です。

輸送用の保管

Kosmos は、持ち運びやすいハンドヘルドとして設計されています。輸送には、装置と一緒にお届けした梱包を使用できます。認定バッグやその他のアクセサリについては、EchoNous 販売代理店にお問い合わせください。

トランスデューサーエレメントのチェック

トランスデューサーエレメントの完全性を確認するため、Kosmosプローブが接続されるたびに自動的にテストが実行されます。このテストでは、すべてのトランスデューサーエレメントが正しく機能しているか（テストが成功したか）、または障害が検出されたかどうかをユーザーに報告します。

Kosmosプローブが接続された状態でKosmos Bridgeが起動すると、同テストが自動的に実行されます。

-- セクション終わり --

以下余白

安全性





電気安全性




参考資料

ラベルの記号



記号	EchoNous からの説明	SDO タイトル 参照番号 規格
	装置の製造元を示します。 製造元の名前と所在地が含まれます	製造元 参照番号 5.1.1 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第 1 部: 一般要求事項
U.S. FCC ID : 2AU88-ECHKMOS Model P005247 	FCC 規格準拠テスト済み	なし
	クラス II 機器	クラス II 機器 参照番号 D.1-9 IEC 60601-1 医用電気機器 - 第 1 部: 基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項

	<p>安全性に関する注意は、装置上にこのマークで示されます</p>	<p>注意 参照番号 D.1-10 IEC 60601-1 医用電気機器 - 第 1 部：基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項</p>
	<p>使用説明書を参照してください</p>	<p>操作手順 参照番号 D.1-11 IEC 60601-1 医用電気機器 - 第 1 部：基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項</p>
	<p>本製品を通常の廃棄物や埋め立て廃棄物として廃棄することはせずに、本製品を使用する地域の法令に従って廃棄してください</p>	<p>分別収集付属書 IX 電気・電子機器の廃棄 (WEEE) に関する欧州議会及び理事会指令 2012/19/EU</p>
<p>IPX7</p>	<p>Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa は、一過性の浸水から保護されています。</p>	<p>保護等級の IP コード IEC 60529 筐体により得られる保護等級 (IP コード)</p>
<p>IP22</p>	<p>Kosmos Bridge</p>	<p>保護等級の IP コード IEC 60529 筐体により得られる保護等級 (IP コード)</p>
<p>REF</p>	<p>部品番号または型番</p>	<p>カタログ番号 参照番号 5.1.6 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第 1 部: 一般要求事項</p>

<p>SN</p>	<p>シリアル番号</p>	<p>シリアル番号 参照番号 5.1.7 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第1部: 一般要求事項</p>
	<p>製造日</p>	<p>製造日 参照番号 5.1.3 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第1部: 一般要求事項</p>
	<p>許容可能な温度範囲 XX には、指定された温度が入ります</p>	<p>温度制限 参照番号 5.3.7 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第1部: 一般要求事項</p>
	<p>許容可能な湿度範囲 XX には、指定されたパーセンテージが入ります</p>	<p>湿度制限 参照番号 5.3.8 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第1部: 一般要求事項</p>
	<p>許容可能な気圧範囲 XX には、指定された kPa が入ります</p>	<p>気圧制限 参照番号 5.3.9 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第1部: 一般要求事項</p>

	梱包品について、こちらの面が上です	天地無用 参照番号 13 ISO 780 梱包 - 配送梱包 - 梱包品の取り扱い及び保管に関する図記号
	直流電流を示します	直流電流 参照番号 D.1-4 IEC 60601-1 医用電気機器 - 第 1 部：基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項
	交流電流を示します	交流電流 参照番号 D.1-1 IEC 60601-1 医用電気機器 - 第 1 部：基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項
R-NZ	R-NZ コンプライアンスマーク。 AS/NZS 4268:2017、無線通信規制（無線規格）通知 2016	なし
	規制コンプライアンスマーク。 AS/NZS 4268:2017年、無線通信（短距離装置）標準 2014年、編集 No.2、2018年12月無線通信（電磁放射-人体曝露）規格 2014、編集番号 1、2019年 11月	なし

<p>LOT</p>	<p>バッチコード</p>	<p>バッチコード 参照番号 5.1.5 ISO 15223-1 医療機器 - 医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号 - 第 1 部: 一般要求事項</p>
	<p>UL 分類。 医療 - 一般的医療機器。感電、火災および機械による傷害に関する ANSI/AAMI ES 60601-1 (2005) + AMD (2012) / CAN/CSA-C22.2 No. 6060-1 (2008) + (2014) のみに準拠。 E509516</p>	<p>なし</p>
<p>Rx Only</p>	<p>注意：連邦法により、本装置の販売は、医師による場合か、医師の指示に基づく場合のみに制限されています</p>	<p>参考資料：USA FDA 21 CFR 801.109</p>
	<p>BF形保護に対してプローブをテストします</p>	<p>BF 形装着部 D1.20を参照してください。 IEC 60601-1 医用電気機器 - 第 1 部: 基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項</p>
	<p>装置が CE マーキング用の EU MDR 2017/745 に規定されている適用要件および公認機関の参照番号に適合していることを示す製造業者の表示</p>	<p>第 20 条 (付属書 V) 適合の CE マーキング EU MDR 2017/745</p>
	<p>医療機器</p>	<p>EU MDR 指令に準拠した医療機器の記号</p>

	英国適合性評価	英国適合性評価を示す記号。 MHRA Department of Business, Energy & Industrial Strategy 2020年12月31日
	スイス代理人	スイス代理人を示す記号 MU600_00_016e_MB

連絡先情報

米国



EchoNous Inc.
8310 154th Avenue NE
Building B, Suite 200
Redmond, WA 98052
テクニカルサポート（フリーダイヤル）：(844) 854 0800
販売（フリーダイヤル）：(844) 854 0800
E-mail: support@EchoNous.com
Site: www.EchoNous.com

欧州経済領域



認定代理人
Advena Ltd
Tower Business Centre
2nd Flr, Tower Street
Swatar, BKR 4013
マルタ



スイス認定代理人



QUNIQUE GmbH
Bahnhofweg 17
5610 Wohlen
スイス

英国責任者

Qserve Group UK, Ltd
49 Greek St, London W1D 4EG,
英国

オーストラリアスポンサー

LC & Partners Pty Ltd
Level 32, 101 Miller Street
North Sydney, NSW, 2060
オーストラリア
電話番号：+61 2 9959 2400

ブラジル認定代理人

Detentor da Notificação:

VR Medical Importadora e Distribuidora de Produtos Médicos Ltda
Rua Batataes no 391, conjuntos 11, 12 e 13 - Jardim Paulista
São Paulo - SP - 01423-010
CNPJ: 04.718.143/0001-94
SAC: 0800-7703661
Farm.Resp: Cristiane Ap. de Oliveira Aguirre – CRF/SP: 21.079
Notificação ANVISA no: 80102519147

Suporte ao cliente da EchoNous

Entre em contato com o suporte ao cliente:

Telefone: 844-854-0800
Fax: 425-242-5553
E-mail: info@echonous.com
Site: www.echonous.com

Fabricante:

EchoNous, Inc.
8310 154th Ave NE, Edifício B, Suíte 200
Redmond, WA 98052
Estados Unidos da América

País de Origem: Estados Unidos da América

ANATEL: 00430-22-14521

販売名：超音波画像診断装置 KOSMOS Series

管理医療機器

特定保守管理医療機器

一般的名称：汎用超音波画像診断装置（JMDN コード：40761000）

認証番号：302AIBZI00008000

外国指定高度管理医療機器製造等事業者：ECHONOUS, INC.（米国）

選任製造販売業者：有限会社ユーマンネットワーク

1-3-4-1310 Daiba

Minato-ku, Tokyo-to, 135-0091 Japan

TEL: 03 (5579) 6773

生物学的安全性

ALARA 教育プログラム

超音波を診断に使用する場合の指針が、「合理的に達成可能な限り低く」（ALARA）の原則により定義されています。合理的とは何かの判断は、適切な人員（ユーザー）の裁量に任せられています。すべての状況に対して完璧に正しい対応を決定できるような、一連の規則を作成することはできません。診断用の画像を取得したうえで、超音波への曝露を可能な限り低くすることにより、超音波による生物学的作用を最小限に留めることができます。

超音波診断の生物学的作用に関する閾値は決まっていないため、患者に伝送される全体的なエネルギー量を制御することは、ユーザーの責任で行うこととなります。診断画像の画質との兼ね合いで、曝露時間を調整してください。診断画像の画質を確保しながら曝露時間を制限するため、Kosmosには、検査の結果を最適化できるように、検査中に操作できるコントロールが用意されています。

ALARA の原則に準拠するユーザーの能力が重要になってきます。超音波診断は、技術においてだけでなく、技術の応用においても進歩しており、その結果、ユーザーをサポートするためのより多くのより良い情報が必要になっています。出力表示テーブルは、その重要な情報を提供できるように設計されています。

出力表示テーブルを使用して ALARA の原則を実施できるようにする方法には、多くの変数があります。この変数には、指標値、身体の高さ、焦点に対する骨の位置、体内での減衰、超音波への曝露時間などがあります。曝露時間は、ユーザーが制御できるため、特に便利な変数です。長期にわたってこの指標値を制限できるため、ALARA の原則がサポートされます。

全般的な ALARA 教育プログラムが、Kosmos に付属しています（附属の ISBN 1-932962-30-1 『Medical Ultrasound Safety（医療用超音波の安全性）』を参照）。

ALARA の適用

Kosmos で使用するイメージングモードは、必要な情報に基づいて決まります。B モードのイメージングでは解剖学的な情報が提供され、カラーモードのイメージングでは血流に関する情報が提供されます。

ユーザーは使用しているイメージングモードの性質を理解することで、情報に基づいた判断で ALARA の原則を適用することができます。さらに、Kosmos プローブの使用頻度、Kosmos Bridge の設定値、スキャンの技量、経験によって、ユーザーは ALARA の原則の定義を満たすことができます。

最終的な分析での音響出力の量に関する決定は、ユーザーに委ねられています。この決定は、患者のタイプ、検査のタイプ、患者の病歴、診断に有用な情報の得られやすさ/得られにくさ、トランスデューサーの表面温度による患者の局所的な加熱が起きる可能性といった要因に基づいて行われる必要があります。患者の曝露を、許容可能な診断結果を達成するために必要な最短時間、最も低い指標値に制限することは、Kosmos を使用するうえで賢明な方法だといえます。

指標値が高いからといって必ずしも生物学的作用が実際に起こるというわけではありませんが、指標値が高いことは重大に受け止める必要があります。指標値が高いことによって生じる可能性のある影響を低減するため、あらゆる努力を払う必要があります。曝露時間を制限することは、この目標を達成するうえで効果的な方法です。

オペレーターが画質の調整や、音響インテンシティの制限に使用できるシステムコントロールがいくつかあります。これらのコントロールは、ユーザーが ALARA を実施するために使用できる手技に関連するものです。

出力表示と表示精度

出力表示

Kosmos には、IEC 60601-2-37 で規定された 2 つの生物学的作用評価指標が表示されます。医用電気機器。第 2-37 部：医用超音波診断およびモニタ装置の安全性に関する個別要求事項。

サーマルインデックス (TI) は、予測される温度上昇の測定値を与えます。

サーマルインデックス

サーマルインデックスは、軟部組織または骨における温度上昇の推定値です。サーマルインデックスには次の 3 つのカテゴリがあります。TIS、TIB、および TIC。しかしながら、Kosmos は経頭蓋への適用を対象としていないため、頭蓋骨表面のサーマルインデックス (TIC) はシステム上の表示が利用できません。以下のサーマルインデックスのカテゴリが表示可能です。

- TIS：サーマルインデックスの主要なカテゴリです。骨のイメージングを行わない場合に適用されます。
- TIB：焦点領域内に位置する骨のサーマルインデックスです。

メカニカルインデックス


メカニカルインデックス (MI) は、キャビテーションが原因で組織が損傷する可能性の推定値です。産業界および FDA スタッフ向けガイダンス (Guidance for Industry and FDA Staff - Marketing Clearance of Diagnostic Ultrasound Systems and Transducers (2023).) により設定された、MI の絶対最大限度は 1.9 です。

ISPTA

Ispta は、空間ピーク時間平均強度 (Spatial Peak Temporal Average Intensity) です。産業界および FDA スタッフ向けガイダンス (Staff - Marketing Clearance of Diagnostic Ultrasound Systems and Transducers (2023).) により設定された、Ispta の絶対最大限度は 720 mW/cm² です。

出力表示精度

生体影響指標、MI、サーマルインデックスの出力表示精度は、測定システムの不確実性と精密度、パラメータの計算に使用される音響モデル内での工学的な想定、システムの音響出力における変動性に左右されます。EchoNous は、内部音響測定値とサードパーティによる音響測定値の両方の比較も行い、標準規格で示されるとおりに、両方の測定値が推奨表示量子化の 0.2 以内であることを確認しています。

 Kosmos に表示される MI 値とサーマルインデックス値はすべて、最大グローバル値（トラック 3 音響出力の表に掲載）を 0.2 以上超えることはありません。

MI とサーマルインデックスの精度は、次のとおりです。

- MI：±25% または +0.2 のいずれか大きい方の値以内の精度
- サーマルインデックス：±30% または +0.2 のいずれか大きい方の値以内の精度

Kosmos Torso と Kosmos Torso-One の音響出力一覧表は [表8-1](#) から [表8-7](#)、Kosmos Lexsa の音響出力表については [表8-8](#) から [表8-14](#) からをご覧ください。

Kosmos Torso と Kosmos Torso-One の音響出力一覧表

次のページをご覧ください

表 8-1. 変換器：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One、操作モード：B モード、音響出力一覧表：レポート可能モード 1(B-モード)心臓、ポディータイプ 2、16cm

指標の表示	MI	TIS		TIB		
		表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値	1.11	0.56		0.56		
指標の構成値		1 : 0.30 2 : 0.26	1 : 0.30 2 : 0.26	1 : 0.30 2 : 0.26	1 : 0.30 2 : 0.26	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	1 : 1.58				
	P (mW)		1 : 41.03 2 : 37.03	1 : 41.03 2 : 37.03		
	P_{1x1} (mW)		1 : 30.42 2 : 27.46	1 : 30.42 2 : 27.46		
	z_s (cm)		1 : 4.27 2 : 4.23			
	z_b (cm)				1 : 3.93 2 : 3.87	
	z_{MI} (cm)	1 : 4.20				
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	1 : 4.20				
	f_{awf} (MHz)	1 : 2.03	1 : 2.03 2 : 2.03	1 : 2.03 2 : 2.03		
	その他の情報	p_{rr} (Hz)	1 : 1589.5			
		s_{rr} (Hz)	1 : 28.4			
n_{pps}		1 : 1				
$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)		1:91.28				
$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)		25.13				
z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm ²)		42.50				
z_{pii} での p_r (MPa)		1 : 2.13				
操作制御条件	検査	心臓				
	BMI 設定	2				
	深度	16cm				

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：経頭蓋または新生児頭部への使用を意図しない振動子アセンブリに対して、TIC に関する情報を提供する必要はありません。
 注 4：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS、TIB、または TIC に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 6：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 7：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-2. 変換器：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One、操作モード：M モード、音響出力レポート表：レポートモード 3 M モード（心臓、体型：中肉中背、深度 12cm）

指標の表示	MI	TIS		TIB	
		表面	表面下	表面	表面下
指標の最大値	0.43	5.32E-02		0.11	
指標の構成値		5.32E-02	2.15E-02	5.32E-02	0.11
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	0.70			
	P (mW)		4.55	4.55	
	P_{Tx1} (mW)		4.11	4.11	
	z_s (cm)		5.37		
	z_b (cm)				4.80
	z_{MI} (cm)	5.37			
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	5.37			
	f_{awf} (MHz)	2.72	2.72		2.68
	pr (Hz)	800			
その他の情報	srr (Hz)	該当せず			
	n_{pps}	1			
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm^2)	52.08			
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm^2)	16.71			
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm^2)	31.29			
	z_{pii} での p_r (MPa)	45.72			
操作制御条件					

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 4：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 6：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-3. 変換器：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One、操作モード：M モード、音響出力レポート表：レポートモード 4 M モード（心臓、体型：中肉中背、深度 14cm）

指標の表示	MI	TIS		TIB	
		表面	表面下	表面	表面下
指標の最大値	0.39	5.33E-02		9.70E-02	
指標の構成値		5.33E-02	2.12E-02	5.33E-02	9.70E-02
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	0.63			
	P (mW)		4.60	4.60	
	P_{Tx1} (mW)		4.14	4.14	
	z_s (cm)		5.50		
	z_b (cm)				4.97
	z_{MI} (cm)	5.50			
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	5.50			
	f_{awf} (MHz)	2.70	2.70	2.67	
	prr (Hz)	800			
	srr (Hz)	該当せず			
その他の情報	n_{pps}	1			
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm^2)	41.86			
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm^2)	13.64			
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm^2)	38.22			
	z_{pii} での p_r (MPa)	1.06			
操作制御条件					

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 4：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 6：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-4. 変換器：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One、操作モード：BC モード (最大 MI, 深度 12cm、小 ROI、画像上)

指標の表示		MI	TIS		TIB		TIC
			表面 表面	表面下	表面 表面	表面下	
指標の最大値		1.56	0.37		0.37		0.64
指標の構成値			1 : 6.47E-02 2 : 0.30	1 : 6.47E-02 2 : 0.30	1 : 6.47E-02 2 : 0.30	1 : 6.47E-02 2 : 0.30	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	2 : 2.50					
	P (mW)		1 : 5.89 2 : 27.52		1:5.89 2 : 27.52		1 : 5.89 2 : 27.52
	P_{1x1} (mW)		1 : 5.02 2 : 24.07		1 : 5.02 2 : 24.07		
	z_s (cm)			1 : 該当せず 2 : 該当せず			
	z_b (cm)					1 : 該当せず 2 : 該当せず	
	z_{MI} (cm)	2 : 1.90					
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	2 : 2.00					
	f_{awf} (MHz)	2 : 2.65		1 : 2.71 2 : 2.65		1 : 2.71 2 : 2.65	1 : 2.71 2 : 2.65
その他の情報	pr (Hz)	2 : 1248.9					
	srr (Hz)	2 : 31.2					
	η_{pps}	2 : 10					
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)	2 : 282					
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sji,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	160.04					
	z_{pii} または z_{sji} での I_{spta} (mW/cm ²)	233.06					
	z_{pii} での p_r (MPa)	2 : 2.85					
操作制御条件	構成要素 1 : UTP 4						
	構成要素 2 : UTP 275						
注 1 : 指標ごとの操作条件は 1 つのみ。 注 2 : TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。 注 3 : 201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。 注 4 : 201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。 注 5 : 影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。 注 6 : 深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sji} および $z_{sji,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。							

表 8-5. 変換器：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One、操作モード：BC モード（最大 TIS/TIB、ISPTA、深度 12cm、大 ROI、画像上）

指標の表示	MI	TIS		TIB		TIC
		表面 表面	表面下	表面 表面	表面下	
指標の最大値	0.98	0.96		0.96		1.74
指標の構成値		1 : 5.66E-02 2 : 0.90	1 : 5.66E-02 2 : 0.90	1 : 5.66E-02 2 : 0.90	1 : 5.66E-02 2 : 0.90	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	2 : 1.58				
	P (mW)		1 : 5.15 2 : 86.25	1 : 5.15 2 : 86.25		1 : 5.15 2 : 86.25
	P_{1x1} (mW)		1 : 4.39 2 : 72.84	1 : 4.39 2 : 72.84		
	z_s (cm)		1 : 該当せず 2 : 該当せず			
	z_b (cm)				1 : 該当せず 2 : 該当せず	
	z_{MI} (cm)	2 : 4.24				
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	2 : 4.24				
	f_{awf} (MHz)	2 : 2.59	1 : 2.71 2 : 2.59	1 : 2.71 2 : 2.59		1 : 2.71 2 : 2.59
その他の情報	p_{rr} (Hz)	2 : 3824.6				
	s_{rr} (Hz)	2 : 25.5				
	n_{pps}	2 : 10				
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)	2 : 153				
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	69.29				
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm ²)	151.32				
	z_{pii} での p_r (MPa)	2 : 2.23				
操作制御条件	構成要素 1 : UTP 4					
	構成要素 2 : UTP 277					
注 1 : 指標ごとの操作条件は 1 つのみ。 注 2 : TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。 注 3 : 201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。 注 4 : 201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。 注 5 : 影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。 注 6 : 深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。						

表 8-6. 変換器：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One、音響出力レポート表、操作モード：PW ドプラ（最大 MI、TIS、TIB）

指標の表示	MI	TIS		TIB		
		表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値	0.42	3.04		3.04		
指標の構成値		0.49	3.04	3.04	3.04	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	0.59				
	P (mW)		50.93	50.93		
	P_{1x1} (mW)		37.76	37.76		
	z_s (cm)		1.93			
	z_b (cm)				1.87	
	z_{MI} (cm)	1.93				
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	1.93				
	f_{awf} (MHz)	2.03	2.03		2.03	
	p_{rr} (Hz)	14468				
	s_{rr} (Hz)	該当せず				
その他の情報	n_{pps}	1				
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)	12.14				
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sji,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	429.69				
	z_{pii} または z_{sji} での I_{spta} (mW/cm ²)	553.54				
	z_{pii} での p_r (MPa)	0.68				
	PRF	14468 Hz				
操作制御条件	ゲートサイズ	4mm				
	焦点深度	20mm				

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：経頭蓋または新生児頭部への使用を意図しない振動子アセンブリに対して、TIC に関する情報を提供する必要はありません。
 注 4：201.124.2a) の要件が満たされている場合は、TIS、TIB、または TIC に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：201.124.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 6：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 7：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sji} および $z_{sji,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-7. 変換器：Kosmos Torso と Kosmos Torso-One、音響出力レポート表、操作モード：CW ドプラ（最大 MI、TIS、TIB）

指標の表示	MI	TIS		TIB	
		表面	表面下	表面	表面下
指標の最大値	0.07	0.49		2.43	
指標の構成値		0.47	0.49	0.47	2.43
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	0.0976			
	P (mW)		62.48	62.48	
	P_{1x1} (mW)		50.17	50.17	
	z_s (cm)		1.27		
	z_b (cm)				1.27
	z_{MI} (cm)	0.9			
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	1.27			
	f_{awf} (MHz)	1.95	1.95	1.95	
	pr (Hz)	該当せず			
	srr (Hz)	該当せず			
その他の情報	n_{pps}	1			
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm^2)	該当せず			
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm^2)	279.77			
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm^2)	331.51			
	z_{pii} での p_r (MPa)	0.10			
	焦点深度	4cm			
操作制御条件	CW モード				

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：経頭蓋または新生児頭部への使用を意図しない振動子アセンブリに対して、TIC に関する情報を提供する必要はありません。
 注 4：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS、TIB、または TIC に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 6：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 7：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

Kosmos Lexsa の最大音響出力の概要

表 8-8. 変換器：Kosmos Lexsa 音響出力レポート表、操作モード：Bモード（最大 MI、ISPTA、MSK、深度 3cm）

指標の表示	MI	TIS		TIB		TIC
		表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値	0.77	5.39E-03		5.39E-03		1.25E-02
指標の構成値		5.39E-03	5.39E-03	5.39E-03	5.39E-03	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	2.01				
	P (mW)		0.52	0.52	0.52	0.52
	P_{1x1} (mW)		0.15	0.15		
	z_s (cm)		1.57			
	z_b (cm)				1.57	
	z_{MI} (cm)	1.43				
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	1.57				
	f_{awf} (MHz)	6.77	7.44	7.44	7.44	7.44
	pr (Hz)	1820.0				
	srr (Hz)	28.0				
その他の情報	η_{pps}	1				
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm^2)	1.7E+02				
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm^2)	1.62				
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm^2)	3.58				
	z_{pii} での p_r (MPa)	2.24				
操作制御条件	UTP 71					

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 4：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 6：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-9. 変換器：Kosmos Lexsa 音響出力レポート表、操作モード：Bモード
(最大 TIS, TIB, MSK、深度 10cm)

指標の表示	MI	TIS		TIB		TIC
		表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値	0.19	9.16E-03		9.16E-03		2.05E-02
指標の構成値		9.16E-03	9.16E-03	9.16E-03	9.16E-03	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	0.53				
	P (mW)		0.85	0.85		0.85
	P_{1x1} (mW)		0.25	0.25		
	z_s (cm)		1.63			
	z_b (cm)				1.63	
	z_{MI} (cm)	1.63				
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	1.63				
	f_{awf} (MHz)	7.69	7.69		7.69	7.69
	p_{rr} (Hz)	1300.0				
	s_{rr} (Hz)	20.0				
その他の情報	n_{pps}	1				
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)	17.0				
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	1.36				
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm ²)	3.23				
	z_{pii} での p_r (MPa)	0.82				
操作制御条件	UTP 87					

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 4：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 6：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-10. 変換器：Kosmos Lexsa 音響出力レポート表、操作モード：BC、CPD
モード（最大 MI、血管、深度 4cm、大 ROI）

指標の表示		MI	TIS		TIB		TIC
			表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値		1.37	7.72E-02		7.72E-02		0.29
指標の構成値			1 : 2.35E-03 2 : 7.48E-02	1 : 2.35E-03 2 : 7.48E-02	1 : 2.35E-03 2 : 7.48E-02	1 : 2.35E-03 2 : 7.48E-02	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	2 : 2.88					
	P (mW)		1 : 0.26 2 : 11.93		1 : 0.26 2 : 11.93		1 : 0.26 2 : 11.93
	P_{Tx1} (mW)		1 : 6.90E-02 2 : 3.56		1 : 6.90E-02 2 : 3.56		
	z_s (cm)			1 : 該当せず 2 : 該当せず			
	z_b (cm)					1 : 該当せず 2 : 該当せず	
	z_{MI} (cm)	2 : 0.96					
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	2 : 1.57					
	f_{awf} (MHz)	2 : 4.42		1 : 7.15 2 : 4.42		1 : 7.15 2 : 4.42	1 : 7.15 2 : 4.42
	pr (Hz)	2 : 8236.4					
	srr (Hz)	2 : 21.4					
その他の情報	n_{pps}	2 : 12					
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)	2 : 23.3					
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sij,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	29.58					
	z_{pii} または z_{sij} での I_{spta} (mW/cm ²)	48.42					
	z_{pii} での p_r (MPa)	2 : 0.95					
操作制御 条件	構成要素 1 : UTP 225						
	構成要素 2 : UTP 339 (16V)						

注 1 : 指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
注 2 : TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
注 3 : 経頭蓋または新生児頭部への使用を意図しない振動子アセンブリに対して、TIC に関する情報を提供する必要はありません。
注 4 : 201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS、TIB、または TIC に関連した列にデータを入力する必要はありません。
注 5 : 201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
注 6 : 影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
注 7 : 深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sij} および $z_{sij,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-11. 変換器：Kosmos Lexsa 音響出力レポート表、操作モード：BC、CPD
モード（最大 ISPTA、血管、深度 4cm、小 ROI、画像上）

指標の表示	MI	TIS		TIB		TIC
		表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値	1.37	6.50E-02		6.50E-02		7.98E-02
指標の構成値		1 : 3.23E-03 2 : 6.18E-02	1 : 3.23E-03 2 : 6.18E-02	1 : 3.23E-03 2 : 6.18E-02	1 : 3.23E-03 2 : 6.18E-02	
z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	2 : 2.88					
P (mW)		1 : 0.36 2 : 2.94		1 : 0.36 2 : 2.94		1 : 0.36 2 : 2.94
P_{1x1} (mW)		1 : 9.49E-02 2 : 2.94		1 : 9.49E-02 2 : 2.94		
z_s (cm)			1 : 該当せず 2 : 該当せず			
z_b (cm)				1 : 該当せず 2 : 該当せず		
z_{MI} (cm)	2 : 0.96					
$z_{pii,\alpha}$ (cm)	2 : 1.57					
f_{awf} (MHz)	2 : 4.42	1 : 7.15 2 : 4.42		1 : 7.15 2 : 4.42		1 : 7.15 2 : 4.42
pr (Hz)	2 : 2026.6					
srr (Hz)	2 : 28.1					
η_{pps}	2 : 12					
$z_{pii,\alpha}$ での $I_{p,\alpha}$ (W/cm ²)	2 : 23.3					
$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	48.65					
z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm ²)	79.44					
z_{pii} での p_r (MPa)	2 : 0.95					
操作制御条件	構成要素 1 : UTP 225					
	構成要素 2 : UTP 339 (16V)					

注 1 : 指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2 : TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3 : 201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 4 : 201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5 : 影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 6 : 深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-12. 変換器：Kosmos Lexsa 音響出力レポート表、操作モード：BC、CPD
モード（最大 TIS、TIB）

指標の表示	MI	TIS		TIB		TIC
		表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値	0.94	0.10		0.10		0.29
指標の構成値		1 : 1.91E-03 2 : 0.10	1 : 1.91E-03 2 : 0.10	1 : 1.91E-03 2 : 0.10	1 : 1.91E-03 2 : 0.10	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,a}$ (MPa)	2 : 2.34				
	P (mW)		1 : 0.22 2 : 11.60		1 : 0.22 2 : 11.60	1 : 0.22 2 : 11.60
	P_{1x1} (mW)		1 : 5.62E-02 2 : 3.46		1 : 5.62E-02 2 : 3.46	
	z_s (cm)		1 : 該当せず 2 : 該当せず			
	z_b (cm)				1 : 該当せず 2 : 該当せず	
	z_{MI} (cm)	2 : 0.93				
	$z_{pii,a}$ (cm)	2 : 1.40				
	f_{awf} (MHz)	2 : 6.22	1 : 7.15 2 : 6.22		1 : 7.15 2 : 6.22	1 : 7.15 2 : 6.22
	p_{rr} (Hz)	2 : 8830.3				
	s_{rr} (Hz)	2 : 17.8				
その他の情報	n_{pps}	2 : 16				
	$z_{pii,a}$ での $I_{pa,a}$ (W/cm ²)	2 : 73.7				
	$z_{pii,a}$ または $z_{sij,a}$ での $I_{spta,a}$ (mW/cm ²)	29.56				
	z_{pii} または z_{sij} での I_{spta} (mW/cm ²)	54.39				
	z_{pii} での p_r (MPa)	2 : 1.51				
操作制御条件	構成要素 1 : UTP 225					
	構成要素 2 : UTP 161					

注 1 : 指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2 : TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3 : 経頭蓋または新生児頭部への使用を意図しない振動子アセンブリに対して、TIC に関する情報を提供する必要はありません。
 注 4 : 201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS、TIB、または TIC に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5 : 201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 6 : 影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 7 : 深度 z_{pii} および $z_{pii,a}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sij} および $z_{sij,a}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-13. 変換器：Kosmos Lexsa 音響出力レポート表、操作モード：PW ドブラ
(最大 MI)

指標の表示		MI	TIS		TIB		TIC
			表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値		0.35	0.19		0.47		0.26
指標の構成値			0.19	0.06	0.19	0.47	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	0.88					
	P (mW)		6.45		6.45		6.45
	P_{1x1} (mW)		6.45		6.45		
	z_s (cm)		2.6				
	z_b (cm)				2.6		
	z_{MI} (cm)	1.22					
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	1.24					
	f_{awf} (MHz)	6.26	6.26	6.26	6.26	6.26	6.26
その他の情報	pr_r (Hz)	15625					
	sr_r (Hz)	該当せず					
	n_{pps}	1					
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)	23.9					
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	338.3					
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm ²)	575.2					
	z_{pii} での p_r (MPa)	1.14					
操作制御条件	PRF	15625					
	ゲートサイズ	5mm					
	ゲート焦点深度	10mm					

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
 注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
 注 3：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 4：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
 注 5：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
 注 6：深度 z_{pii} および $z_{pii,a}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,a}$ はスキャンモードに適用されます。

表 8-14. 変換器：Kosmos Lexsa 音響出力レポート表、操作モード：PW ドブラ
(最大 TIS、TIB、TIC)

指標の表示	MI	TIS		TIB		TIC
		表面	表面下	表面	表面下	
指標の最大値	0.15	0.66		1.64		0.64
指標の構成値		0.66	0.26	0.66	1.64	
音響パラメータ	z_{MI} での $p_{r,\alpha}$ (MPa)	0.38				
	P (mW)		22.23		22.23	22.23
	P_{1x1} (mW)		22.23		22.23	
	z_s (cm)		2.6			
	z_b (cm)				2.6	
	z_{MI} (cm)	2.58				
	$z_{pii,\alpha}$ (cm)	2.58				
	f_{awf} (MHz)	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25
	p_{rr} (Hz)	7621				
	s_{rr} (Hz)	該当せず				
その他の情報	n_{pps}	1				
	$z_{pii,\alpha}$ での $I_{pa,\alpha}$ (W/cm ²)	5.42				
	$z_{pii,\alpha}$ または $z_{sii,\alpha}$ での $I_{spta,\alpha}$ (mW/cm ²)	127.8				
	z_{pii} または z_{sii} での I_{spta} (mW/cm ²)	539.19				
	z_{pii} での p_r (MPa)	0.73				
	PRF	7621				
	ゲートサイズ	5mm				
操作制御条件	ゲート焦点深度	50mm				

注 1：指標ごとの操作条件は 1 つのみ。
注 2：TIS または TIB に関連した列には、「表面」と「表面より下」の両方にデータを入力する必要があります。
注 3：201.12.4.2a) の要件が満たされている場合は、TIS または TIB に関連した列にデータを入力する必要はありません。
注 4：201.12.4.2b) の要件が満たされている場合は、MI に関連した列にデータを入力する必要はありません。
注 5：影の付いていないセルには、数値を入れる必要があります。操作コントロールセクションには、指標に関連する装置設定を入力する必要があります。
注 6：深度 z_{pii} および $z_{pii,\alpha}$ は非スキャンモードに適用され、深度 z_{sii} および $z_{sii,\alpha}$ はスキャンモードに適用されます。

測定精度

Bモード画像の距離と面積に関する測定精度は以下のとおりです。

- 軸方向の測定精度：2D イメージングモードにおける軸方向距離の測定精度は、表示されている値の $\pm 2\%$ 以内（または 1 mm のいずれか大きい方）である必要があります。
- 横方向距離の測定精度：2D イメージングモードにおける横方向距離の測定精度は、表示されている値の $\pm 2\%$ 以内（または 1 mm のいずれか大きい方）である必要があります。
- 斜め方向の測定精度：2D イメージングモードにおける斜め方向距離の測定精度は、表示されている値の $\pm 2\%$ 以内（または 1 mm のいずれか大きい方）である必要があります。
- 面積の測定精度：2D イメージングモードにおける面積の測定精度は、公称値の $\pm 4\%$ である必要があります。

Mモード画像の距離と時間に関する測定精度は以下のとおりです。

- Mモードにおける距離の測定値：Mモードにおける距離の測定精度は、表示されている値の $\pm 3\%$ 以内である必要があります。
- Mモードにおける時間の測定精度：Mモードにおける時間の測定精度は、表示されている値の $\pm 2\%$ 以内である必要があります。

Kosmos AI アシスト EF ワークフローの測定精度：

- Kosmos の EF 計算精度は、ED/ES フレームの正しい選択、および LV 心内膜壁の正確なトレースによって決まります。重要となるのは、Kosmos AI アルゴリズムで提供された初期の ED/ES フレームと LV 輪郭をレビューすること、その精度を確認すること、さらに必要に応じてそれらを編集することです。
 - 選択した ED/ES フレームが、A4C および A2C 動画において、対応する拡張終期および収縮終期の心拍位相を正確に表すものであることを確認してください。必要に応じて編集ツールを用い、さらに適切なフレームを選択します。
 - LV 輪郭が LV 心内膜を正確になぞったものであることを確認してください。編集ツールを用い、LV 輪郭を適切にトレースし調整します。
- 可能であれば、単一断面の A4C EF より精度の良い A4C と A2C 両方の動画を取得し、2断面の A4C/A2C EF を得るようにします。

- 以下に示す表は、2つのエコー専門の独立 Echo Core Labs で実施した、同一の A4C/A2C 動画に対する、Kosmos EF 計算（ユーザー調整なし）を、専門家によるマニュアル測定の平均値と比較した結果です。さまざまな年齢、性別、人種、体型、健康状態の被験者を、臨床的ポイントオブケアの超音波セッティングにおいて、Kosmos AI アシスト EF ワークフローを使用してスキャンしました。スキャンした被験者の EF は、20% から 80% に及ぶものでした。以下に示す本結果には、A4C/A2C 2 断面および A4C 単一断面での取得の両方が含まれていますが、大多数は 2 断面によるものです（A4C 単一断面での取得は、適切な A2C ビューが合理的な時間内で獲得できない場合には十分なものでした）。

表 8-15. EF 比較指標

EF 指標	EF 百分率単位
標準偏差 ¹	6.69 (p-値<0.0001)
バイアス	-3.41
95%一致限界 ²	-14.67/7.85

¹標準偏差は、Kosmos EF 計算（ユーザー調整なし）間での偏差の指標であり、さらには専門家によるマニュアル測定を平均したものです。

²95%一致限界は、Kosmos EF 計算（ユーザー調整なし）間での差の約 95% を含むとされるもので、さらには専門家によるマニュアル測定を平均したものです。

コントロールの効果

Kosmos には、音響出力をユーザーが直接制御する手段は用意されていません。Kosmos は、どのイメージングモードでも音響の制限を超過しないよう、出力が自動的に調整されるように設計されています。ユーザーは出力を直接制御することはできないため、ユーザーが ALARA の原則を実施するためには、曝露時間の制御とスキャンに関して把握しておく必要があります。

関連資料

- U.S. Dept. of Health and Human Services, Food and Drug Administration, Guidance for Industry and FDA Staff - Marketing Clearance of Diagnostic Ultrasound Systems and Transducers (2023)

- IEC 60601-2-37:2015 医用電気機器 - 第 2-37 部：医用超音波診断装置及びモニタ機器の基礎安全及び基本性能に関する個別要求事項
- IEC 62359:2017 超音波 - 分野特性 - 医療超音波診断分野に関連するサーマルインデックスおよびメカニカルインデックスの決定のための試験法
- NEMA UD 2-2004 (R2009) 超音波診断装置に関する音響出力測定基準の改訂 3

トランスデューサーの表面温度上昇

表8-16. は、Kosmos で想定される最大温度上昇をまとめたものです。この表の値は、本番稼働システムと同等のシステムにおける統計的な検体試験に基づいており、IEC 60601-2-37 に従って検証されました。この表に示されている値は、90%の信頼区間で求めたものです。従って、90%のシステムが、表に示される値以下の温度上昇となります。

表 8-16. 表面温度上昇

試験	温度上昇 (°C)
静止空気	16.02
模擬的な使用	9.85

ECG 補足情報

- 推奨される ECG 電極：液体への耐性があり、フォームで裏打ちされた電極をご使用ください。たとえば 3M™ Red Dot™ クリアプラスチックモニタ電極 2235 などです。
- Kosmos では、0.65Hz ~ 47.5Hz のシングル ECG フィルターを使用しています。
- Kosmos では、フル充電のバッテリーの場合、約 90 分間の連続操作を実施できます。
- Kosmos の HR 計算は、±10% または ±5/分以内の精度であり、いずれでも 60601-2-27 HR 精度要求事項により指定された範囲内であって、規定の HR より良いものとなっています。
- Kosmos の HR 範囲（成人）：30/分 ~ 200/分。
- Kosmos の HR 範囲（小児）：30/分 ~ 250/分。

- ノイズ抑制：右足駆動最大電圧 2.12Vrms。
- HR 平均化法：データは、約 2.5 秒のサンプリング期間において、R 波のピークに対して分析されます。必要に応じて、2つのサンプリング期間を結合して最低3つのR波ピークを取り込みます。HRは、各サンプリング期間の後に更新されます。
- Kosmos では、以下のスイープ速度が提供されます。25mm/秒、50mm/秒、75mm/秒、および 100mm/秒。
- HR を計算する際、Kosmos は、高い T 波（偽 QRS ピークのような）を、QRS 振幅の 75% までの振幅まで拒否することができます。

人間工学



超音波スキャンを繰り返すと、親指やその他の指、手、腕、肩、目、首、背中、その他身体の一部に、時折不快感が生じることがあります。不快感、炎症、疼痛、ズキズキ感、うずく痛み、ヒリヒリ感、しびれ、凝り、しゃく熱感、筋肉疲労、筋力低下、可動域制限などの症状が継続的あるいは断続的に発生する場合は、その警告サインを無視しないでください。直ちに医療機関を受診してください。こうした症状は、作業関連筋骨格系障害（WRMSD）と関連している可能性があります。WRMSD は痛みを伴う場合があり、これによって神経、筋肉、腱、その他身体の一部に障害となる怪我を負う可能性もあります。WRMSD の例としては、滑液包炎、腱炎、腱鞘炎、手根管症候群、De Quervain 症候群などがあります。




研究者は WRMSD に関する多くの疑問には明確に答えられていませんが、特定の因子がその発生に関連しているということについては、基本的な同意が得られています。その因子には、現在の医学的・物理的状況、作業している間の心身の健康状態/機器/身体の位置、作業の頻度、作業の継続時間などがあります。

Kosmos は、医科向けの短時間検査用です。放射線科やその他の診療科で継続的に使用することは想定されていません。本装置を継続的に使用する必要がある場合は、以下の予防措置を講じてください。

- 腰を支えられる背もたれのある椅子に座る、もしくは真っ直ぐな姿勢で座るか立つかして、楽な姿勢を取ります。

- できるだけ身体をひねらないようにし、肩の力を抜いて、腕をクッションで支えます。
- Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa を軽く持ち、手首を真っ直ぐに保って、患者にかかる圧力を最小限に抑えます。
- 定期的に休憩を取ります。

電磁両立性

	本システムは、AS/NZ CISPR 11:2015 および EN IEC 60601-1-2:2014 の電磁両立性要件に準拠しています。しかし、電子通信機器やモバイル通信機器が空気中で電磁エネルギーを伝送する場合があります。設置状況や環境によっては干渉が発生しないという保証はありません。干渉が発生すると、超音波画像にアーチファクト、歪み、劣化が生じる可能性があります。システムが干渉を起こしている、または干渉を受けていることがわかった場合は、システムまたは影響を受けている機器の向きを変えたり、機器間の距離を大きくしたりしてみてください。詳細については、EchoNous カスタマーサポートまたは EchoNous 販売代理店までお問い合わせください。
	EchoNous では、医療用高周波電気機器を EchoNous システムの近くで使用することはお勧めしていません。EchoNous 機器は、外科手術用高周波電気機器や高周波手術での使用について検証されていません。外科手術用高周波電気機器を EchoNous システムの近くで使用すると、システムの異常動作や停止につながる可能性があります。発火の危険性を回避するために、Kosmos プローブ を高周波手術装置と一緒に使用しないでください。高周波手術装置の中性極の接続に欠陥がある場合は、発火の危険性が生じる可能性があります。
	本システムには、精密なコンポーネントや回路が含まれています。適切な静電気防止処置に従わないと、システムが損傷する可能性があります。故障したら必ず EchoNous カスタマーサポートまたは EchoNous 販売代理店に連絡して、修理を依頼してください。

本システムは、以下に指定された電磁環境で使用することが想定されています。本システムのユーザーは、必ず本システムを該当する環境で使用するようになしてください。

電磁放射線

表 8-17. ガイダンスおよび製造業者による宣言：電磁放射線

放射試験	コンプライアンス	電磁環境：ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	システムでは、RF エネルギーは内部機能にのみ使用されます。このため、システムの RF 放射は非常に低く、近くの電子機器に干渉を起こす可能性はほとんどありません。
RF 放射 CISPR 11	クラス A	
高調波放射 IEC 61000-3-2	クラス A	システムは、住宅（および居住を目的として使用される建物に電力を供給する低電圧電源ネットワークに直接接続される施設）を除き、あらゆる施設での使用に適しています。
電圧変動/フリッカー発生 IEC 61000-3-3	準拠	


本システムは、クラス A に準拠しており、住宅（および居住を目的として使用される建物に電力を供給する低電圧電源ネットワークに直接接続される施設）を除き、あらゆる施設での使用に適しています。システムが干渉を起こしている、もしくは干渉を受けていることがわかった場合は、前述の警告セクションに記載されるガイドラインに従ってください。

電磁環境耐性

表 8-18. ガイダンスおよび製造業者による宣言：電磁環境耐性

イミュニティ試験	コンプライアンスレベル	電磁環境：ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接点 ±2 kV、±4 kV、±8 kV、 ±15 kV 空中	床は、木、コンクリート、セラミックタイルのいずれかである必要があります。床に合成素材が敷かれている場合は、相対湿度が 30% 以上である必要があります。
電氣的ファストトランジェントバースト IEC 61000-4-4	±2 kV (繰り返し周波数 100 kHz、電源ライン)	主電源の品質は、通常の商用環境または病院環境の品質である必要があります。
サージ IEC 61000-4-5	±0.5 kV、±1 kV ライン間 ±0.5 kV、±1 kV、±2 kV ライン接地間	主電源の品質は、通常の商用環境または病院環境の品質である必要があります。
電源入力ラインの電圧低下、短時間停電、電圧変動 IEC 61000-4-11	0% U_T : 0.5 サイクル (0 度、45 度、90 度、135 度、180 度、225 度、270 度、315 度)。 0% U_T : 1 サイクル、70% U_T 25/30 サイクル (単相、0 度)	主電源の品質は、通常の商用環境または病院環境の品質である必要があります。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁場 IEC 61000-4-8	8 A/m (CW 変調 30 kHz) 65 A/m (134.2 kHz、パルス変調 2.1 kHz) 75 A/m (13.56 MHz、パルス変調 50 kHz)	電源周波数の磁場は、通常の商用環境または病院環境内における通常の場所に特徴的なレベルである必要があります。

表 8-18. ガイダンスおよび製造業者による宣言：電磁環境耐性

<p>^{2,3}伝導 RF IEC 61000-4-6</p>	<p>3 Vrms⁶ 0.15 MHz～80 MHz 6 Vrms (0.15 MHz～80 MHz の ISM およびアマチュア無線 周波数帯、80% AM (1 kHz))</p>	<p>携帯型およびモバイル RF 通信機器は、ケーブルを含むシステムのどの部分にも、トランスミッターの周波数に適用される式で計算された推奨分離距離よりも近づけて使用しないでください。</p> <p>推奨分離距離</p> $d = 1.2 \sqrt{P}$
<p>放射 RF IEC 61000-4-3</p>	<p>3 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz 80% AM (1 kHz)</p>	<p>$d = 1.2 \sqrt{P}$ 80MHz ～ 800MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800MHz ～ 2.5GHz</p> <p>ここで P は、トランスミッターの製造元によるトランスミッターの最大出力定格 (W) で、d は推奨分離距離 (m) です。</p> <p>電磁気の実地調査⁴により特定した固定 RF トランスミッターからの電界強度は、各周波数範囲でコンプライアンスレベルを下回っている必要があります⁵。</p> <p>以下の記号が貼付されている機器の近くでは、干渉が発生する可能性があります。</p> 
<p>1 UT は試験レベル適用前の AC 主電源電圧です。 2 80MHz と 800 MHz では、高い方の周波数範囲が適用されます。 3 これらのガイドラインは、すべての状況に当てはまるわけではありません。電磁伝搬は、構造、物、人による吸収と反射に影響されます。 4 無線基地局（携帯/コードレス）電話および陸上移動無線、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送、テレビ放送などの固定トランスミッターからの電界強度は、理論上正確に予測することはできません。固定 RF トランスミッターによる電磁環境を評価するには、電磁気の実地調査を実施する必要があります。システムを使用する場所での電界強度の測定値が、上記の適用される RF コンプライアンスレベルを超える場合は、システムを観察して正常に動作することを確認する必要があります。性能異常が観察される場合は、システムの方向や場所を変えるなどの追加措置が必要な可能性があります。 5 150kHz ～ 80MHz の周波数範囲にわたって、電界強度は 3V/m を下回っている必要があります。 6 導電された RF エネルギーは、ECG 波形でのノイズの原因となることがあります。ノイズが ECG 波形で検出されたら、本システムを AC 電源から切ってください。</p>		

⚠	オプションのモバイルスタンドを使用すると、システムが静電気放電の影響を受けやすくなり、手動の介入操作が必要になる場合があります。静電気放電でシステムにエラーが発生した場合は、いったんプローブを抜いてから差し込み直して、再び作動させてください。
⚠	導電された RF エネルギーは、ECG 波形でのノイズの原因となることがあります。ノイズが ECG 波形で検出されたら、Kosmos を AC 電源から切ってください。
⚠	本システムでの使用に指定されているもの以外のケーブルや付属品を使用すると、システムのエミッションの増大やイミュニティの低下を引き起こす場合があります。

分離距離

表 8-19. 分離距離

携帯型およびモバイル RF 通信機器と EchoNous システムとの間の推奨分離距離			
トランスミッターの定格最大出力 W	トランスミッターの周波数に応じた分離距離		
	150kHz ~ 80MHz	80MHz ~ 800MHz	800MHz ~ 2.5GHz
	$d = 1.2 \sqrt{P}$	$d = 1.2 \sqrt{P}$	$d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記以外の最大出力を定格とするトランスミッターについては、トランスミッターの周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d (m) を推定できます。ここで P は、トランスミッターの製造元によるトランスミッターの最大出力定格 (W) です。

注 1: 80MHz と 800 MHz では、高い方の周波数範囲における分離距離が適用されます。

注 2: これらのガイドラインは、すべての状況に当てはまるわけではありません。電磁伝搬は、構造、物、人による吸収と反射に影響されます。

証明書とコンプライアンス

証明書で指定された準拠マーク（証明書の数と承認を含む）の詳細については、次の手順を実行します。

- ★ ホーム画面で **[SETTINGS]** --> **[About]** --> **[Regulatory]**（設定 --> バージョン情報 --> 規制文書）の順にタップします。

意図的なラジエーター

FCC の意図的なラジエーターの認証には、以下が含まれます。

- FCC ID : 2AU8B-ECHKMOS
- IC ID : 25670-ECHKMOS

Kosmos には、上記のとおり、FCC ID 番号の下で FCC により承認された意図的なラジエーターが含まれています。Kosmos は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。動作については、(1) Kosmos は有害な干渉を発生させてはならない、(2) Kosmos は受けた干渉を、望ましくない動作を発生させる可能性のある干渉も含めて、すべて受け入れなければならない、という 2 つの条件を満たす必要があります。

改造は行わないこと：EchoNous, Inc. の書面による同意なしには、Kosmos に分解、改造を加えてはなりません。正式に許可されていない分解、改造を加えると、連邦通信委員会ルールにより与えられる、本装置を稼働させる権限が失われる場合があります。

5.15 ~ 5.25GHz 帯での使用は屋内使用にのみ制限されています。

クラス B 装置

Kosmos は試験済みで、FCC ルールのパート 15 に準じて、クラス B デジタル装置に課される制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅で設置した場合の有害な干渉に対して、適切な保護を提供するように設計されています。本装置は無線周波数エネルギーを生成および使用しており、無線周波数エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って設置および使用しなかった場合は、無線通信に対して有害な干渉を起こす可能性があります。ただし、指示に従って設置したとしても、干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に

有害な干渉を起こしている場合は（干渉が発生しているかどうかは、装置の電源を切ってから入れ直すことで確認できます）、以下のいずれかの方法で干渉の是正を試みてください。

- 受信アンテナの向きまたは配置を変更する
- 本装置と受信機の距離を離す
- 本装置を、受信機が接続されている回路とは別の回路上のコンセントにつなぐ
- 販売代理店または経験豊かなラジオ/テレビ技術者に相談する

Kosmos は、FCC ルールに準じて、クラス B コンピューティング装置に課される制限に準拠していることが確認されています。FCC の規制に準拠した状態を保つために、本装置には必ずシールドされたケーブルを使用してください。承認されていない装置やシールドされていないケーブルで稼働させると、ラジオやテレビの受信に干渉が発生する可能性があります。ユーザーは、製造元の承認なしに装置に変更や改変を加えると、本装置を稼働させる権限が失われる場合があります。

カナダ産業省のステートメント

本装置は、カナダ産業省によるライセンス免除の受信電波強度規格に適合しています。

動作については、(1) 本装置は、干渉を発生させることはありません。

(2) 本装置は、あらゆる干渉を許容する必要がありますが、それには、機器の望ましくない作動の原因となる干渉も含まれます。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes: (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

5150 ~ 5250MHz 帯での使用は、屋内使用にのみ制限されていますが、それは同一チャンネルの移動衛星システムに対する有害な干渉の可能性を低減するためです。

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

規格

HIPAA

Kosmos には、HIPAA 規格に記載されている適用セキュリティ要件を満たすためのセキュリティ設定が含まれています。システム上で収集、保存、レビュー、転送された電子的に保護されているすべての医療情報について、セキュリティと保護を確保することは、最終的にはユーザーの責任となります。

医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA)、公法104-191 (1996)。45 CFR 160、一般管理要件。

45 CFR 164、セキュリティとプライバシー

DICOM









Kosmos は、Kosmos の DICOM 適合性宣言書 (英語版は www.echonous.com で入手可能) に規定されるとおり、DICOM 規格に準拠しています。この宣言書には、本システムでサポートされるネットワーク接続の目的、特性、構成、仕様に関する情報が記載されています。

-- セクション終わり --

Kosmos のメンテナンス

洗浄と消毒

全般的な注意事項

	記載されている洗浄手順は、米国食品医薬品局（FDA）が義務付けている要件に基づいています。これらの指示に従わないと、交差汚染や患者への感染を引き起こすおそれがあります。
	トランスデューサのカバーまたはシースを使用する際には、必ず洗浄および消毒の手順に従ってください。
	再処理剤には、一部の人に対してアレルギー反応を引き起こす可能性のあるものもあります。
	洗浄剤、消毒剤、ワイブは、期限が切れていないことを確認してください。
	洗浄剤や消毒剤がKosmos BridgeまたはKosmosプローブのコネクターに入らないようにしてください。
	薬品の製造元が推奨する、保護メガネや保護手袋などの、適切な個人用保護具（PPE）を装着してください。
	洗浄と消毒のプロセスは、どの手順も決して飛ばさないでください。
	洗浄剤や消毒剤をKosmos Bridgeの表面やKosmos BridgeおよびKosmosプローブのコネクターに直接噴霧しないでください。これを行うと、溶液がKosmosに浸み込む場合があり、装置が損傷し、保証が無効になります。

⚠	本書に記載されていない方法または化学薬品を使用して、Kosmos Bridge、Kosmos プローブ、Kosmos プローブケーブルを洗浄・消毒しないでください。これを行うと、Kosmos が損傷し、保証が無効になる場合があります。
⚠	機器を保持、または消毒しているときは、Kosmos プローブのケーブルを引っ張らないでください。ケーブルを引っ張るとプローブを損傷する原因になります。

Kosmos Bridge

⚠	Kosmos Bridge は滅菌されていない状態で提供されますが、滅菌しないでください。
⚠	感電を避けるため、洗浄前には Kosmos Bridge の電源を切り、電源から切り離してください。

洗浄

Kosmos Bridge に洗浄剤や消毒剤を直接噴霧しないでください。やわらかい布に噴霧しやさしく拭いてください。余分な液体はすべて拭き取り、洗浄後は表面に液体を残さないようにしてください。Kosmos Bridge の洗浄と消毒は、必ず以下の方法で行ってください。

1. 使用後は毎回 USB ケーブルを Kosmos プローブから取り外します。
2. ヘッドセット、電源などのアクセサリはすべて取り外します。
3. 承認されている消毒ワイプを使用して、Kosmos Bridge の画面やその他のすべての部分を注意深く拭きます。の一覧から EchoNous 承認のワイプを選んでください。
4. 必要に応じて、ワイプを替えて Kosmos Bridge を拭き、目に見える汚れをすべてなくします。

📌	消毒後、ディスプレイに割れなどの損傷がないかを点検します。損傷が見つかった場合は、システムの使用を中止して、EchoNous カスタマーサポートまでご連絡ください。
---	--

表 9-1. 前飽和ワイブ





製品	製造元	有効成分	接触条件
Sani-Cloth Plus	PDI Inc.	n-アルキル (68% C12、32% C14) ジメチルエチルベンジル塩化アンモニウム。0.125% n-アルキル (60% C14、30% C16、5% C12、5% C18) ジメチルベンジル塩化アンモニウム。0.125%	消毒に 5 分間の液体接触時間
CaviWipes (KavoWipes)	Metrex	ジイソブチルフェノキシエトキシエチルジメチルベンジルアンモニウムクロリド (0.28%)、イソプロパノール (17.2%)	消毒に 5 分間の液体接触時間

Kosmos プロープ

洗浄

Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa の洗浄については、以下の指示に従ってください。Kosmos プロープは、使用後に毎回洗浄する必要があります。Kosmos プロープの洗浄は、消毒を効果的に行うために欠かすことのできない手順です。

Kosmos Torso、Kosmos Torso-One、Kosmos Lexsa を洗浄する前に、以下の警告と注意事項をよくお読みください。

	洗浄と消毒を行う前に、必ず USB ケーブルを Kosmos プロープから取り外してください。
	洗浄後は、適切な操作手順に従って必ず Kosmos プロープを消毒してください。
	機器の洗浄と消毒を行う際には、必ず保護メガネと保護手袋を使用してください。
	EchoNous 推奨のワイブのみを使用してください。推奨されていないワイブを使用すると、Kosmos プロープが損傷し、保証が無効になる場合があります。

▲	Kosmos プローブの洗浄と消毒を行う際には、USB コネクタの電気接続や金属部分に液体が入らないようにしてください。
▲	カバーやシースを使用していることで、Kosmosプローブの正しい洗浄と消毒が必要なくなることはありません。洗浄と消毒の方法を選択する際には、処置中にカバーを使用していなかった場合と同じように Kosmos プローブを取り扱ってください。



プローブを洗浄するには、次の手順を実行します。

1. 使用後は毎回 USB ケーブルを Kosmos プローブから取り外します。
2. シースなど、プローブに取り付けられているアクセサリや、Kosmos プローブを覆っているアクセサリをすべて取り外します。
3. 使用場所では、承認された前飽和ワイプで Kosmos プローブを拭き取ります。
4. Kosmos プローブの消毒に先立ち、承認された前飽和消毒ワイプを使用して、Kosmos プローブの表面から超音波ジェルをすべて取り除きます。の一覧から EchoNous 承認のワイプを選んでください。
5. に示された新しい前飽和ワイプを使用して、Kosmos プローブ上に残っているすべての粒子状物質、ジェル、液体を取り除きます。
6. 必要に応じて、ワイプを替えて Kosmos プローブを拭き、目に見える汚れをすべて取り除きます。
7. 消毒を続ける前に、Kosmos プローブが乾燥していることを目視で確認します。

消毒（中水準）


Kosmos プローブが負傷している皮膚、または負傷していない粘膜に触れなかった（非クリティカルな使用）場合には、必ず以下の手順に従って消毒してください。以降の手順を実行する前に、以下の警告と注意事項をよくお読みください。

▲	低水準および中水準の消毒について、EchoNous では中レベル消毒による消毒が検証済みです。
▲	洗浄と消毒を行う前に、必ず USB ケーブルを Kosmos プローブから取り外してください。
▲	機器の消毒を行う際には、必ず保護メガネと保護手袋を使用してください。

	消毒を行う前に、該当する手順に従って Kosmos プローブを洗浄し、消毒プロセスに干渉する可能性のあるすべてのジェル、液体、粒子を取り除いておいてください。
	EchoNous 推奨の消毒剤のみを使用してください。推奨されていない消毒用ワイプを使用すると、Kosmosプローブが損傷し、保証が無効になる場合があります。

Kosmosプローブの消毒（中水準）を行うには、次の手順を実行します。








1. 洗浄後、飽和ワイプの一覧から中水準消毒剤を選び、推奨される最小液体接触時間を遵守します。
2. 新しいワイプを使用して、ケーブルとKosmosプローブを洗浄します。二次汚染を避けるため、剥き出しになっているケーブルから始めて、Kosmosプローブヘッドに向けて拭いていきます。
3. 定められた液体接触時間を遵守します。Kosmosプローブに濡れた部分がないか観察します。少なくとも3枚はワイプを使用して、効果的な消毒を確保します。
4. Kosmosプローブを再使用する前に、Kosmosプローブが乾燥していることを目視で確認します。

	Kosmosプローブに、ひびや割れ、尖った箇所などの損傷がないかチェックします。損傷が見つかった場合は、Kosmosプローブの使用を中止し、EchoNous 販売代理店までご連絡ください。
---	--

消毒（高水準）

Kosmosプローブが負傷していない粘膜、または負傷している皮膚に触れた（セミクリティカルな使用）場合は、必ず以下の手順に従って、Kosmosプローブに高水準消毒を行ってください。通常、Kosmosプローブの高水準消毒には、高水準消毒剤または化学滅菌剤を用いた浸漬法が使用されます。

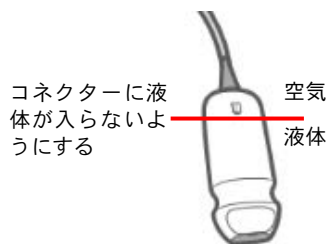
以降の手順を実行する前に、以下の警告と注意事項をよくお読みください。

	洗浄・消毒中には必ずKosmos プローブを AC 電源から外してください。
	消毒を行う前に、 洗浄 の該当する洗浄手順に従ってKosmos プローブを洗浄し、消毒プロセスに干渉する可能性のあるすべてのジェル、液体、粒子を取り除いておいてください。
	機器の消毒を行う際には、必ず保護メガネと保護手袋を使用してください。
	Kosmos プローブの消毒を行う際には、USB コネクターや Kosmos ECG ケーブルコネクターの電気接続や金属部分に液体が入らないようにしてください。
	本書に記載されていない方法を使用してKosmosプロローブを消毒しようとししないでください。Kosmosプロローブが損傷し、保証が無効になる場合があります。
	EchoNous 推奨の消毒剤のみを使用してください。推奨されていない消毒剤や適正でない濃度の溶液を使用すると、Kosmosプロローブが損傷し、保証が無効になる場合があります。
	Kosmos プロローブが損傷のない粘膜や損傷のない皮膚に接触した場合（セミクリティカルな使用）は、高水準の洗浄および消毒手順を行ってください。

Kosmosプロローブの消毒（高水準）を行うには、次の手順を実行します。

1. 洗浄後に、Kosmosプロローブに適合する高水準消毒剤を選びます。適合性のある消毒剤については、**Kosmos プロローブ浸漬用消毒剤**にある一覧を参照してください。
2. Cidex OPA 試験紙を使って、溶液濃度をテストします。溶液が（開封容器内で）14 日を超えて古くなっていないこと、または（保管容器の開封時点から）75 日を超えて古くなっていないことを確認してください。
3. プレミックス溶液を使用する場合は、必ず溶液の有効期限を遵守してください。
4. 下図に示すように、Kosmosプロローブを消毒剤に浸します。Kosmosプロローブを浸すことができるのは、図に示す浸漬点までです。Kosmosプロローブ

ローブのケーブル、ストレインリリーフ、コネクタなどのその他の部分は、液体に漬けてはなりません。



5. 浸漬時間および接触温度については、**Kosmos プローブ浸漬用消毒剤**を参照してください。
6. セミクリティカル水準の消毒に必要とされる最小時間を超えてKosmosプローブを浸漬しないでください。
7. Kosmosプローブを最低1分間、浸漬点まで清浄な水で洗い流し、残っている薬剤を除去します。Kosmosプローブのケーブル、ストレインリリーフ、コネクタなどのその他の部分は、浸漬しないでください。
8. 適切なすすぎを確実にするため、すすぎを3回繰り返してください。
9. 目視で乾燥状態になるまで、自然乾燥か柔らかい滅菌布でKosmosプローブを乾燥させます。
10. の一覧にある承認ワイプを使用して、ストレインリリーフとKosmosプローブケーブルの最初の45cm（18インチ）を拭きます。
11. Kosmosプローブに、ひびや割れ、尖った箇所などの損傷がないかチェックします。損傷が見つかった場合は、Kosmosプローブの使用を中止し、EchoNous 販売代理店までご連絡ください。




表 9-2. Kosmos プローブ浸漬用消毒剤

製品	製造元	有効成分	接触条件
Cidex OPA Solution	Advanced Sterilization Products	0.55% オルトフタルアルデヒド	20°Cで12分間

- 容器に記載されている有効期限をチェックして、消毒剤の期限が切れていないことを確認してください。消毒剤を混合して、製造元が推奨する濃度になっていることを確認してください（化学試験紙などで）。

- 消毒剤の温度が、製造元の推奨する範囲内に収まっていることを確認してください。

AR（自動再処理）のガイドライン

	洗浄と消毒を行う前に、必ずケーブルをKosmos プローブから取り外してください。
	洗浄の前後に、ケーブルの絶縁が損なわれていないことを確認してください。
	プローブのEMC サプレッサーは、消毒中にケーブルクランプの下の trophon2 チャンバー内にある必要があります。

すべての Kosmos プローブは、Nanosonic™ Trophon2 システムと互換性があります。超音波プローブの消毒に関する詳細な手順については、Trophon® ユーザーガイドを参照してください。




他の AR システムとの互換性に関する質問は、EchoNous サポートにお問い合わせください。

Kosmos ECG ケーブル

洗浄

Kosmos ECG ケーブルの洗浄については、以下の指示に従ってください。ケーブルは、使用後に毎回洗浄する必要があります。ケーブルの洗浄は、消毒を効果的に行うために欠かすことのできない手順です。

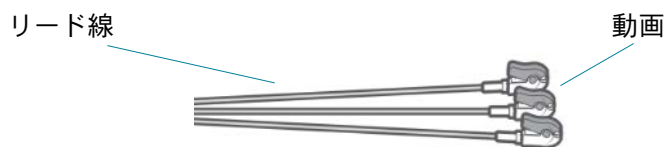
Kosmos ECG ケーブルを洗浄する前に、以下の警告と注意事項をよくお読みください。

	洗浄と消毒を行う前に、必ずケーブルをKosmos プローブから取り外してください。
	洗浄後は、適切な操作手順に従って必ずケーブルを消毒してください。
	機器の洗浄と消毒を行う際には、必ず保護メガネと保護手袋を使用してください。

⚠	洗浄の前後に、ケーブルの絶縁が損なわれていないことを確認してください。
⚠	EchoNous 推奨のワイプおよび溶液のみを使用してください。推奨されていないワイプを使用すると、ケーブルが損傷する場合があります。

Kosmos ECG ケーブルを洗浄するには、次の手順を実行します。

1. 使用後は毎回ケーブルを Kosmos Torso から取り外します。
2. 電極パッドなど、ケーブルに取り付けられているアクセサリや、ケーブルを覆っているアクセサリをすべて取り外します。
3. 使用場所では、でのリストの中から承認された前飽和ワイプでケーブルを拭き取り、効果的な洗浄を確実にします。
4. ECG 用のクリップとリード線を、**Kosmos ECG ケーブル用の洗浄剤**の一覧に記載されている洗浄剤に 10 分以上浸します。溶液濃度および接触時間については、**Kosmos ECG ケーブル用の洗浄剤**を参照してください。



5. 超音波装置内でケーブルを溶液に入れて 10 分以上置きます。
6. 超音波処理後、標準的な洗浄ブラシを使用して、ECG 用クリップの全表面を Enzol 溶液に漬けたまま、目視できれいになるまでしっかり磨きます。
7. 浸漬している間、すべての可動部を作動させます。さらに、調製した洗浄剤を満たしたスリップチップシリンジを使用して、隙間を洗い流します。
8. ECG 用クリップを Enzol 溶液から取り出し、流水で 1 分間洗い流します。この洗浄手順の後、目に見えるジェルや粒子物質がないことを確認します。






9. 消毒を続ける前に、Kosmos ECG ケーブルが乾燥していることを目視で確認します。

表 9-3. Kosmos ECG ケーブル用の洗浄剤

製品	製造元	有効成分	接触条件
Enzol	Advanced Sterilization Products	ホウ砂十水和物 $\geq 5 - < 10$ スブチリシン $\geq 1 - < 5$	溶液 1 ガロン当 たり 2 オンス 20 分間浸漬

Kosmos ECG ケーブルの消毒

Kosmos ECG ケーブルを消毒するには、次の手順を実行します。以降の手順を実行する前に、以下の警告と注意事項をよくお読みください。

	洗浄と消毒を行う前に、必ず USB ケーブルを Kosmos プローブから取り外してください。
	機器の消毒を行う際には、必ず保護メガネと保護手袋を使用してください。
	消毒を行う前に、該当する手順に従って Kosmos ECG ケーブルを洗浄し、消毒プロセスに干渉する可能性のあるすべてのジェル、液体、粒子を取り除いておいてください。
	消毒の前後に、ケーブルの絶縁が損なわれていないことを確認してください。
	EchoNous 推奨の消毒剤のみを使用してください。推奨されていない消毒ワイプを使用すると、Kosmos ECG ケーブルが損傷する場合があります。

Kosmos ECG ケーブルを消毒するには、次の手順を実行します。

1. 洗浄後、の一覧から低水準消毒剤を選び、最小液体接触時間については、消毒剤のラベルに記載されている指示に従います。
2. 新しいワイプを使用して、Kosmos ECG ケーブルをコネクタ側からクリップに向けて消毒していきます。
3. 定められた液体接触時間を遵守します。Kosmos ECG ケーブルに濡れた部分がないか観察します。



4. 少なくとも3枚はワイプを使用して、効果的な消毒を確保します。
5. ケーブルに絶縁摩耗や変色などの損傷がないかチェックします。損傷が見つかった場合は、該当する Kosmos ECG ケーブルの使用を中止してください。
6. ケーブルを再使用する前には、ケーブルが乾燥していることを目視で確認します。

両耳用ヘッドセット

両耳用ヘッドセットの洗浄と消毒は、必ず以下の方法で行ってください。

1. ヘッドセットをKosmos Bridgeから取り外します。
2. 承認済みの消毒ワイプを使用して、ヘッドセットのすべての部分を注意深く拭きます。に示す EchoNous 承認のワイプを選んでください。
3. 必要に応じて、ワイプを替えてヘッドセットを拭き、目に見える汚れをすべてなくします。

再使用と廃棄

	Kosmos を一般廃棄物として焼却処分したり廃棄処分したりしないでください。リチウム電池は、環境や防火の面で潜在的な危険があります。
	Kosmos Bridge内のリチウムイオン電池は、高温に曝されると爆発する可能性があります。このユニットを焼却によって破壊しないでください。ユニットについては、EchoNous または最寄りの販売代理店に返送し、廃棄を依頼してください。

Kosmos Bridgeにはリチウムポリマー電池が入っており、システムの廃棄は、国および地方の法令に従って、環境的に責任のある方法で行う必要があります。EchoNous では、Kosmos BridgeとKosmos プローブを、電子機器の再利用と廃棄を専門とするリサイクルセンターに持ち込むことを推奨していません。

Kosmos Bridge および／またはKosmosプローブが生物学的に危険な物質に曝された場合は、EchoNous では、バイオハザード容器を使用しうえて、国および地域の法令に従うことを推奨しています。Kosmos BridgeおよびKosmos プローブは、バイオハザード廃棄物の廃棄を専門とする廃棄センターに持ち込む必要があります。

トラブルシューティング

予防措置のための検査、メンテナンス、校正

- Kosmos には、予防措置のためのメンテナンスと校正は必要ありません。
- Kosmos には、修理可能な部品は含まれていません。
- Kosmos の電池は交換できません。



Kosmos が設計されたとおりに機能しない場合は、EchoNous カスタマーサポートまでご連絡ください。

Kosmos Bridge ハンドルコントロール

- ホーム画面にハンドルコントロールのチェックボックスが表示されない場合は、**EchoNous カスタマーサポート**に連絡して新しいバージョンのソフトウェア/ファームウェアを入手してください。
- ホーム画面にハンドルコントロールのチェックボックスが表示されているのにハンドルコントロールを有効にできない場合は、ファームウェアの問題である可能性があります。新しいハードウェアの入手については **EchoNous カスタマーサポート**にお問い合わせください。
- ソフトウェアとファームウェアを更新しても、ハンドルコントロールが機能しない（または1つまたは複数のボタンが応答しなくなる）問題が断続的に発生する場合は、次のうちの1つまたは複数をお試しください。
 - ホーム画面で **[Accept]** (同意する) チェックボックスが選択されているかどうかを確認します。
 - ハンドルコントロールを無効にして、再度有効にします。
 - Kosmos Bridge を再起動し、ハンドルコントロールを有効にします。
 - 手袋なしでハンドルコントロールを使用してみます。
 - 保湿された手でハンドルコントロールを使用してみます。
 - ハンドルを 5~6 秒間軽くたたきます。
 - ハンドルコントロールボタンをタップしていて、長押ししていないことを確認します。

-- セクション終わり --

システム仕様

モデル	高さ (mm)	幅 (mm)	深度 (mm)	重量 (g)	ケー ブル (m)	動作周波 数 (MHz)	スキャン 深度 (cm)
Kosmos Torso	150*	56	35	290 (ケーブ ル込み)	1.8	1.5 ~ 4.5	4 ~ 30
Kosmos Torso-One	150*	56	35	275 (ケーブ ル込み)	1.8	1.5 ~ 4.5	4 ~ 30
Kosmos Lexsa	155	56	35	280 (ケーブ ル込み)	1.5	3 ~ 10.5	1 ~ 10
Kosmos Bridge	146	216	59	652	該当 せず	該当せず	該当せず
Kosmos ECG 患者 ケーブル	該当せ ず	該当 せず	該当 せず	35	0.86	該当せず	該当せず
Kosmos 電 源	117.5	53.5	34.2	260	1.5	該当せず	該当せず

*ケーブルを除く（硬いプラスチック筐体の長さ）




動作環境条件および保管環境条件

Kosmos Bridgeおよびプローブは、医療施設内における通常の周囲環境条件で使用および保管されるものと想定されています。

動作、充電、輸送、保管の条件範囲

	操作	輸送 / 保管
温度 (°C)	0°C ~ +40°C	-20°C ~ +60°C
相対湿度 (結露なきこと)	15% ~ 95%	15% ~ 95%
圧力	62 kPa ~ 106 kPa	62 kPa ~ 106 kPa

動作モード

	極端な温度下で保管された後には、患者に使用する前にKosmosプローブの表面温度を確認してください。表面が低温または高温だと、患者が火傷を負う可能性があります。
	Kosmos Bridgeおよびプローブの動作、充電、保管は、必ず承認された環境パラメータ内で行ってください。
	高い周囲温度（40°C など）で使用すると、安全な接触温度を確保するために、Kosmosの安全機能によってスキャンが無効化される場合があります。

Kosmos Bridgeでは、安全なユーザー接触温度を維持するためにスキャン制限が実施されます。

電源（充電器）

定格入力：約 100 ~ 240V AC、50 ~ 60Hz、1.5A

ワット：60

出力電圧：5V、5.8V、8.9V、11.9V、15V、20V

出力電流（アンペア）：4.6A、4.6A、4.4A、4A、3.6A、3A

内蔵電池

Kosmos Bridge

リチウムイオンメイン電池：3.6V、6.4Ah

リチウムイオンボタン電池：3V、5.8mAh

電池充電時間：電池を0%から90%まで充電する時間は、およそ3時間

電池駆動時間：フル充電の電池で、およそ90分間の連続したスキャンが可能

性能は使用するスキャンモードにより異なります。

-- セクション終わり --

以下余白

IT ネットワーク

ワイヤレスネットワーク

機能

Kosmos を IT ネットワークに接続すると、以下のことが行えます。

- Kosmos で取得した検査データ（静止画像と動画）を DICOM 通信によって医用画像管理システム（PACS）に保存します。
- ネットワークタイムサービスに問い合わせることで Kosmos の時刻を正確に設定します。

接続仕様

ハードウェア仕様

802.11 a/b/g/n/ac、Bluetooth 4.0 以上。

ソフトウェア仕様

Kosmos は、DICOM 規格により PACS に接続されます。詳細については、EchoNous の Web サイトに掲載されている DICOM 適合性宣言書を参照してください。

装置接続用ネットワーク



機器とネットワーク上で転送する患者データのセキュリティを確保するため、セキュアなWIFIプロトコル（WPA2など）を使用し、ファイアウォール内の安全なネットワーク上で機器の設定を行うことが重要です。

接続仕様

ハードウェア仕様

802.11 a/b/g/n、Bluetooth 4.0 以上。

ソフトウェア仕様

Kosmos は、DICOM 規格により PACS に接続されます。詳細については、本装置の DICOM 適合性宣言書を参照してください。

可能であれば、本装置は起動時にネットワークタイムサーバーに接続されます。

セキュリティ

本装置には、WLAN インターフェイスに対して開いているリスニングポートはありません。ネットワークエンティティが、WLAN から Kosmos への接続を開始することはできません。ただし、Kosmos が WLAN 上のサーバーや WLAN の向こう側にあるサーバーへの接続を開始することは可能です。

Kosmos の USB ポートは、データを USB メモリスティックにエクスポートするためにのみ使用できます。USB ポートを通じたコンピュータから本装置への接続はブロックされています。

WLAN への外向きの通信には、以下の TCP/IP ポートが使用されます。

- DICOM 通信用ポート（システム設定でユーザーが指定、通常はポート 104、2762、または 11112）

- HTTPS タイムサーバー /Web サーバーへの暗号化されたトラフィック用のポート 443
- HTTP Web サーバー用のポート 80

本装置には、ウィルス対策ソフトウェアはインストールされていません。

ITネットワーク障害回復手段

ITネットワークへの接続は、ときに信頼性がなくなる場合があります、これによって機能に記載されている機能を実行できなくなる場合があります。その結果、以下のような危険な状況が発生する場合があります。

ネットワーク障害	機器への影響	危険	対策
ITネットワークが不安定になる	検査データを PACS に転送できない	診断の遅れ	Kosmos には内蔵メモリがあり、検査データはそこに格納されます。IT ネットワークが安定な状態に戻ったら、ユーザーはデータの転送を再開できます。
	PACS への転送の遅れ		
	正しくないデータが PACS に転送される	誤診	データの整合性は、Kosmos で使用される TCP/IP および DICOM プロトコルによって確保されます。
	タイムサーバーから時刻を取得できない	正しくない検査データ	Kosmos には、データと時刻を手動で入力する機能があります。
	正しくない時刻データ		Kosmos のメイン画面には、常に日付と時刻が表示されます。

ファイアウォールに障害が発生した	ネットワーク経由の攻撃	検査データの操作	Kosmosによって、不要なネットワークポートが閉じられます。
	コンピュータウィルスによる感染	検査データの漏洩	Kosmosは、ユーザーがソフトウェアを読み込んで実行することを防止します。

- その他のシステムが含まれている IT ネットワークに装置を接続すると、患者、オペレーター、または第三者に、過去には特定されていなかったリスクが発生する可能性があります。管理されていない IT ネットワークに装置を接続する際には、このような接続によって生じる可能性のあるすべてのリスクが特定および評価されており、適切な対策がなされていることを事前に確認してください。IEC 80001-1:2010 には、これらのリスクに対処するためのガイドラインが記載されています。
- Kosmos が接続されている IT ネットワークの設定が変更された場合は、その変更が装置に影響しないことを確認し、必要に応じて対策を講じてください。IT ネットワークに加えらるる変更には、以下のものがあります。
 - ネットワーク構成（IP アドレス、ルーターなど）の変更
 - 追加製品の接続
 - 製品の切断
 - 装置の更新
 - 装置のアップグレード
- IT ネットワークに何か変更があると、追加の評価実施を必要とする新しいリスクが生じる可能性があります。

-- セクション終わり --

用語	説明
A2C	心尖部二腔。
A4C	心尖部四腔。
ACEP	米国救急医学会。
Bモード	Kosmos プローブアレイによって、身体を横切る平面がスキャンされ、画面上に 2D 画像が生成されます。B モードイメージングとも呼ばれます。
BMI	ボディマス指数。
CapSense	Cypress の CapSense 技術は、タッチ面またはその近くの指の存在を検出します。 Kosmos Bridge ハンドル には、2 つの CapSense ボタンと 1 つのスライダーが含まれており、目視しなくても感覚で有効にできます。
CO	心拍出量、次のように計算されます： $CO = SV \times HR$ 。
CW	連続波ドプラ。
DA	デジタル聴診。
DICOM	医療におけるデジタルイメージングと通信。DICOM は、デジタル医療用イメージングにおいて最も一般的で基本的な規格です。DICOM は、現代の医療におけるすべての機能面を網羅するように構築および設計された、データの転送、保存、表示のすべてを包括するプロトコルです。PACS の機能は、DICOM により実装されています。

用語	説明
ECG	心電図。心電図検査法は、皮膚の上に置いた電極を使用して、一定期間に渡って心臓の電氣的活動を記録するプロセスです。これらの電極は、各心拍中の脱分極と再分極による心筋の電気生理学的パターンから生じた、皮膚上の小さな電位変化を検出します。
ED	拡張終期。
EDV	拡張期終期容量。
EF	駆出率、次のように（パーセンテージとして）計算されます： $EF = (EDV - ESV) / EDV * 100$
ES	収縮終期。
ESV	収縮終期容量。
FOV	視野（FOV）は、Bモード画像取得における2次元空間です。
HR	心拍数。
LV	左心室。
Mライン	Mモードでトレースが提供され、Bモードで表示されるライン。
MWL	モダリティワークリスト。
PACS	医用画像管理システム。PACSは、医療用のデジタルイメージングを実行するように構築された医療システム（ハードウェアおよびソフトウェア）を指します。PACSの主なコンポーネントには、デジタル画像取得装置、デジタル画像アーカイブ、ワークステーションなどが含まれます。PACS設定は、本書ではデジタル画像アーカイブとの接続に関する設定を指します。
PIMS	患者情報管理システム。
Pingテスト	Pingテストは、TCP/IP接続をテストするのに使用されます。テストに成功した場合は、KosmosとPACSアーカイブの間の接続が機能しています。
PW	パルス波ドブラ。

用語	説明
ROI	関心領域。ROIは、カラーフロー情報が表される、視野内の境界で囲まれた領域を指します。
SV	1回拍出量、次式のように計算されます： SV=EDV-ESV
アーカイブ	レポートが生成されたら、病院のEMR/PACSシステムで患者情報が更新されます。装置は、データ転送のための安全な接続を有している必要があります。いったんアーカイブ化した検査は、編集できなくなります。この時点で、新しい検査用に容量を空けておくため、検査をKOSMOSから安全に削除できます。
画像	画像は、Kosmosでキャプチャされた超音波ビューにおける単一のフレームです。
キャリパー	ほとんどの測定は、キャリパーを目的の場所までドラッグすることで行われます。アクティブなキャリパーには、丸いハイライトハンドルが表示されます。
完了した検査	いったん検査が完了すると、その検査には画像を追加できなくなります。画像/クリップにオーバーレイとして保存された注釈については、検査がアーカイブ化されるまでは、追加/編集/削除できます。いったんアーカイブ化した検査は、一切編集できません。医師が完了しなかった検査は、Kosmosの電源が切れるときにKosmosによって自動的に完了します。
計算	計算では、いくつかの特定の測定値から推定値が求められます。
検査	検査には、Kosmosを使用した患者の臨床検査中に保存されたすべてのオブジェクト、画像、クリップ、レポートが含まれます。検査は通常、患者の来院にマッピングされます。
検証	この用語は、DICOM C-Echoの実施に使用されません。DICOM C-Echoでは、DICOMプロトコルを使って信号をPACSアーカイブに送信することにより、PACSアーカイブがネットワーク上で機能して入手可能になっていることを確認します。

用語	説明
シネ	シネは、連続したフレームとしてデジタルで保存された、一定期間における画像です。高フレームレートで録画されるため、検査中に表示されたフレームよりも、多くのフレームを含んでいる場合があります。
写真	Kosmos カメラを使用すれば、検査の一環として外傷や怪我の写真を撮ることができます。
スキャン	スキャンは、システムパラメータが特定の組織（心臓、肺など）をスキャンするように最適化されているシステムプリセットです。スキャンには、ユーザーが保存できる複数の画像、クリップ、レポートを含めることができます。スキャンプリセットによって、計算、測定、レポートがサポートされます。
スナックバー	スナックバーは、Kosmos で多くの画面の下部に表示される簡単なメッセージです。ユーザーがメッセージに対して何か行う必要はありません。このメッセージは、しばらく表示された後、自動的に非表示になります。
スタディ	スタディは、1人の患者の診断に論理的に関連する1つまたは複数の医療画像と表示状態が集められたものです。各スタディが1人の患者に関連付けられます。1つのスタディには、単一のモダリティ、複数のモダリティ、または同一モダリティにおける複数の装置によって生成された、複合事例を含めることができます。 Kosmos では、「検査」という用語が DICOM 分野での「スタディ」を意味します。検査には、Kosmos を使用した患者の臨床検査中に保存されたすべてのオブジェクト、画像、クリップ、レポートが含まれます。検査は通常、患者の来院にマッピングされます。
測定	測定は、下層にある生体構造との干渉のない、画像上における距離または面積の測定です。測定値オーバーレイでは、ツール（キャリパー、エリプスなど）と測定値が示されます。

用語	説明
注釈	注釈は、医師が画像または動画に追加することができるテキストメモ、矢印、測定値です。注釈は、画像 / 動画上にオーバーレイとして表示されます。
聴診	聴診は、循環器系や呼吸器系（心音および呼吸音）および消化器系（腸音）を検査するために体内の音を聴く診察で、通常は聴診器を使用しています。
動画	動画は、映画のようなもので、複数のフレームが短くつながったものです。
物理座標	指定された基準点について、物理的な寸法（ミリメートルまたはラジアン）で表した視野内での位置。
フリーズ状態	リアルタイムイメージングでユーザーがフリーズボタンをタップすると、Kosmosがこの状態に入ります。 フリーズ状態では、シネの1つのフレームに注釈を追加したり、静止画像を保存したりできます。測定値は、シネの1つのフレームのみに置かれますが、注釈はシネ全体に残ります。シネの1つのクリップを保存すると、注釈はそのクリップのオーバーレイとして保存されますが、測定値はそのクリップ内には保存されません。測定値は通常、一連のフレーム全体ではなく、シネの1つのフレームのみに関連するためです。
矢印	矢印は、医師が何かを強調するために画像 / 動画上の特定の場所に置くことができる矢印アイコンです。画像 / 動画上にオーバーレイとして表示されます。
レビュー	これは、まだアーカイブ化されていない患者データを確認したり編集したりできる Kosmos のステータスです。
レポート	レポートは、検査の詳細情報と、医師が入力したメモで構成されます。

以下余白